

資料4

都市部のコミュニティに関するアンケート調査

報告書

(素案)

平成 26 年 2 月

【目 次】

1. 概要	1
1) 調査の目的	1
2) 調査対象及び調査方法	1
3) 回収状況	1
2. 仙台市 A 地区 調査結果	2
1) お住まいの地域について	2
(1) この地域の住みやすさ	2
(2) 住みやすいと感じる理由	2
(3) 住みにくいと感じる理由	3
(4) この地域に住み続けたいと思うか	3
(5) この地域に住みたいと思ったきっかけ	4
2) ライフスタイルについて	4
(1) 本人の就労状況	4
(2) 本人の職業・今までの職業	5
(3) 本人の勤務時間	6
(4) 本人の通常の休日	6
(5) 本人の休日等の過ごし方	7
(6) 配偶者の有無	8
(7) 配偶者の就労状況	8
(8) 配偶者の職業・今までの職業	9
(9) 配偶者の勤務時間	10
(10) 配偶者の通常の休日	10
(11) 配偶者の休日等の過ごし方	11
(12) 心配ごと	12
(13) ゆとりについて	13
3) 近所付き合いについて	14
(1) 近所付き合いの程度	14
(2) いざというときに近所の人と協力しあえると思うか .	14
(3) 最寄りにどんな人が住んでいるか知っているか	15
(4) 地域活動等の参加状況（運営主体別）	15
(5) 地域活動等の参加状況（活動分野別）	16
(6) 参加したことがない理由	17
(7) 町内会・自治会等の入会状況	17
(8) 入会のきっかけ	18
(9) 今後の入会意向	18
(10) 入会したくない理由	19
(11) 震災後近所付き合いへの考え方は変わったか	19
(12) 具体的な取組	20
(13) 東日本大震災後の支援や助け合い	21
(14) 災害後 1 か月程度の間で必要な情報	22

(15)	防災力向上のために地域団体に期待する役割	22
(16)	地域のつながりは重要と思うか	23
(17)	地域活動への参加意向	23
(18)	取り組んでほしいテーマ	24
(19)	地域活動の課題	25
4)	回答者の属性	26
(1)	性別	26
(2)	年代	26
(3)	同居する人	27
(4)	住まい	27
(5)	居住年数	28
(6)	東日本大震災時に被害のあったいずれかの地域に住んでいたか。	28

3. 仙台市B地区 調査結果 29

1)	お住まいの地域について	29
(1)	この地域の住みやすさ	29
(2)	住みやすいと感じる理由	29
(3)	住みにくいとを感じる理由	30
(4)	この地域に住み続けたいと思うか	30
(5)	この地域に住みたいと思ったきっかけ	31
2)	ライフスタイルについて	31
(1)	本人の就労状況	31
(2)	本人の職業・今までの職業	32
(3)	本人の勤務時間	33
(4)	本人の通常の休日	33
(5)	本人の休日等の過ごし方	34
(6)	配偶者の有無	35
(7)	配偶者の就労状況	36
(8)	配偶者の職業・今までの職業	36
(9)	配偶者の勤務時間	38
(10)	配偶者の通常の休日	38
(11)	配偶者の休日等の過ごし方	39
(12)	心配ごと	40
(13)	ゆとりについて	41
3)	近所付き合いについて	42
(1)	近所付き合いの程度	42
(2)	いざというときに近所の人と協力しあえると思うか	42
(3)	最寄りにどんな人が住んでいるか知っているか	43
(4)	地域活動等の参加状況（運営主体別）	43
(5)	地域活動等の参加状況（活動分野別）	44
(6)	参加したことがない理由	45
(7)	町内会・自治会等の入会状況	45
(8)	入会のきっかけ	46
(9)	今後の入会意向	46
(10)	入会したくない理由	47
(11)	震災後近所付き合いへの考え方は変わったか	47

(1 2)	具体的な取組	48
(1 3)	東日本大震災後の支援や助け合い	49
(1 4)	災害後1か月程度の間で必要な情報	50
(1 5)	防災力向上のために地域団体に期待する役割	50
(1 6)	地域のつながりは重要と思うか	51
(1 7)	地域活動への参加意向	51
(1 8)	取り組んでほしいテーマ	52
(1 9)	地域活動の課題	53
4)	回答者の属性	54
(1)	性別	54
(2)	年代	54
(3)	同居する人	55
(4)	住まい	55
(5)	居住年数	56
(6)	東日本大震災時に被害のあったいずれかの地域に住んでいたか。	56

4. 神戸市C地区調査結果 57

1)	お住まいの地域について	57
(1)	この地域の住みやすさ	57
(2)	住みやすいと感じる理由	57
(3)	住みにくいと感じる理由	58
(4)	この地域に住み続けたいと思うか	58
(5)	この地域に住みたいと思ったきっかけ	59
2)	ライフスタイルについて	59
(1)	本人の就労状況	59
(2)	本人の職業・今までの職業	60
(3)	本人の勤務時間	61
(4)	本人の通常の休日	61
(5)	本人の休日等の過ごし方	62
(6)	配偶者の有無	63
(7)	配偶者の就労状況	64
(8)	配偶者の職業・今までの職業	64
(9)	配偶者の勤務時間	66
(1 0)	配偶者の通常の休日	66
(1 1)	配偶者の休日等の過ごし方	67
(1 2)	心配ごと	68
(1 3)	ゆとりについて	69
3)	近所付き合いについて	70
(1)	近所付き合いの程度	70
(2)	いざというときに近所の人と協力しあえると思うか	70
(3)	最寄りにどんな人が住んでいるか知っているか	71
(4)	地域活動等の参加状況（運営主体別）	71
(5)	地域活動等の参加状況（活動分野別）	72
(6)	参加したことがない理由	73
(7)	町内会・自治会等の入会状況	73
(8)	入会のきっかけ	74

(9)	今後の入会意向	74
(10)	入会したくない理由	75
(11)	阪神淡路大震災時に、今の地域に住んでいたか。 ...	75
(12)	震災後近所付き合いへの考え方は変わったか	76
(13)	具体的な取組	76
(14)	地域のつながりは重要と思うか	77
(15)	地域活動への参加意向	77
(16)	取り組んでほしいテーマ	78
(17)	地域活動の課題	79
4)	回答者の属性	80
(1)	性別	80
(2)	年代	80
(3)	同居する人	81
(4)	住まい	81
(5)	居住年数	82
(6)	阪神淡路大震災時に被害のあったいずれかの地域に住んでいたか。	

1. 概要

1) 調査の目的

近年、都市部において、近所付き合いや町内会の集まりなどのコミュニティ（地域のつながり）が希薄になっていると指摘されている。その一方で、高齢者所在不明問題や東日本大震災などを契機にコミュニティの重要性が再認識されている。

こうした状況を踏まえ、都市部に住む住民が、日頃の生活でどのようなことを感じているのか、どのような生活を送っているのか、そして、近所付き合いなどについてどのように考えているのかを把握するため、アンケート調査を実施した。

2) 調査対象及び調査方法

調査対象	調査期間	調査方法
仙台市 A 地区 仙台市 B 地区	平成 24 年 8 月 26 日（月） ～ 9 月下旬	ポスティングによる 調査票の配布 （郵送による回収）
神戸市 C 地区	平成 24 年 10 月 28 日（月） ～ 11 月下旬	

3) 回収状況

	配布数	回収数	回収率
仙台市 A 地区	878	187	21.3%
仙台市 B 地区	1475	421	28.5%
神戸市 C 地区	473	233	49.3%
合計	2,826		

2. 仙台市 A 地区 調査結果

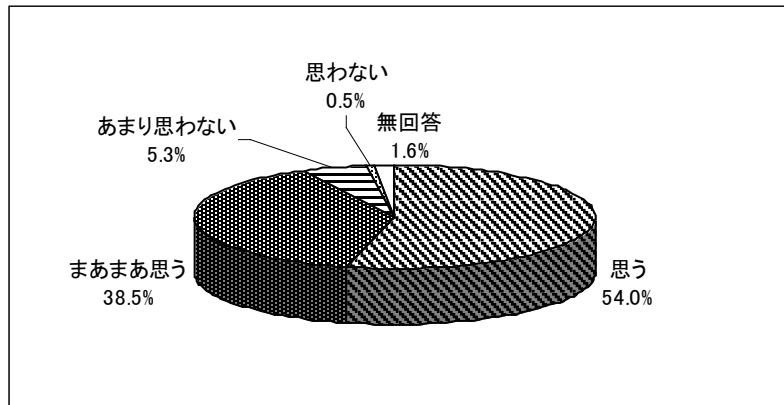
1) お住まいの地域について

(1) この地域の住みやすさ

この地域の住みやすさについては、「思う」が54.0%、「まあまあ思う」が38.5%となっており、「思う」と「まあまあ思う」を合わせると、92.5%となる。

他方、「あまり思わない」は5.3%、「思わない」は0.5%となっており、「あまり思わない」と「思わない」を合わせると、5.8%となる。

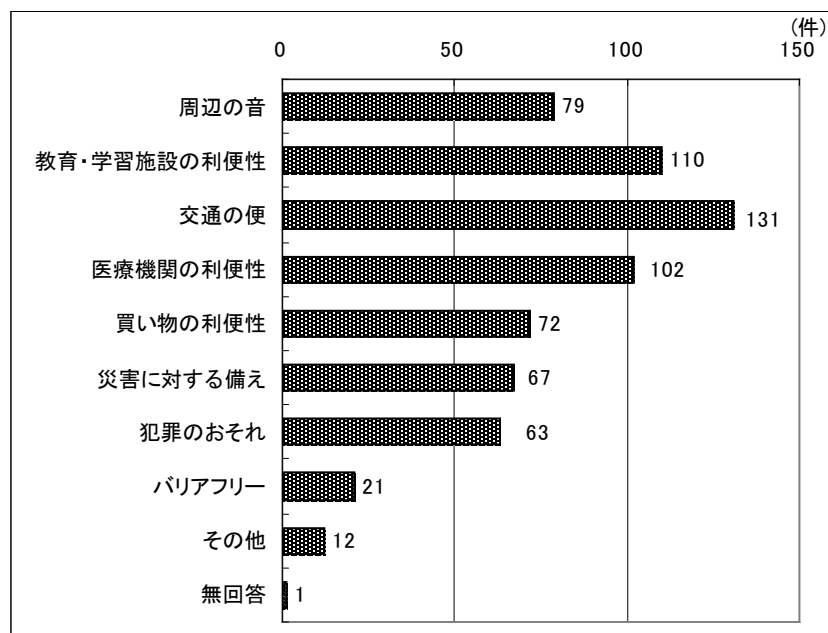
図 1 この地域の住みやすさ【N=187】



(2) 住みやすいと感じる理由

上記(1)で「思う」、「まあまあ思う」と答えた人に対して、その理由を尋ねたところ、「交通の便」が131件と最も多く、次いで、「教育・学習施設の利便性」が110件、「医療機関の利便性」が102件であった。

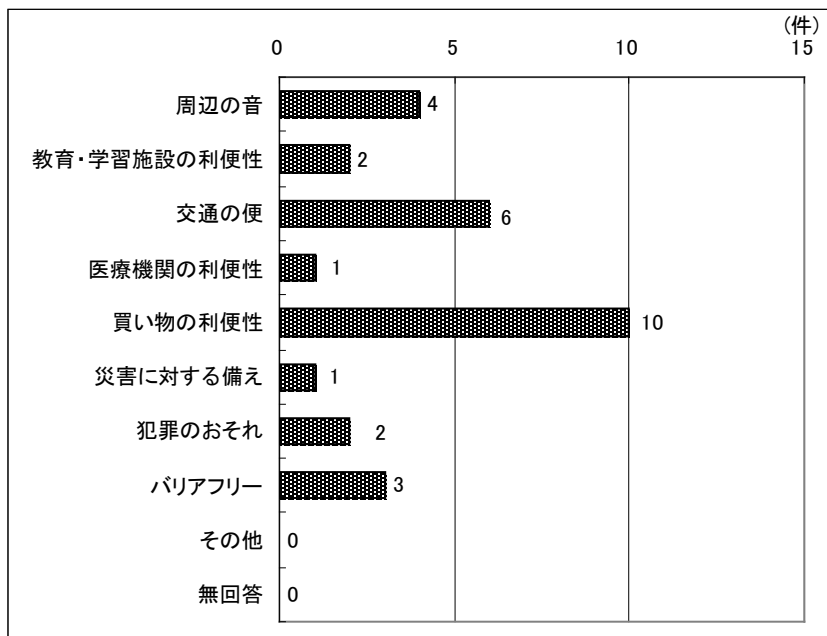
図 2 住みやすいと感じる理由【N=173;複数回答】



(3) 住みにくいと感じる理由

上記(1)で「あまり思わない」、「思わない」と答えた人に対して、その理由について尋ねたところ、「買い物の利便性」が10件と最も多く、次いで、「交通の便」が6件であった。

図 3 住みにくいと感じる理由【N=11;複数回答】

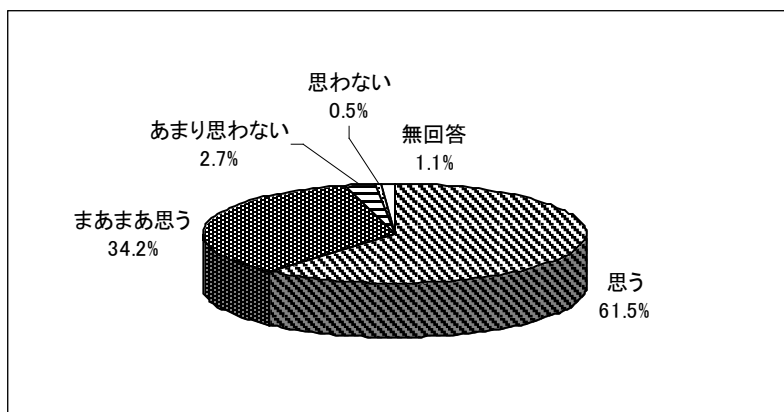


(4) この地域に住み続けたいと思うか

この地域に住み続けたいと思うかについては、「思う」が61.5%、「まあまあ思う」が34.2%となっており、「思う」と「まあまあ思う」を合わせると、95.7%となる。

他方、「あまり思わない」は2.7%、「思わない」は0.5%となっており、「あまり思わない」と「思わない」を合わせると、3.2%となる。

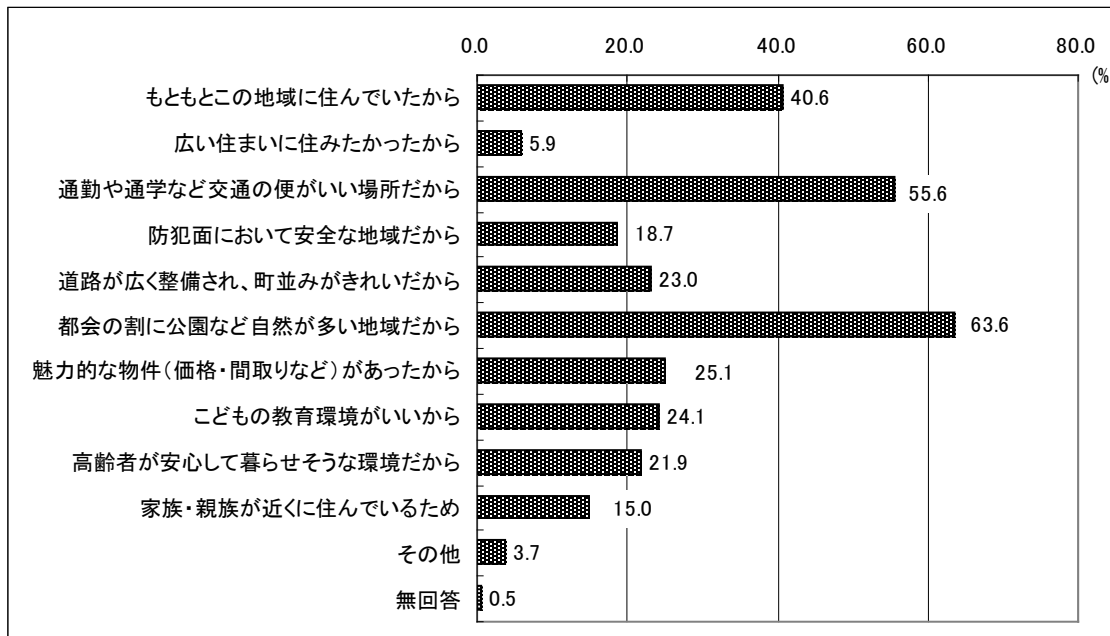
図 4 この地域に住み続けたいと思うか【N=187】



(5) この地域に住みたいと思ったきっかけ

この地域に住みたいと思ったきっかけについては、「都会の割に公園など自然が多い地域だから」が63.6%と最も割合が高く、次いで、「通勤や通学など交通の便がいい場所だから」が55.6%、「もともとこの地域に住んでいたから」が40.6%となっている。

図 5 この地域に住みたいと思ったきっかけ【N=187; 複数回答】

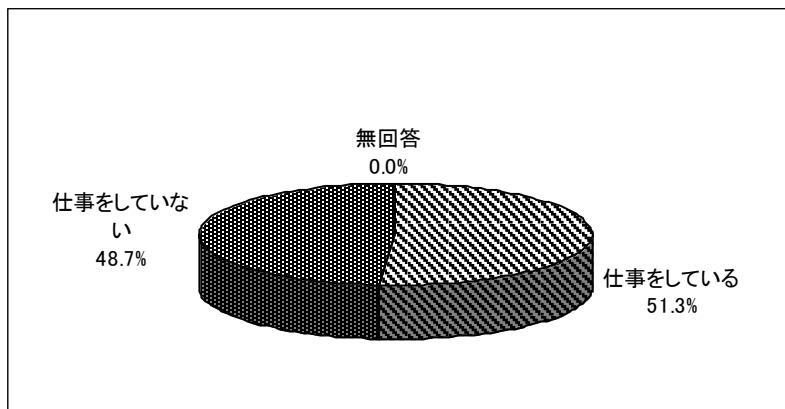


2) ライフスタイルについて

(1) 本人の就労状況

回答者本人の就労状況については、「仕事をしている」が51.3%、「仕事をしていない」が48.7%とほぼ同等となっている。

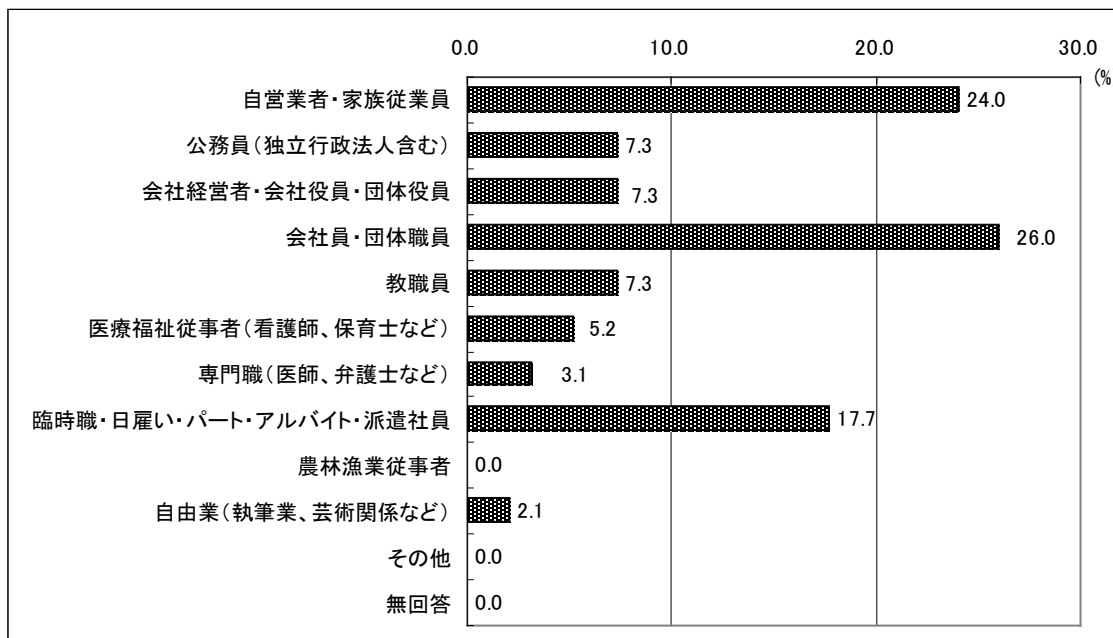
図 6 本人の就労状況【N=187】



(2) 本人の職業・今までの職業

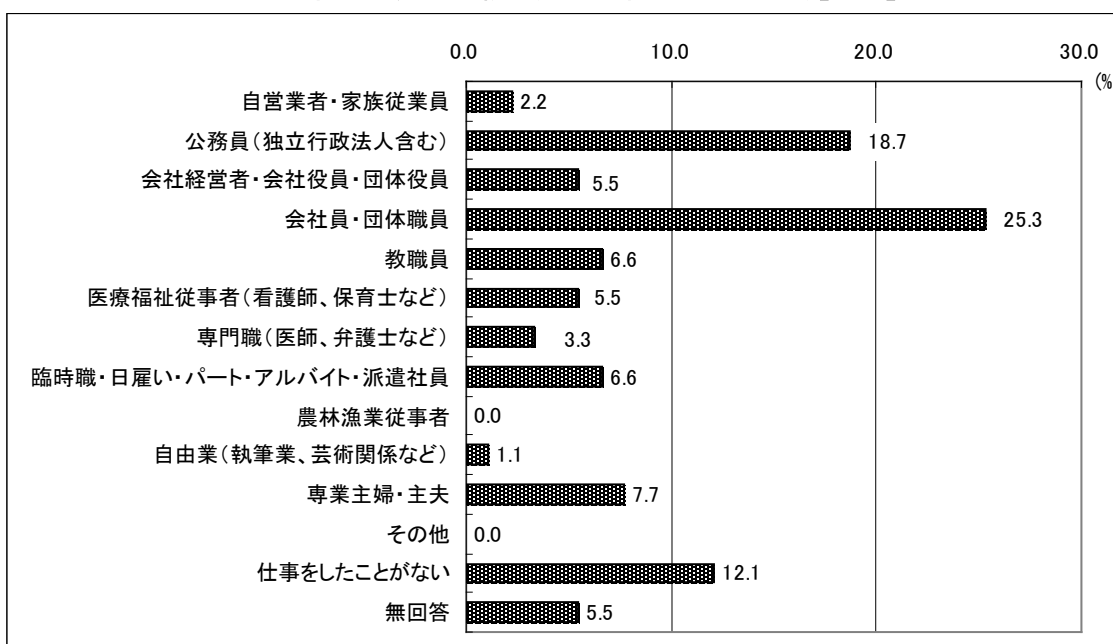
上記(1)で「仕事をしている」と答えた人の職業については、「会社員・団体職員」が26.0%と最も割合が高く、次いで、「自営業者・家族従業員」が24.0%「臨時職・日雇い・パート・アルバイト・派遣社員」が17.7%となっている。

図 7 本人の職業(現在仕事をしている人)【N=96】



上記(1)で「仕事をしていない」と答えた人の今まで従事した職業については、「会社員・団体職員」が25.3%と最も割合が高く、次いで、「公務員(独立行政法人含む)」が18.7%となっている。

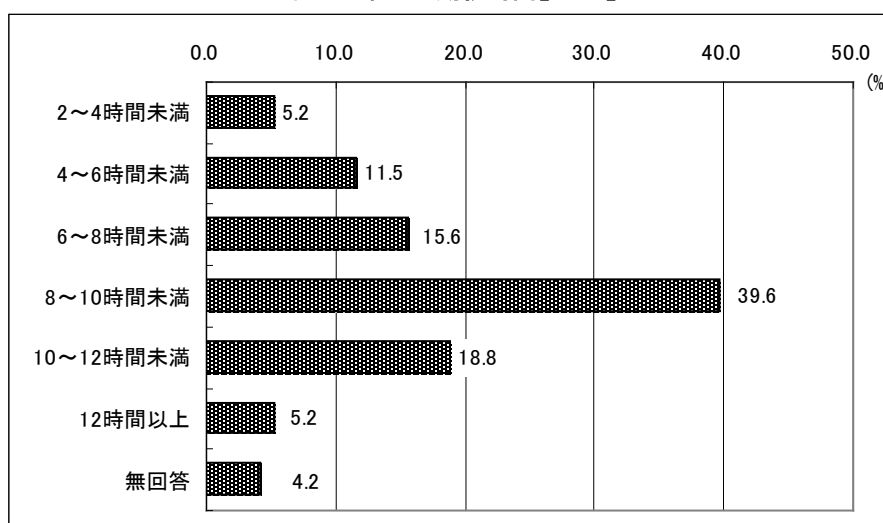
図 8 本人の今までの職業(現在仕事をしていない人)【N=91】



(3) 本人の勤務時間

上記(1)で「仕事をしている」と答えた人の勤務時間については、「8～10時間未満」が39.6%と最も多く、次いで、「10～12時間未満」が18.8%、「6～8時間未満」が15.6%となっている。

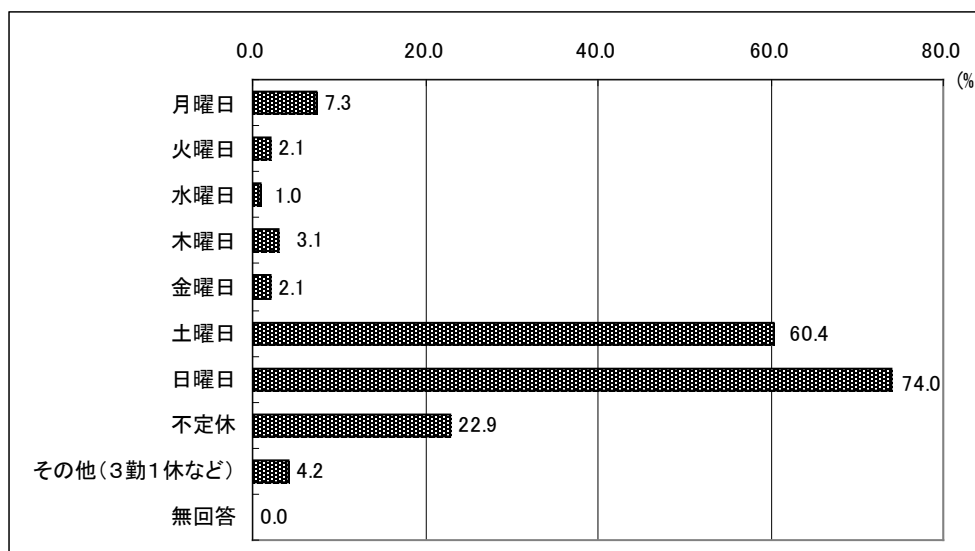
図 9 本人の勤務時間【N=96】



(4) 本人の通常の休日

上記(1)で「仕事をしている人」と答えた人の通常の休日については、「日曜日」が74.0%、「土曜日」が60.4%となっており、週末が休みの割合が高い。一方、「不定休」も22.9%ある。

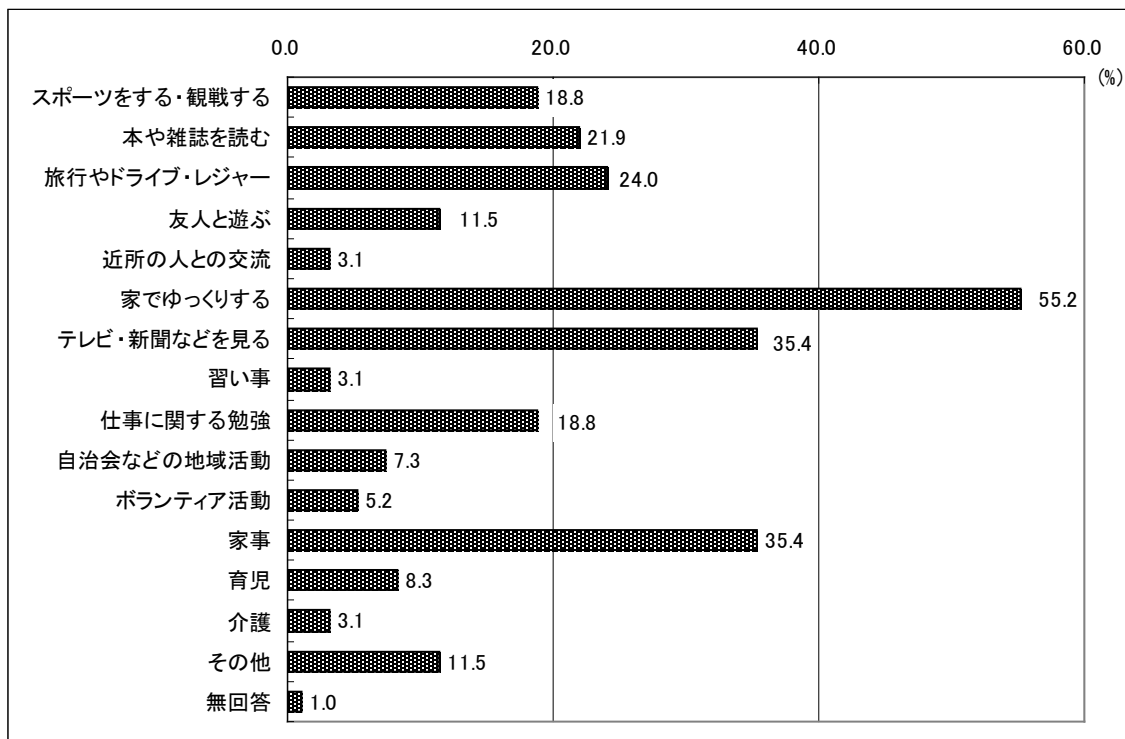
図 10 本人の通常の休日(現在仕事をしている人)【N=96;複数回答】



(5) 本人の休日等の過ごし方

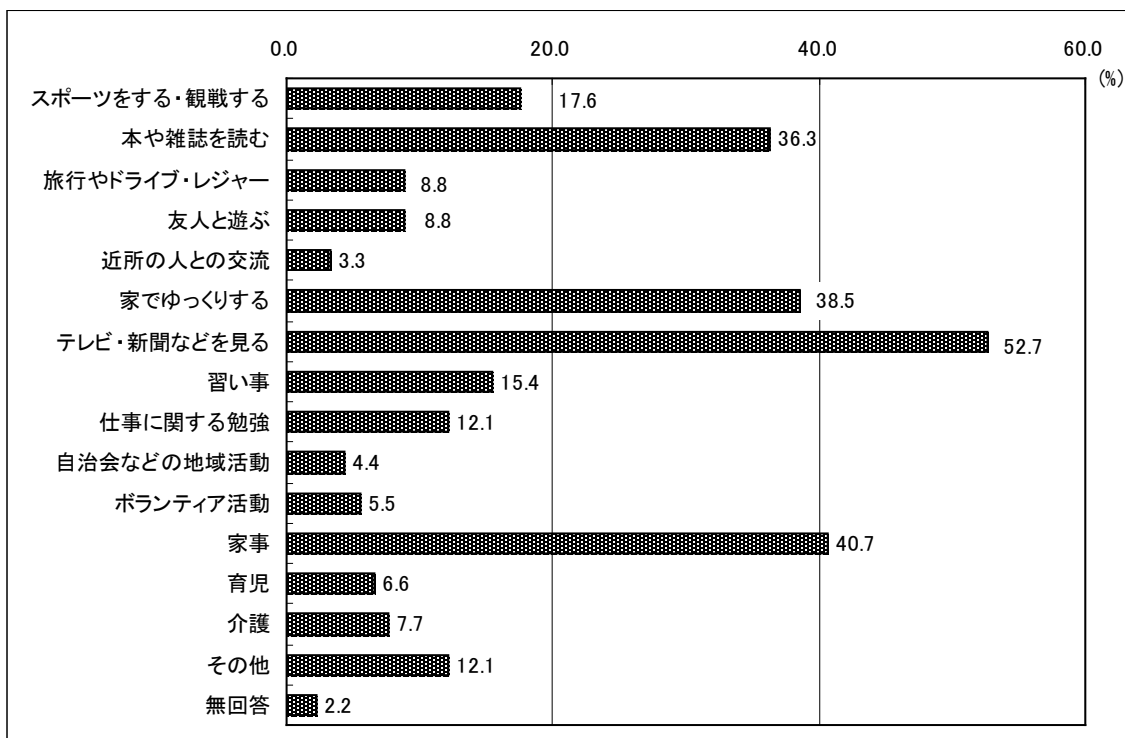
上記(1)で「仕事をしている人」と答えた人に対して、休日の過ごし方について尋ねたところ、「家でゆっくりする」が55.2%と最も割合が高く、次いで、「テレビ・新聞などを見る」と「家事」が35.4%、「旅行やドライブ・レジャー」が24.0%、「本や雑誌を読む」が21.9%であった。

図 11 本人の休日の過ごし方(現在仕事をしている人)【N=96;複数回答(3つまで)】



上記(1)で「仕事をしていない」と答えた人に対して、1週間の過ごし方について尋ねたところ、「テレビ・新聞などを見る」が52.7%と最も割合が高く、次いで、「家事」が40.7%、「家でゆっくりする」が38.5%、「本や雑誌を読む」が36.3%であった。

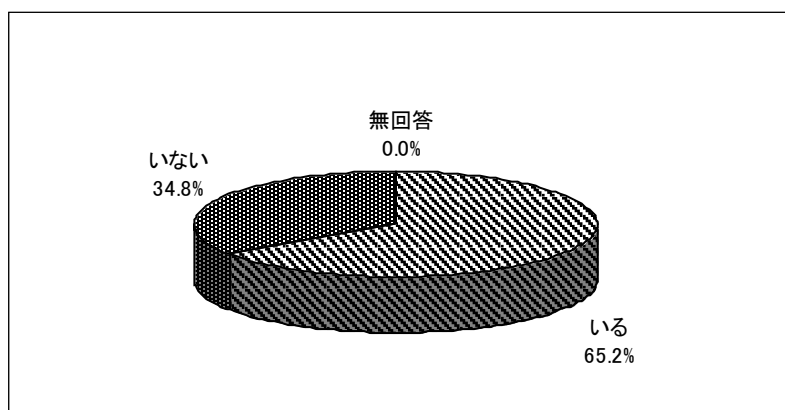
図 12 本人の1週間の過ごし方(現在仕事をしていない人)【N=91;複数回答(3つまで)】



(6) 配偶者の有無

配偶者の有無については、「いる」が65.2%と全体の約6.5割を占めている。他方、「いない」は34.8%となっている。

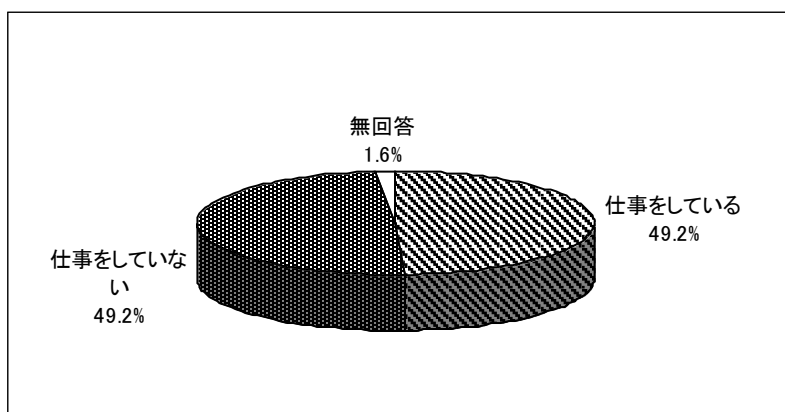
図 13 配偶者の有無【N=187】



(7) 配偶者の就労状況

上記(6)で配偶者が「いる」と答えた人に対して、配偶者の就労状況について尋ねたところ、「仕事をしている」、「仕事をしていない」がともに49.2%で、同等であった。

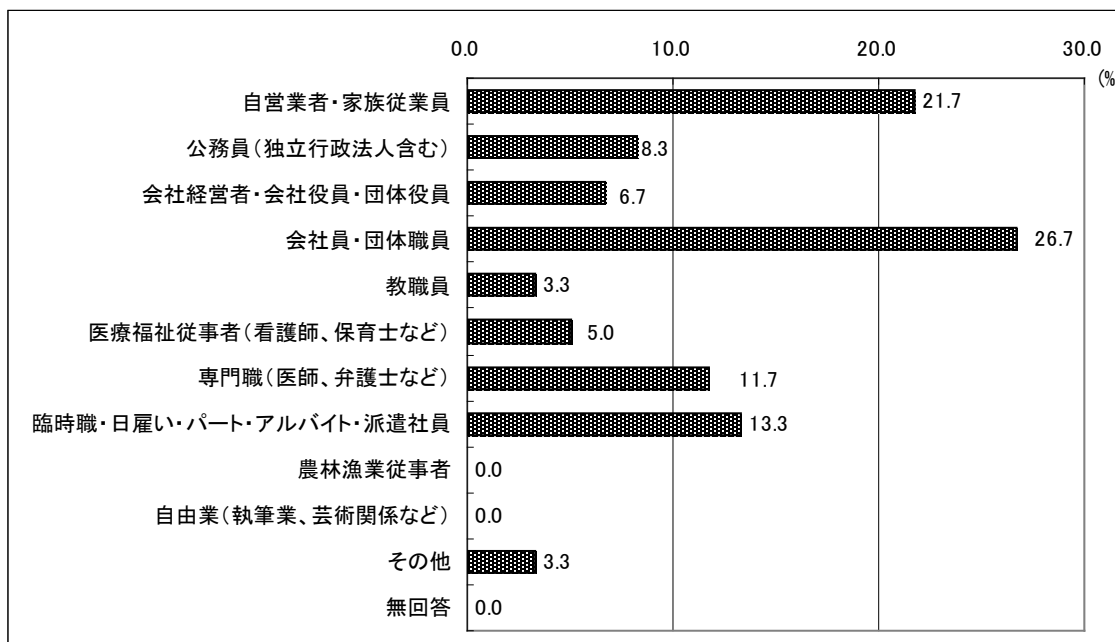
図 14 配偶者の就労状況【N=122】



(8) 配偶者の職業・今までの職業

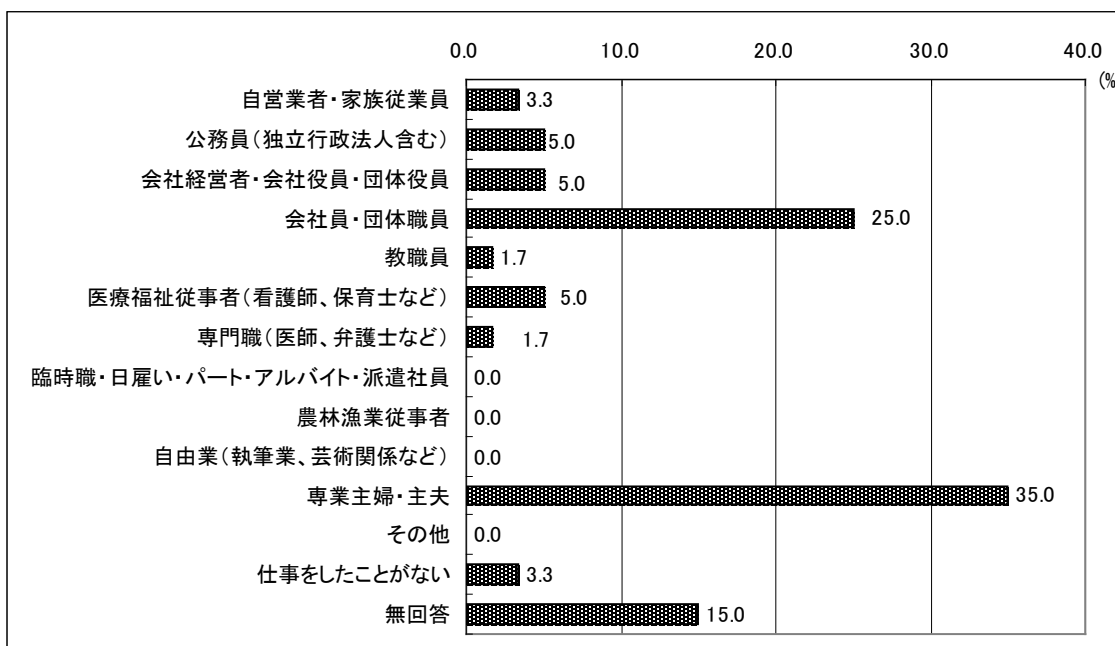
上記(7)で配偶者が「仕事をしている」と答えた人に対して、配偶者の職業について尋ねたところ、「会社員・団体職員」が26.7%と最も割合が高く、次いで、「自営業者・家族従業員」が21.7%、「臨時職・日雇い・パート・アルバイト・派遣社員」が13.3%、「専門職（医師、弁護士など）」が11.7%であった。

図 15 配偶者の職業(現在仕事をしている人)【N=60】



上記(7)で配偶者が「仕事をしていない」と答えた人に対して、配偶者が今まで従事した職業について尋ねたところ、「専業主婦・主夫」が35.0%と、最も割合が高く、「会社員・団体職員」が25.0%であった。

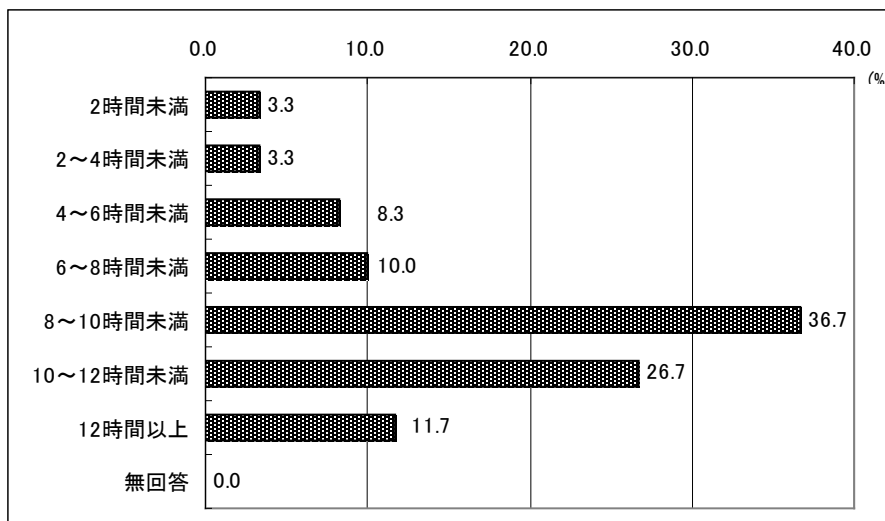
図 16 配偶者の今までの職業(現在仕事をしていない人)【N=60】



(9) 配偶者の勤務時間

上記(7)で配偶者が「仕事をしている」と答えた人に対して、配偶者の勤務時間について尋ねたところ、「8～10時間未満」が36.7%と最も割合が高く、次いで、「10～12時間未満」が26.7%であった。

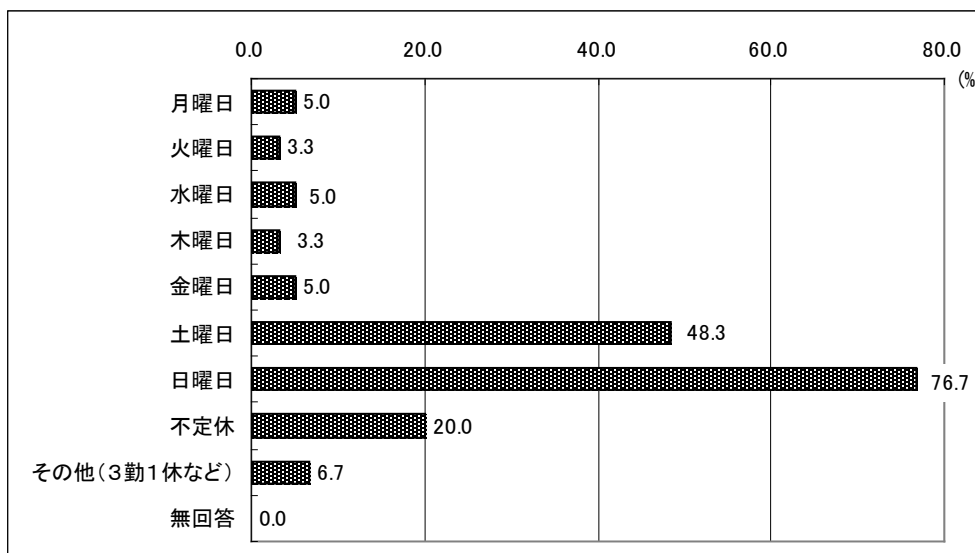
図 17 配偶者の勤務時間【N=60】



(10) 配偶者の通常の休日

上記(7)で配偶者が「仕事をしている」と答えた人に対して、配偶者の通常の休日について尋ねたところ、「日曜日」が76.7%、「土曜日」が48.3%と週末が休みの割合が高い。一方、回答者本人と同様に「不定休」も20.0%ある。

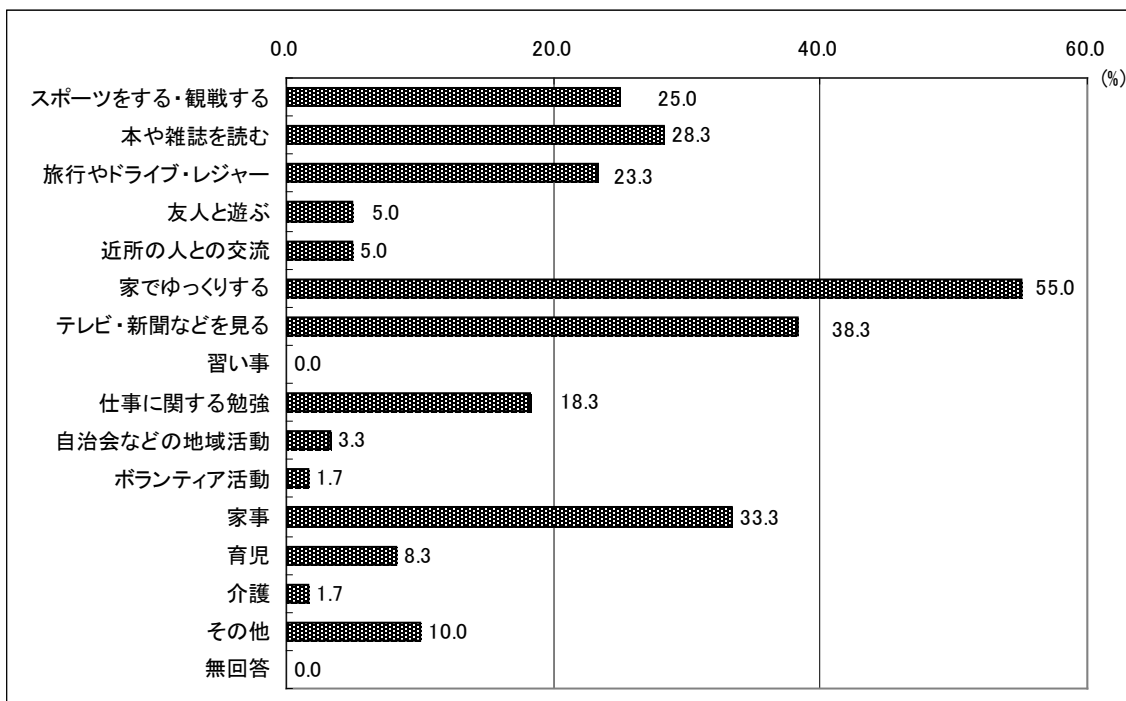
図 18 配偶者の通常の休日(現在仕事をしている人)【N=60;複数回答】



(11) 配偶者の休日等の過ごし方

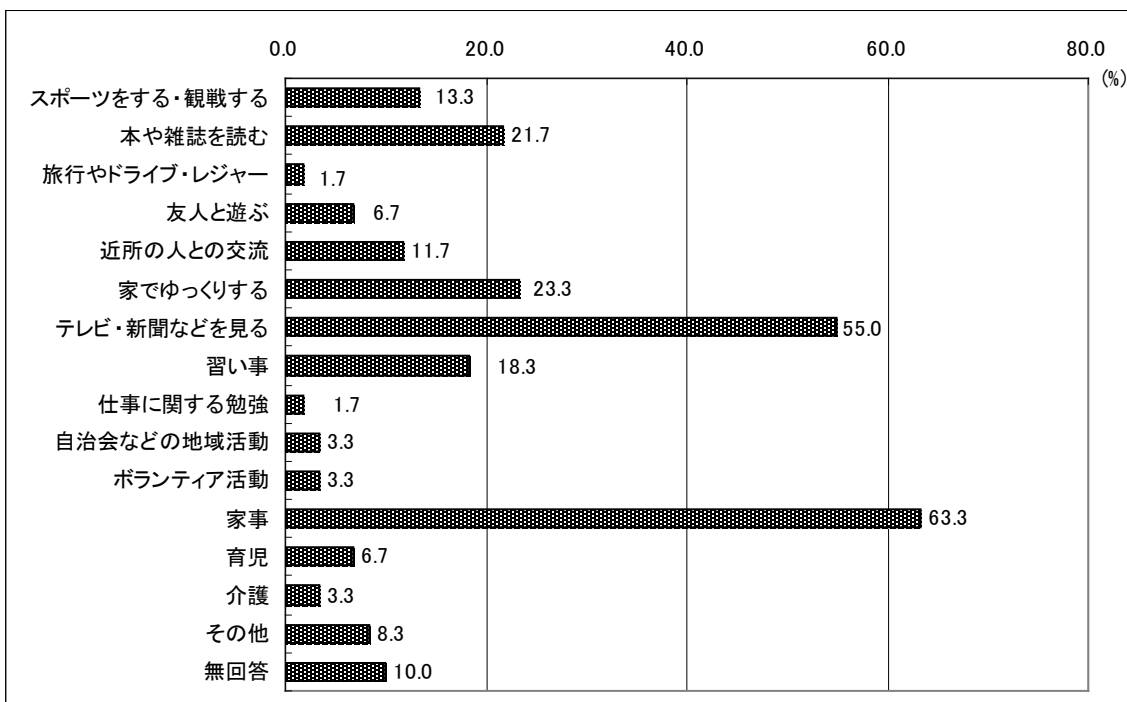
上記(7)で配偶者が「仕事をしている」と答えた人に対して、配偶者の休日の過ごし方について尋ねたところ、「家でゆっくりする」が55.0%と最も割合が高く、次いで、「テレビ・新聞などを見る」が38.3%、「家事」が33.3%、「本や雑誌を読む」が28.3%であった。

図 19 配偶者の休日の過ごし方(現在仕事をしている人)【N=60;複数回答(3つまで)】



上記(7)で配偶者が「仕事をしていない」と答えた人に対して、配偶者の1週間の過ごし方について尋ねたところ、「家事」が63.3%と最も割合が高く、次いで、「テレビ・新聞などを見る」が55.0%、「家でゆっくりする」が23.3%、「本や雑誌を読む」が21.7%であった。

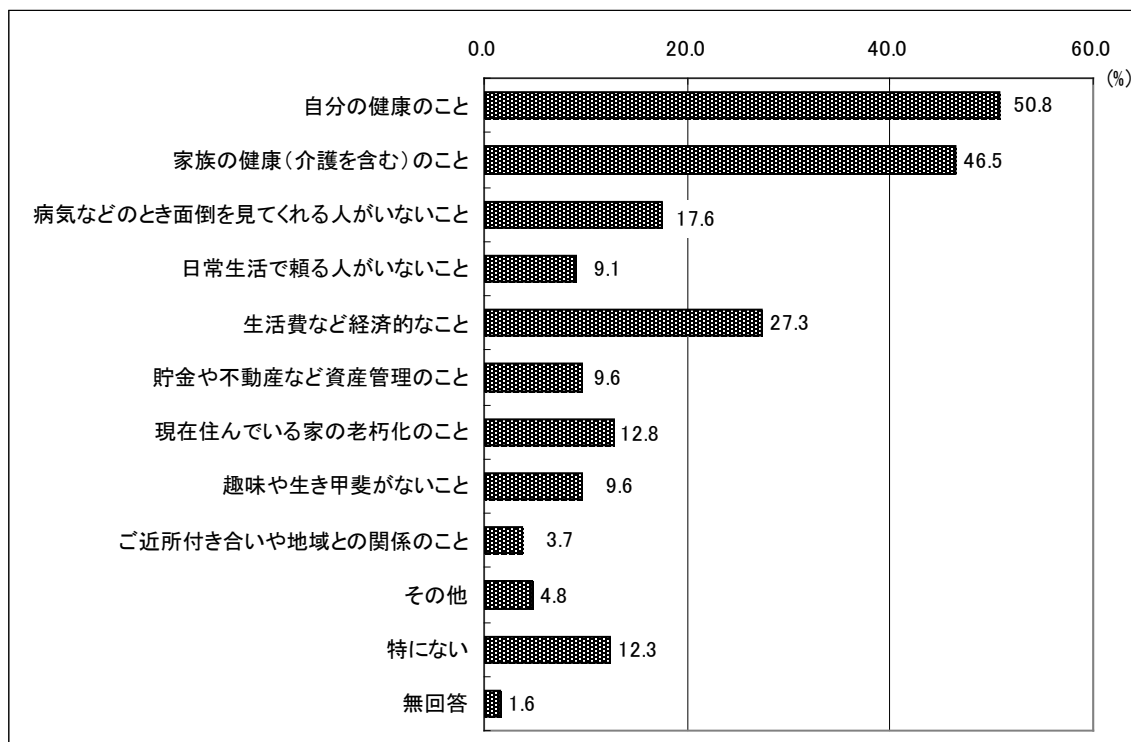
図 20 配偶者の1週間の過ごし方(現在仕事をしていない人)【N=60;複数回答(3つまで)】



(12) 心配ごと

現在の暮らしでの心配ごとについては、「自分の健康のこと」が50.8%と最も割合が高く、次いで、「家族の健康（介護を含む）のこと」が46.5%と「健康」に関する心配ごとが高くなっていくほか、「生活費など経済的なこと」が27.3%、「病気などのとき面倒を見てくれる人がいないこと」が17.6%となっている。他方、「特にない」は12.3%であった。

図 21 心配ごと【N=187;複数回答(3つまで)】



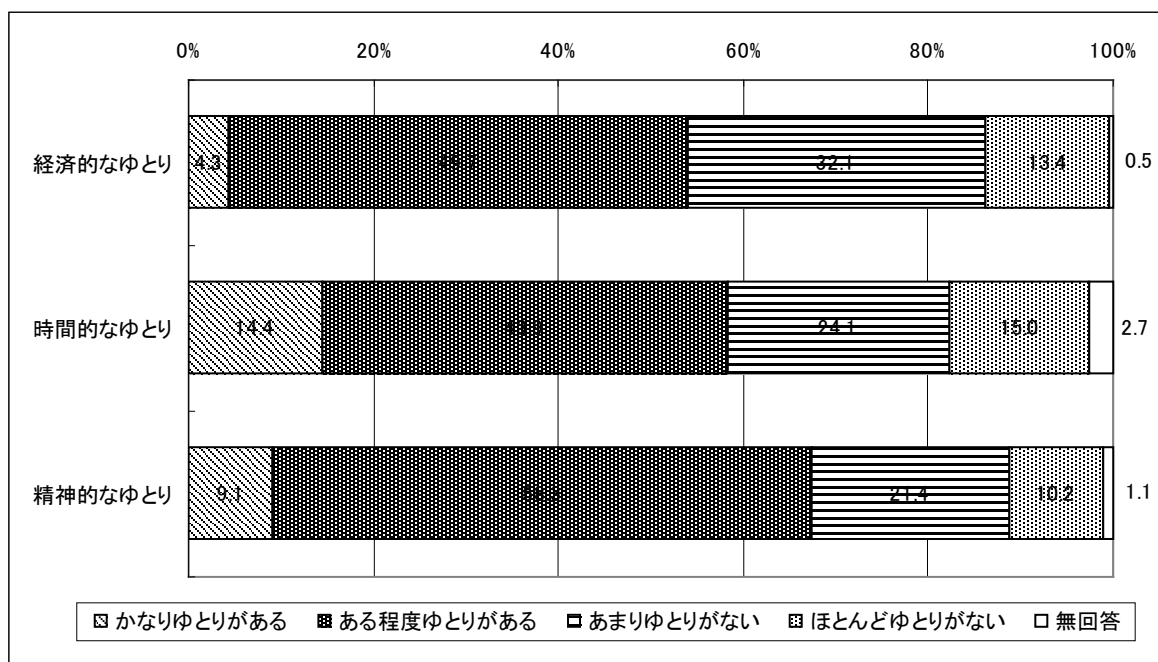
(13) ゆとりについて

日頃、「ゆとり」があるかどうかについて尋ねたところ、「経済的なゆとり」、「時間的なゆとり」、「精神的なゆとり」のいずれも、「ある程度ゆとりがある」と答えた人の割合が最も高くなっている。

特に、「精神的なゆとり」については、「かなりゆとりがある」と「ある程度ゆとりがある」を合わせた割合が67.4%と約7割となっている。

一方、「経済的なゆとり」については、「あまりゆとりがない」と「ほとんどゆとりがない」を合わせた割合が45.5%となっている。

図 22 ゆとりについて【N=187】



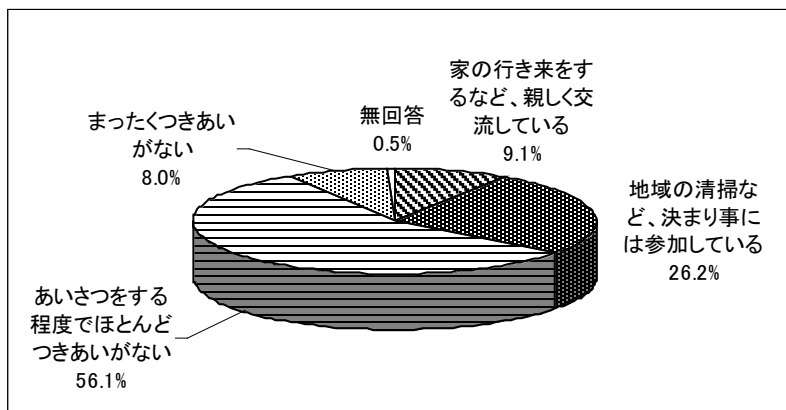
3) 近所付き合いについて

(1) 近所付き合いの程度

近所付き合いの程度については、「あいさつをする程度でほとんどつきあいがいい」が56.1%と最も割合が高く、次いで、「地域の清掃など、決まり事には参加している」が26.2%、「家の行き来をするなど、親しく交流している」が9.1%、「まったくつきあいがいい」が8.0%となっている。

「ほとんどつきあいがいい」と「まったくつきあいがいい」を合わせた割合は64.1%と全体の約6.5割となっている。

図 23 近所付き合いの程度【N=187】

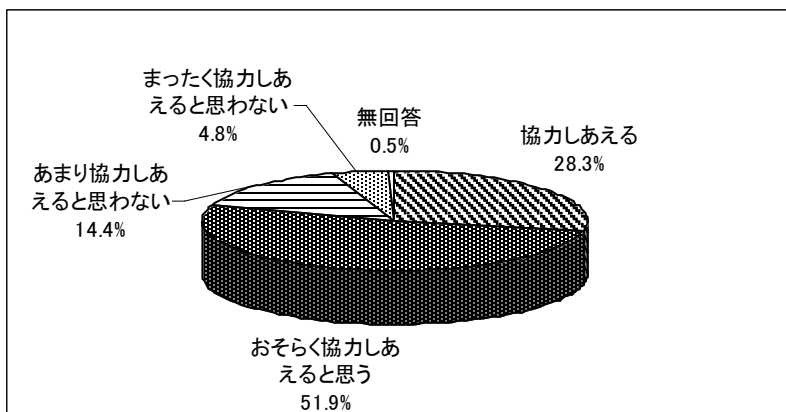


(2) いざというときに近所の人と協力しあえると思うか

いざというときに近所の人と協力しあえると思うかについては、「おそらく協力しあえると思う」が51.9%と最も割合が高く、次いで、「協力しあえる」が28.3%、「あまり協力しあえると思わない」が14.4%、「まったく協力しあえると思わない」が4.8%となっている。

「協力しあえる」と「おそらく協力しあえると思う」を合わせた割合は80.2%と全体の約8割となっている。

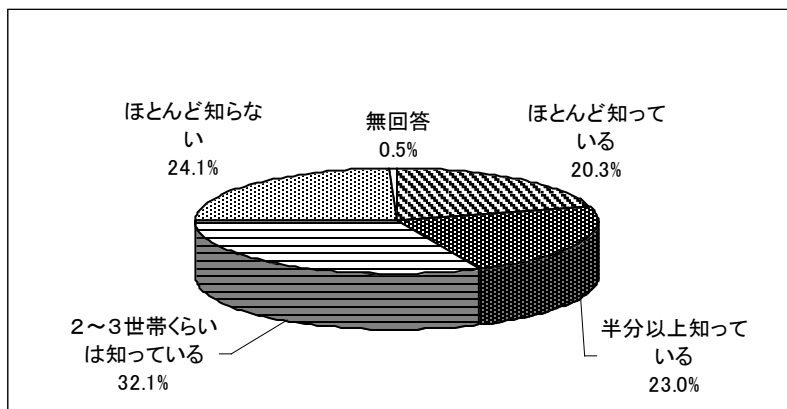
図 24 いざというときに近所の人と協力しあえると思うか【N=187】



(3) 最寄りにどんな人が住んでいるか知っているか

最寄り10世帯くらいにどんな人が住んでいるか知っているかについては、「2～3世帯くらいは知っている」が32.1%と最も割合が高く、次いで、「ほとんど知らない」が24.1%、「半分以上知っている」が23.0%、「ほとんど知っている」が20.3%となっている。

図 25 最寄りにどんな人が住んでいるか知っているか【N=187】

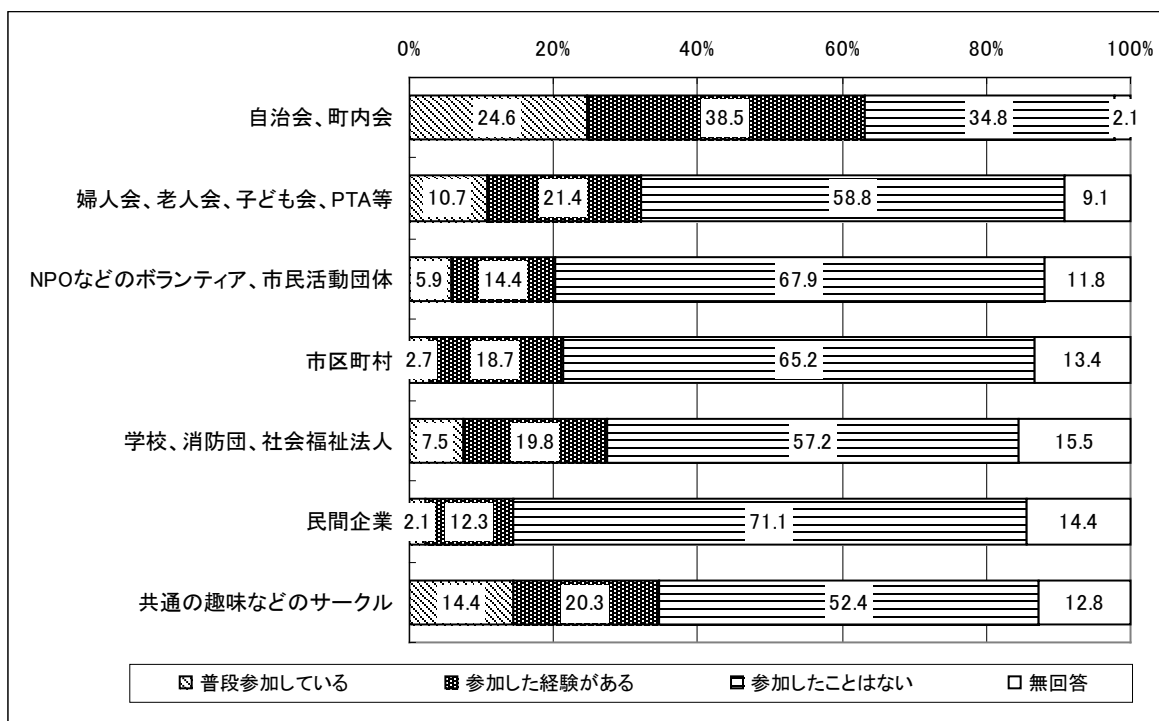


(4) 地域活動等の参加状況（運営主体別）

地域活動等の参加状況（運営主体別）については、「自治会・町内会」以外は、いずれも「参加したことはない」と答えた人の割合が最も高くなっている。

「自治会・町内会」については、「普段参加している」と「参加した経験がある」を合わせた割合が63.1%となっており、他の運営主体の活動に比べて、参加経験がある割合が高くなっている。

図 26 地域活動等の参加状況（運営主体別）【N=187】

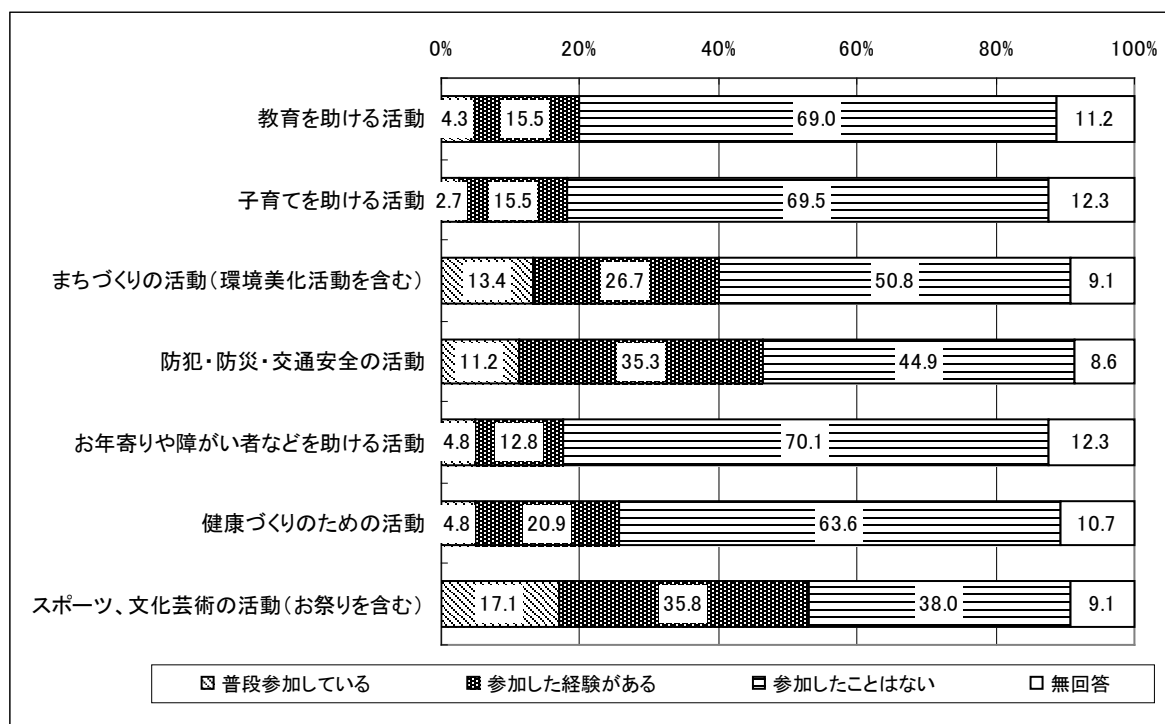


(5) 地域活動等の参加状況（活動分野別）

地域活動等の参加状況（活動分野別）については、いずれも「参加したことはない」と答えた人の割合が最も高い。

「スポーツ、文化芸術の活動（お祭りを含む）」については、「普段参加している」と「参加した経験がある」を合わせた割合が52.9%と5割を超えており、また、「防犯・防災・交通安全の活動」は、「普段参加している」と「参加した経験がある」を合わせた割合が46.5%、「まちづくりの活動（環境美化活動を含む）」は40.1%と、他の分野の活動に比べて、参加経験がある割合が高くなっている。

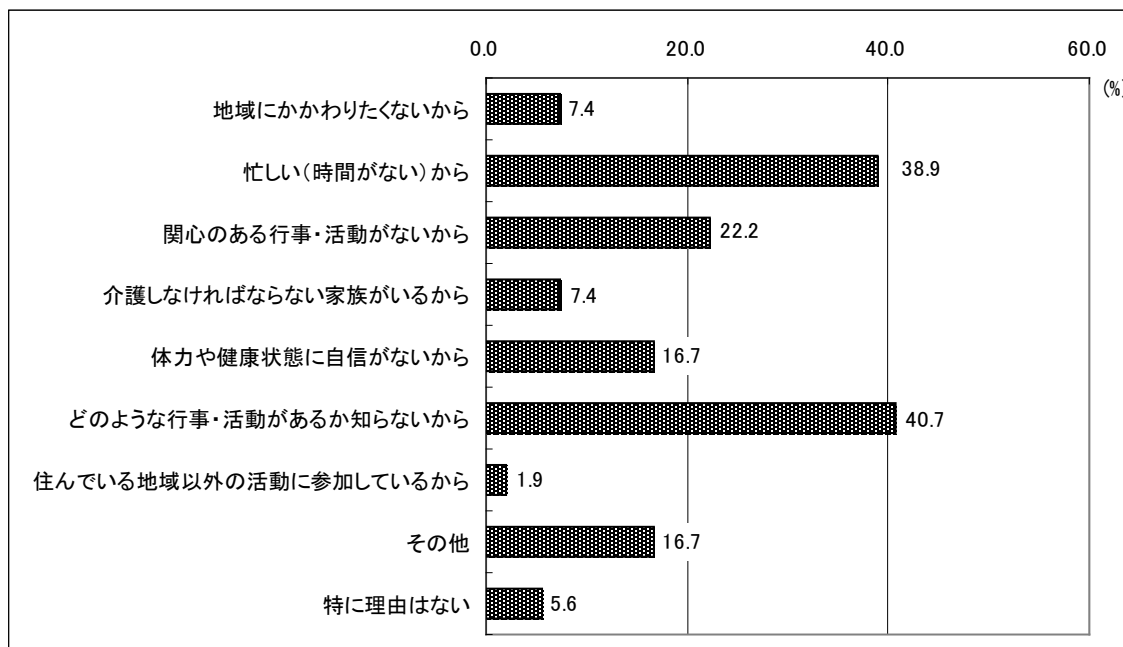
図 27 地域活動の参加状況(活動分野別)[N=187]



(6) 参加したことがない理由

上記(5)ですべてに「参加したことはない」と答えた人に対して、その理由について尋ねたところ、「どのような行事・活動があるか知らないから」が40.7%と最も割合が高く、次いで、「忙しい(時間がない)から」が38.9%、「関心のある行事・活動がないから」が22.2%となっている。

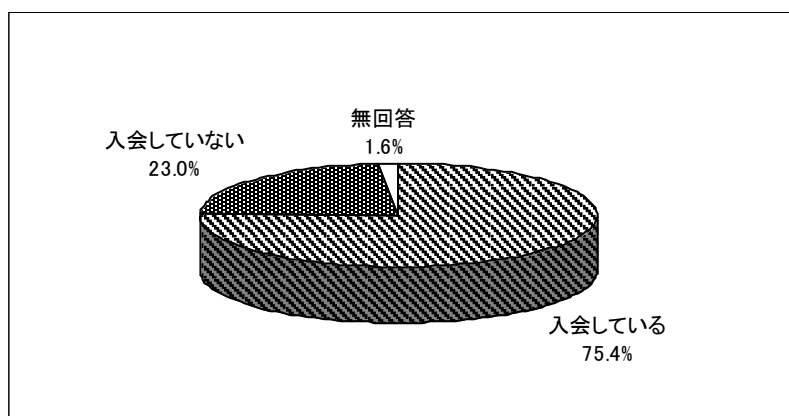
図 28 参加したことがない理由【N=54;複数回答(3つまで)】



(7) 町内会・自治会等の入会状況

町内会・自治会等の入会状況については、「入会している」が75.4%と全体の約4分の3を占めている。他方、「入会していない」は23.0%となっている。

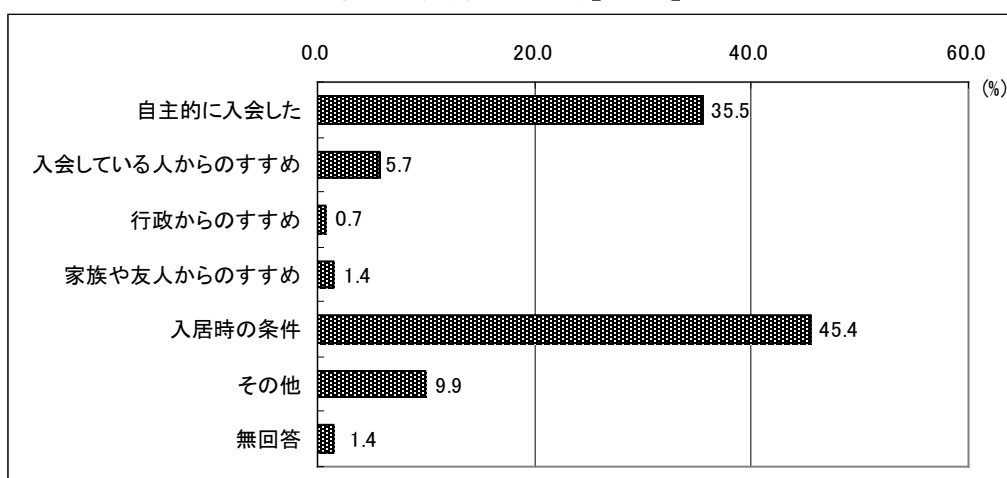
図 29 町内会・自治会等の入会状況【N=187】



(8) 入会のきっかけ

上記(7)で「入会している」と答えた人に対して、入会のきっかけについて尋ねたところ、「入居時の条件」が45.4%と最も割合が高く、次いで、「自主的に入会した」が35.5%となっている。

図 30 入会のきっかけ【N=141】

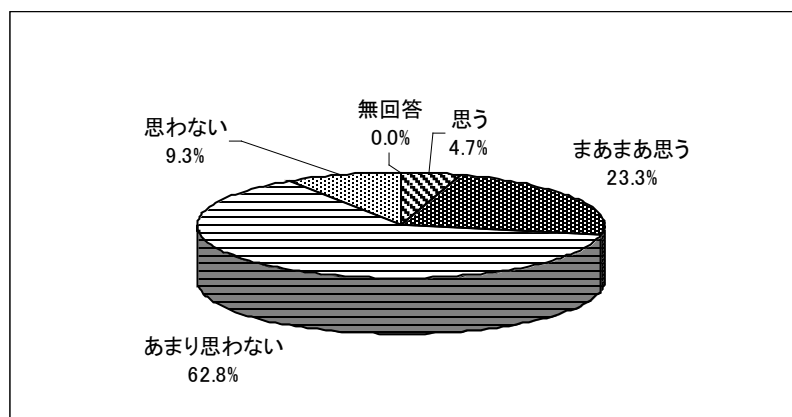


(9) 今後の入会意向

上記(7)で「入会していない」と答えた人に対して、今後の入会意向について尋ねたところ、「あまり思わない」が62.8%と最も割合が高く、次いで、「まあまあ思う」が23.3%、「思わない」が9.3%、「思う」が4.7%であった。

「思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は72.1%と全体の約7割を占めている。

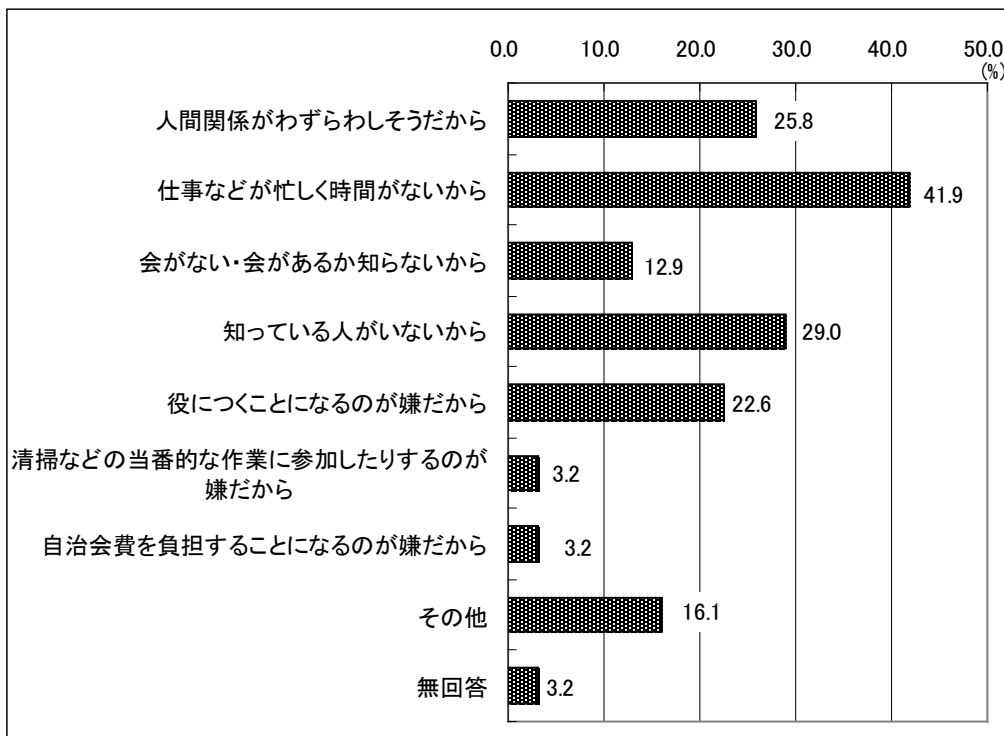
図 31 今後の入会意向【N=43】



(10) 入会したくない理由

上記(9)で「あまり思わない」、「思わない」と答えた人に対して、入会したくない理由について尋ねたところ、「仕事などが忙しく時間がないから」が41.9%と最も割合が高く、次いで、「知っている人がいないから」が29.0%、「人間関係がわずらわしそうだから」が25.8%、「役につくことになるのが嫌だから」が22.6%、「会がない・会があるか知らないから」が12.9%であった。

図 32 入会したくない理由【N=31;複数回答(3つまで)】

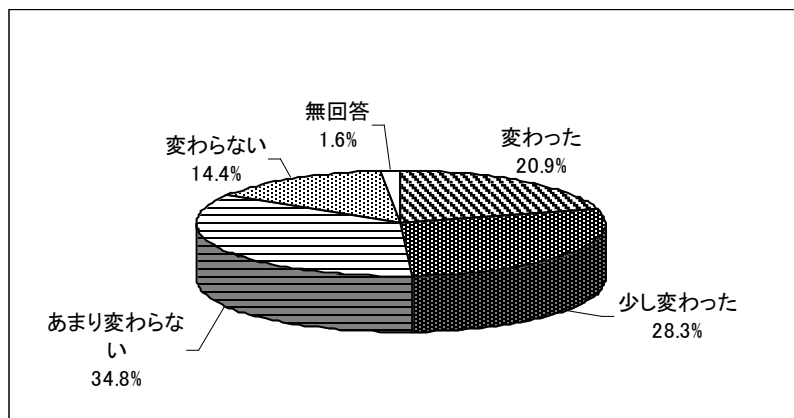


(11) 震災後近所付き合いへの考え方は変わったか

震災後近所付き合いへの考え方は変わったか尋ねたところ、「あまり変わらない」が34.8%と最も割合が高く、次いで、「少し変わった」が28.3%、「変わった」が20.9%、「変わらない」が14.4%となっている。

「変わった」と「少し変わった」を合わせた割合と、「変わらない」と「あまり変わらない」を合わせた割合は、ともに49.2%と同等となっている。

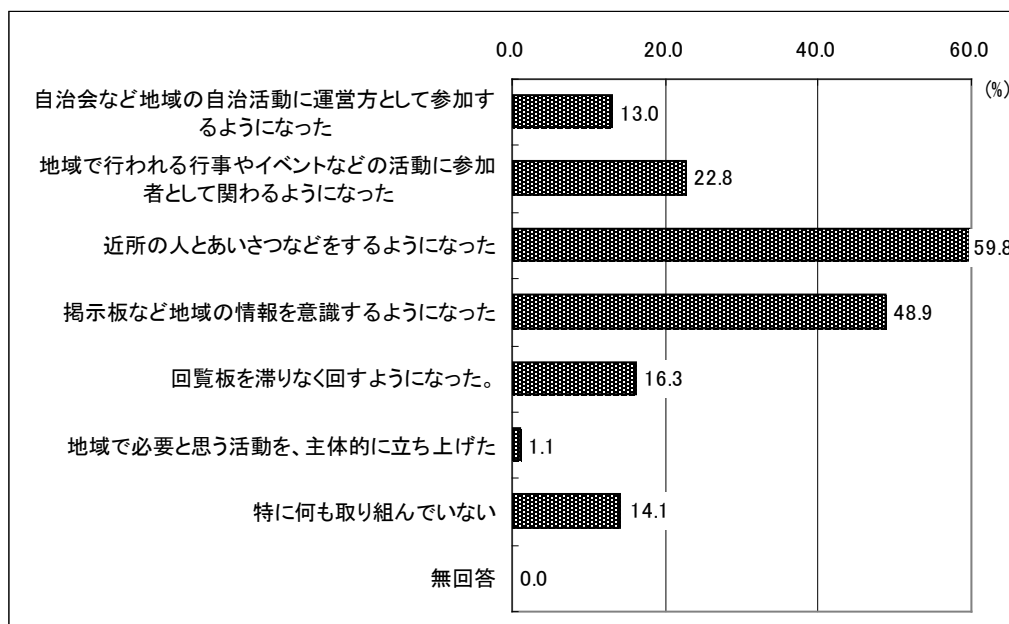
図 33 震災後近所付き合いへの考え方は変わったか【N=187】



(12) 具体的な取組

上記(11)で「変わった」、「少し変わった」と答えた人に対して、近所付き合いで具体的に取組んだことについて尋ねたところ、「近所の人とあいさつなどをするようになった」が59.8%と最も割合が高く、次いで、「掲示板など地域の情報を意識するようになった」が48.9%、「地域で行われる行事やイベントなどの活動に参加者として関わるようになった」が22.8%であった。他方、「特になにもしていない」が14.1%であった。

図 34 具体的な取組【N=92; 複数回答】



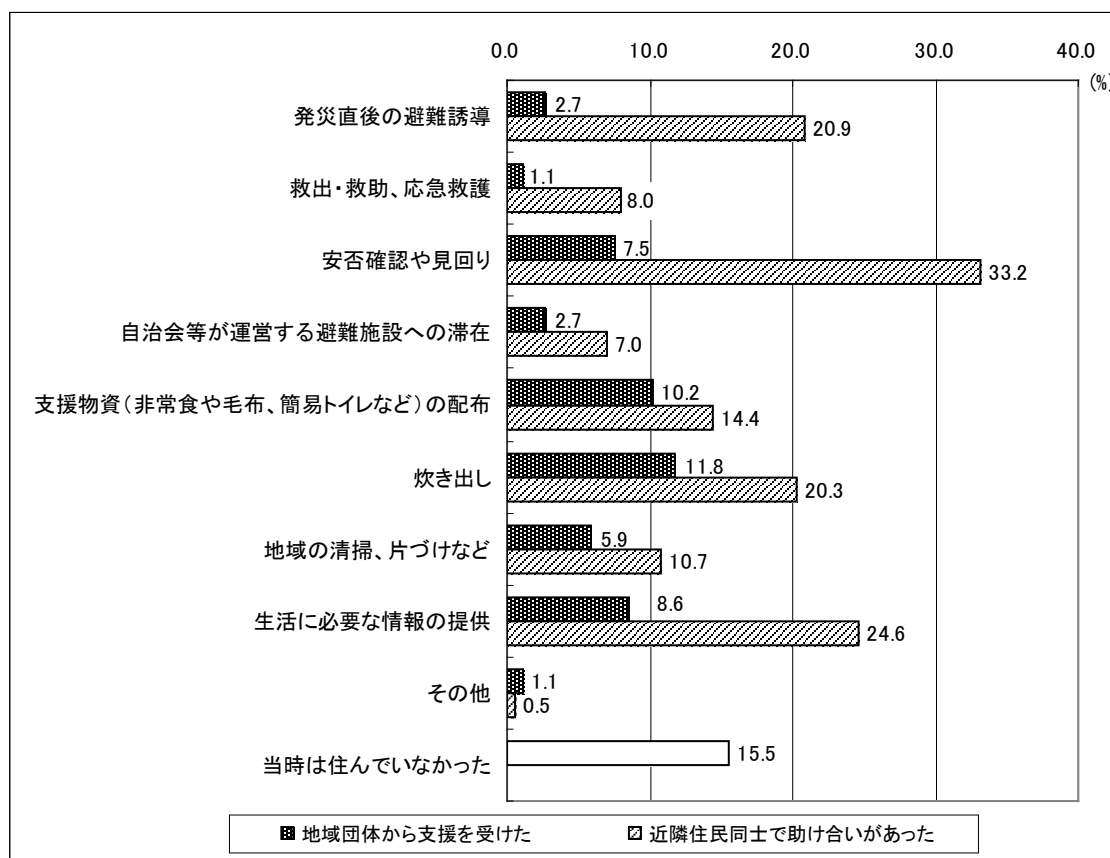
(13) 東日本大震災後の支援や助け合い

東日本大震災後の支援や助け合いについて尋ねたところ、「近隣住民同士で助け合いがあった」ことは、「安否確認や見回り」が33.2%と最も割合が高く、次いで、「生活に必要な情報の提供」が24.6%、「発災直後の避難誘導」が20.9%、「炊き出し」が20.3%であった。

他方、「地域団体から支援を受けた」ことは、「炊き出し」が11.8%、「支援物資（非常食や毛布、簡易トイレなど）の配布」が10.2%、「生活に必要な情報の提供」が8.6%であった。

「当時は住んでいなかった」は15.5%であった。

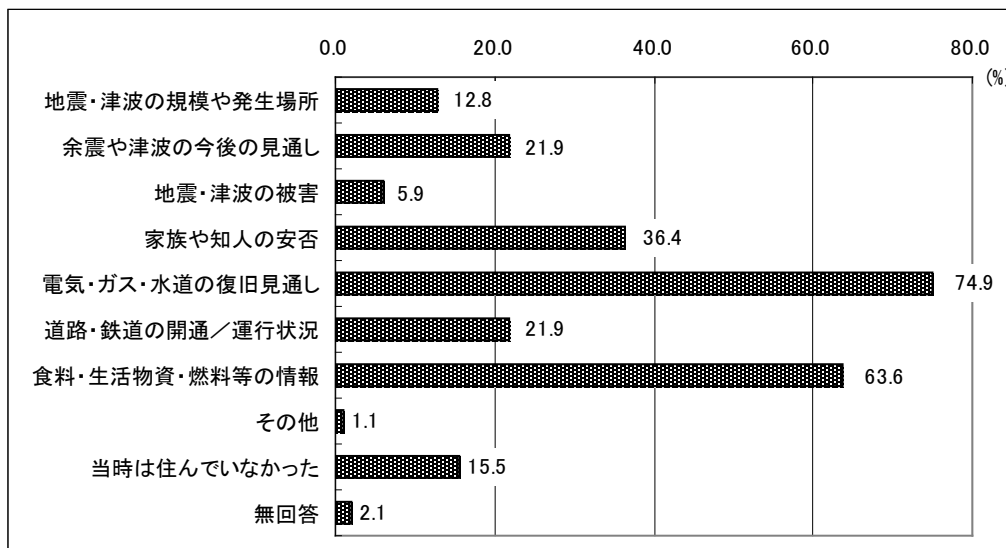
図 35 東日本大震災後の支援や助け合い【N=187; 複数回答】



(14) 災害後1か月程度の間で必要な情報

災害後1か月程度の間で、必要な情報について尋ねたところ、「電気・ガス・水道の復旧見通し」が74.9%と最も割合が高く、次いで、「食料・生活物資・燃料等の情報」が63.6%、「家族や知人の安否」が36.4%であった。

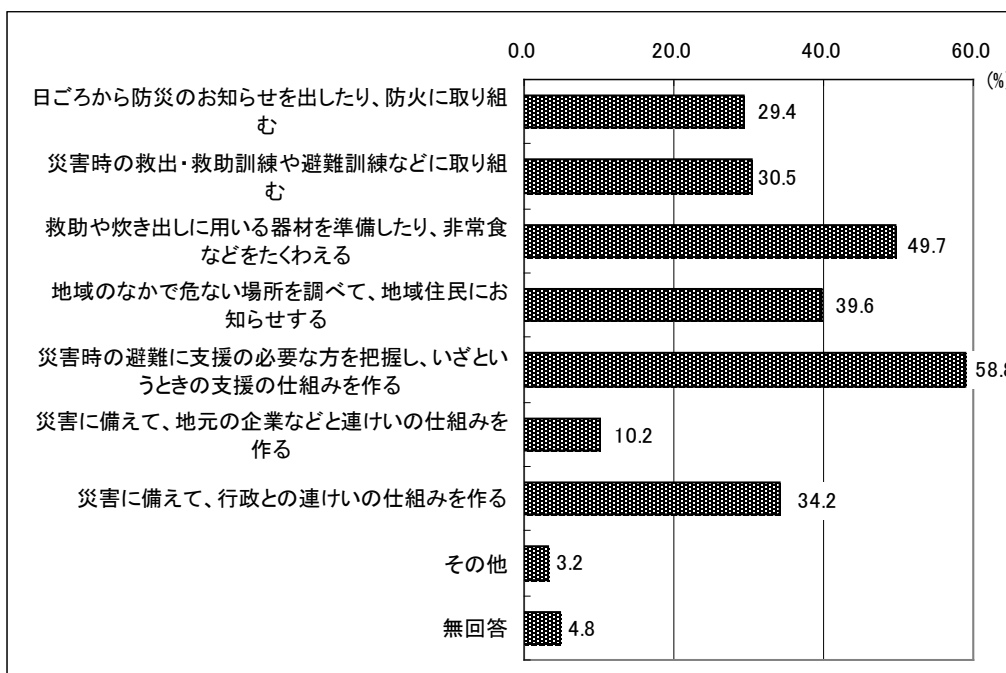
図 36 災害後1か月程度の間で必要な情報【N=187;複数回答(3つまで)】



(15) 防災力向上のために地域団体に期待する役割

防災力向上のために地域団体に期待する役割について尋ねたところ、「災害時の避難に支援の必要な方を把握し、いざというときの支援の仕組みを作る」が58.8%と最も割合が高く、次いで、「救助や炊き出しに用いる器材を準備したり、非常食などをたくわえる」が49.7%、「地域のなかで危ない場所を調べて、地域住民にお知らせする」が39.6%、「災害に備えて、行政との連携の仕組みを作る」が34.2%であった。

図 37 防災力向上のために地域団体に期待する役割【N=187;複数回答(3つまで)】

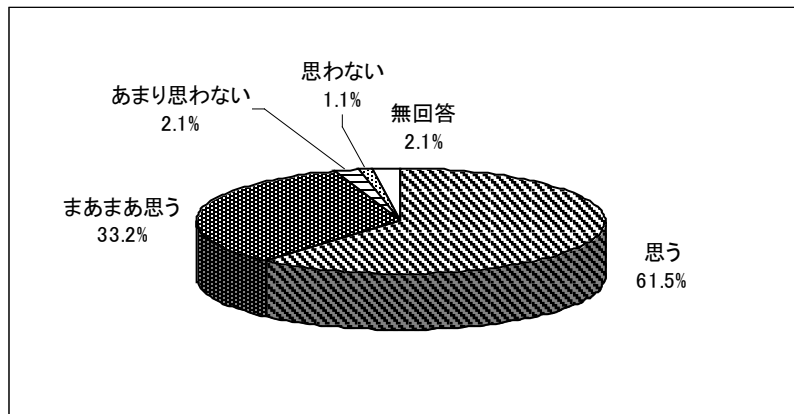


(16) 地域のつながりは重要と思うか

地域のつながりは重要と思うか尋ねたところ、「思う」が61.5%と最も割合が高く、次いで、「まあまあ思う」が33.2%、「あまり思わない」が2.1%、「思わない」が1.1%であった。

「思う」と「まあまあ思う」を合わせた割合は94.7%と全体の9.5割を占める。

図 38 地域のつながりは重要と思うか【N=187】

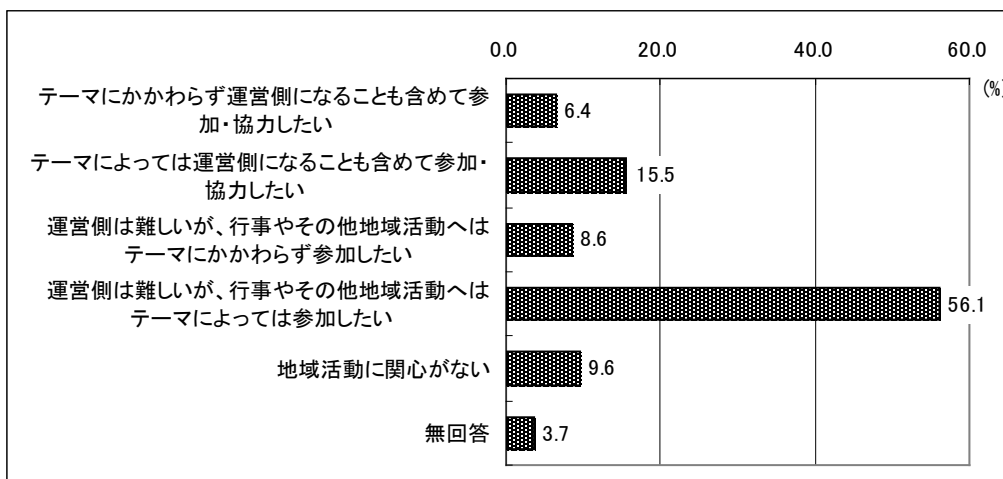


(17) 地域活動への参加意向

地域活動への参加意向については、「運営側は難しいが、行事やその他地域活動へはテーマによっては参加したい」が56.1%と最も割合が高く、全体の過半数を占めている。

次いで、「テーマによっては運営側になることも含めて参加・協力したい」が15.5%となっている。他方、「地域活動に関心がない」は9.6%であった。

図 39 地域活動への参加意向【N=187】

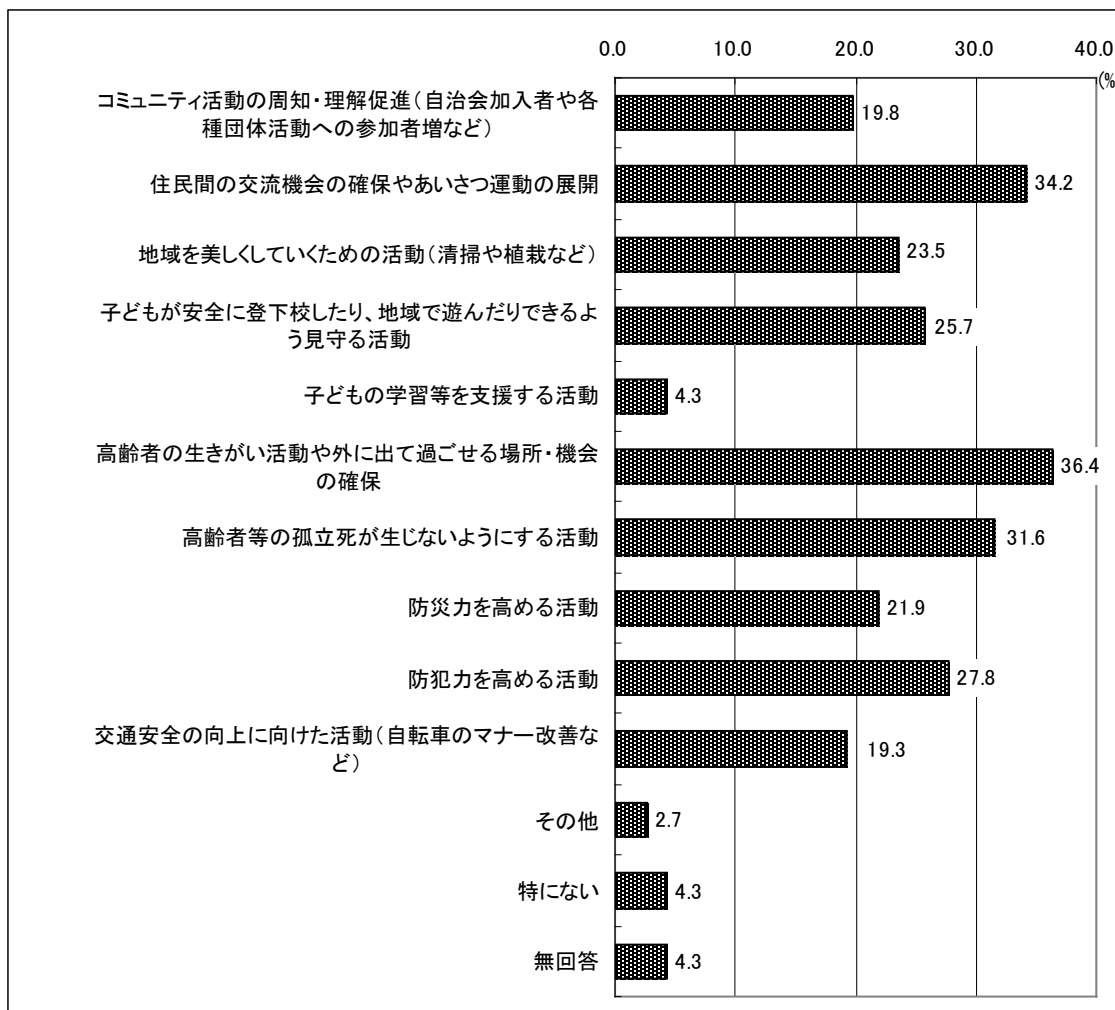


(18) 取り組んでほしいテーマ

地域の団体（自治会、町内会など）に今後取り組んでほしいテーマについて尋ねたところ、「高齢者の生きがい活動や外に出て過ごせる場所・機会の確保」が36.4%と最も割合が高く、次いで、「住民間の交流機会の確保やあいさつ運動の展開」が34.2%、「高齢者等の孤立死が生じないようにする活動」が31.6%となっており、高齢者を始めとするふれあいに対して関心が高いことが分かる。

その他、「防犯力を高める活動」が27.8%、「子どもが安全に登下校したり、地域で遊んだりできるような見守る活動」が25.7%と、防犯に対しても関心が高くなっている。

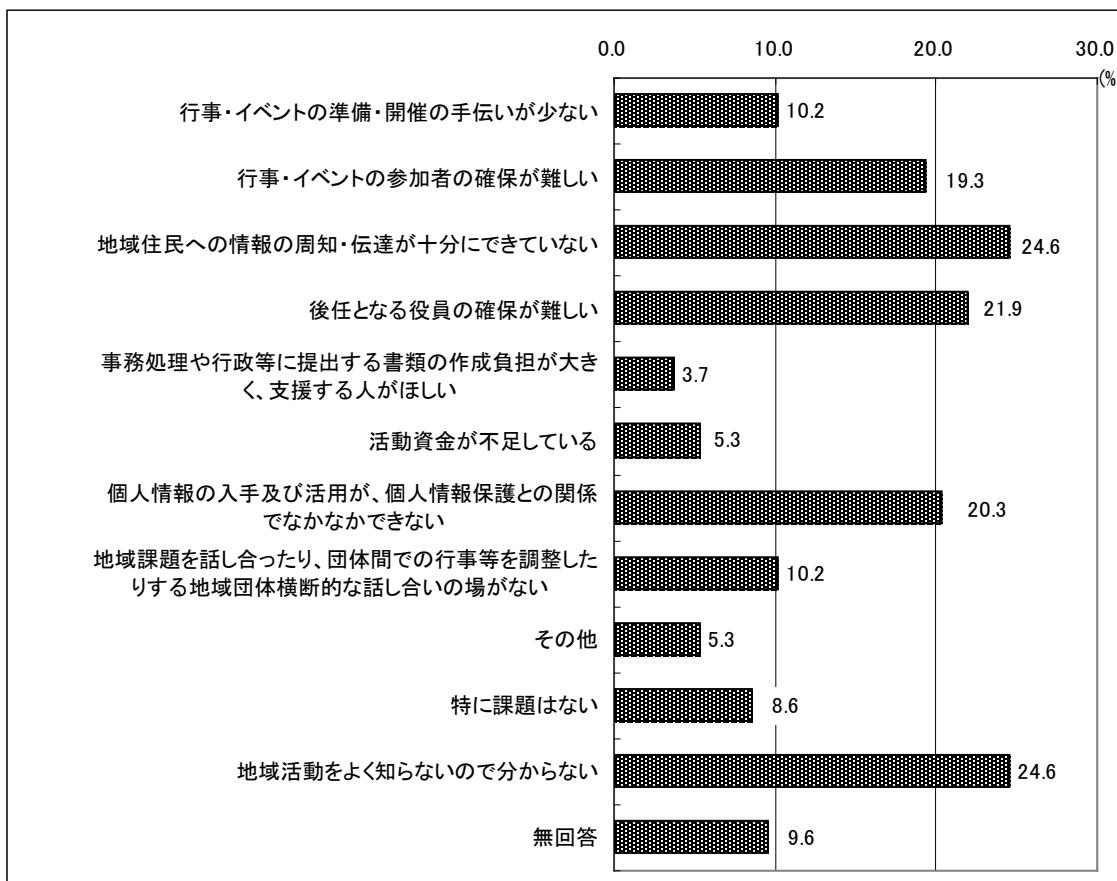
図 40 取り組んでほしいテーマ【N=187;複数回答(3つまで)】



(19) 地域活動の課題

地域の団体（自治会、町内会など）の活動を活性化する上で、課題として感じていることについて尋ねたところ、「地域活動をよく知らないので分からない」と「地域住民への情報の周知・伝達が十分にできていない」がともに24.6%と最も割合が高く、次いで、「後任となる役員の確保が難しい」が21.9%、「個人情報の入手及び活用が、個人情報保護との関係でなかなかできない」が20.3%、「行事・イベントの参加者の確保が難しい」が19.3%であった。

図 41 地域活動の課題【N=187; 複数回答】

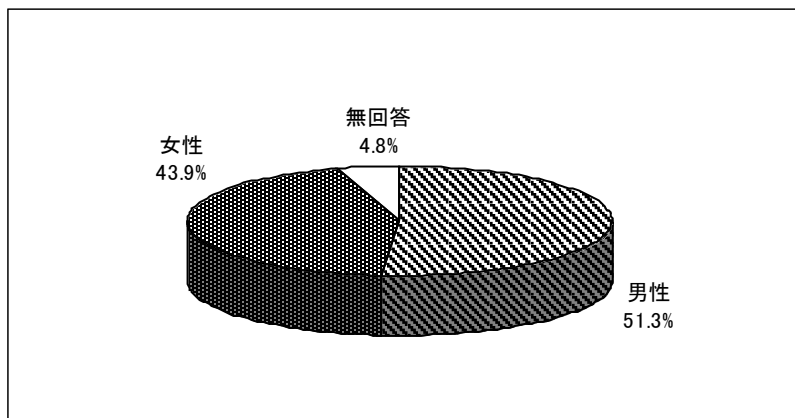


4) 回答者の属性

(1) 性別

回答者の性別については、「男性」が51.3%、「女性」が43.9%となっており、全体の5割強が「男性」である。

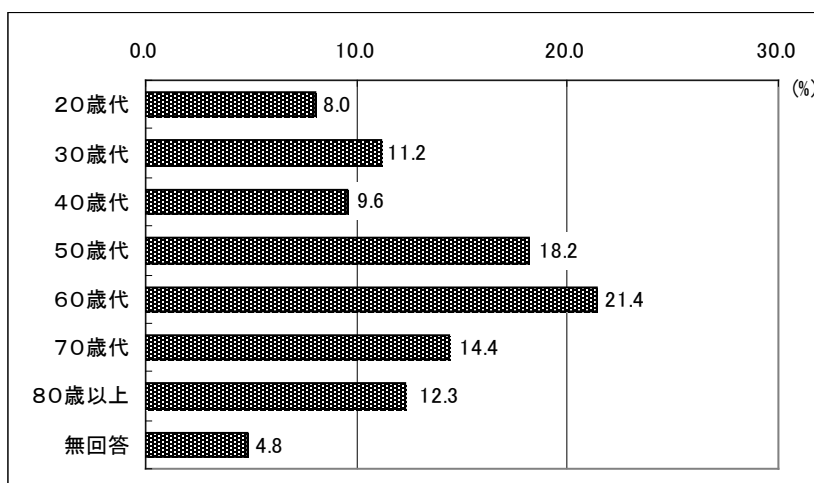
図 42 性別【N=187】



(2) 年代

回答者の年代については、「60歳代」が21.4%と最も割合が高く、次いで、「50歳代」が18.2%、「70歳代」が14.4%、「80歳以上」が12.3%となっている。「60歳以上」が48.1%と約半数を占めている。

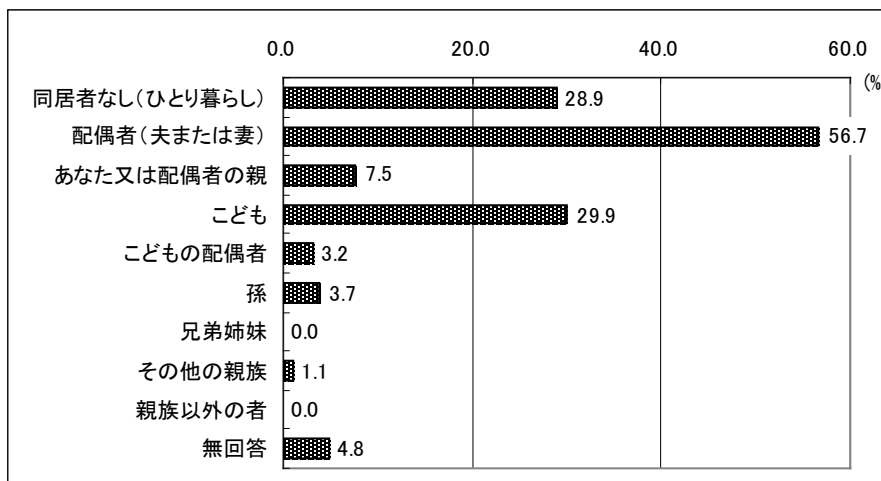
図 43 年代【N=187】



(3) 同居する人

同居する人については、「配偶者（夫または妻）」が56.7%と最も割合が高く、次いで、「子ども」が29.9%、「同居者なし（ひとり暮らし）」が28.9%、「あなた又は配偶者の親」が7.5%となっている。

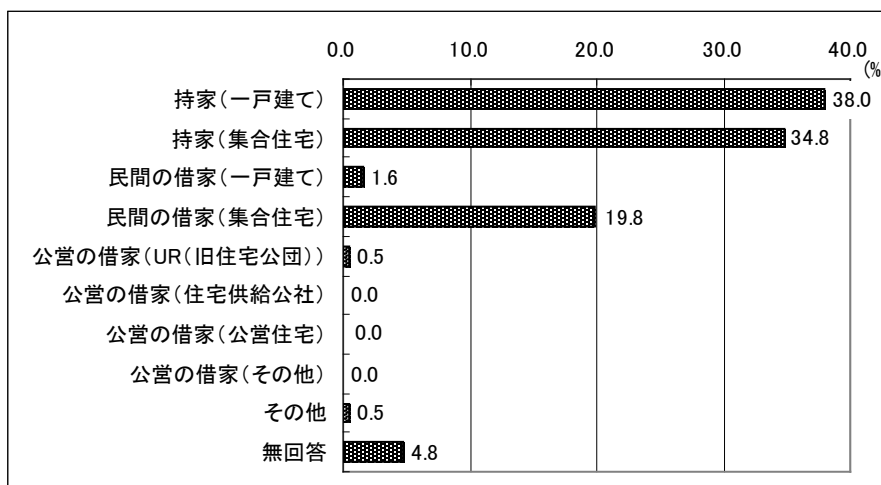
図 44 同居する人【N=187;複数回答】



(4) 住まい

住まいの種類については、「持家（一戸建て）」が38.0%、「持家（集合住宅）」が34.8%、「民間の借家（集合住宅）」が19.8%となっている。

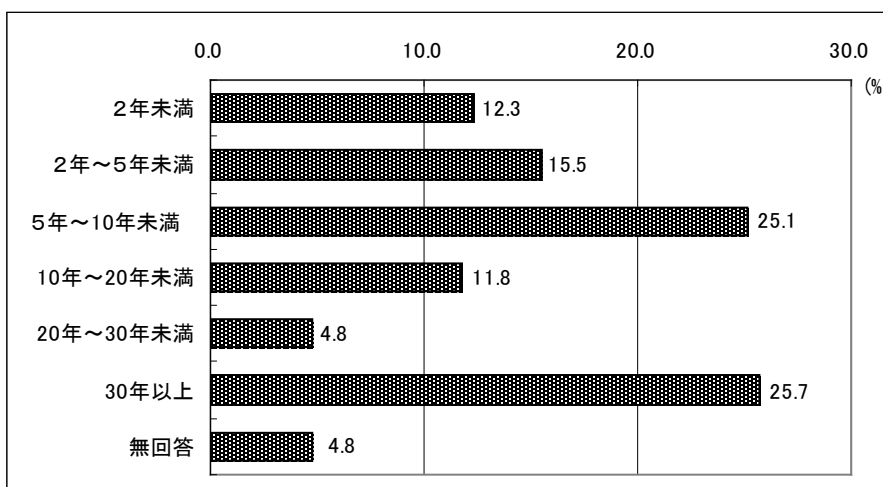
図 45 住まい【N=187】



(5) 居住年数

居住年数については、「30年以上」が25.7%、「5年～10年未満」が25.1%、「2年～5年未満」が15.5%、「2年未満」が12.3%となっている。

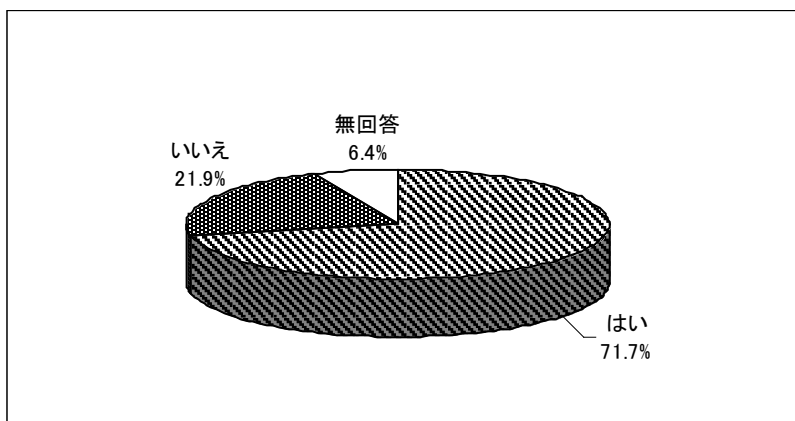
図 46 居住年数【N=187】



(6) 東日本大震災時に被害のあったいずれかの地域に住んでいたか。

東日本大震災時に被害のあったいずれかの地域に住んでいた人は、71.1%と約7割を占めている。

図 47 東日本大震災時に被害のあったいずれかの地域に住んでいたか【N=187】



3. 仙台市B地区 調査結果

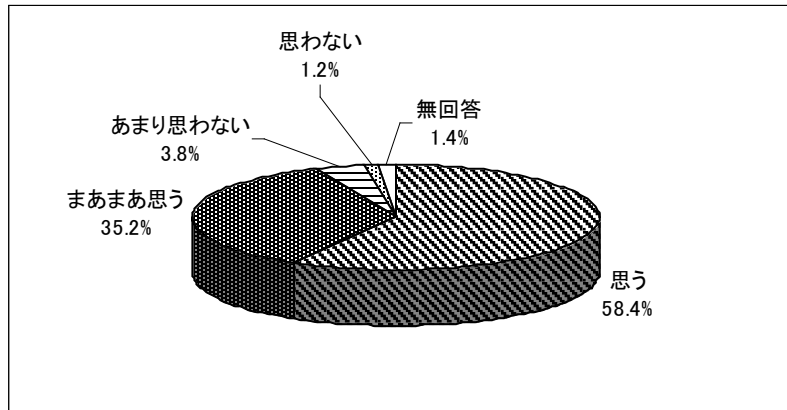
1) お住まいの地域について

(1) この地域の住みやすさ

この地域の住みやすさについては、「思う」が58.4%、「まあまあ思う」が35.2%となっており、「思う」と「まあまあ思う」を合わせると、93.6%となる。

他方、「あまり思わない」は3.8%、「思わない」は1.2%となっており、「あまり思わない」と「思わない」を合わせると、5.0%となる。

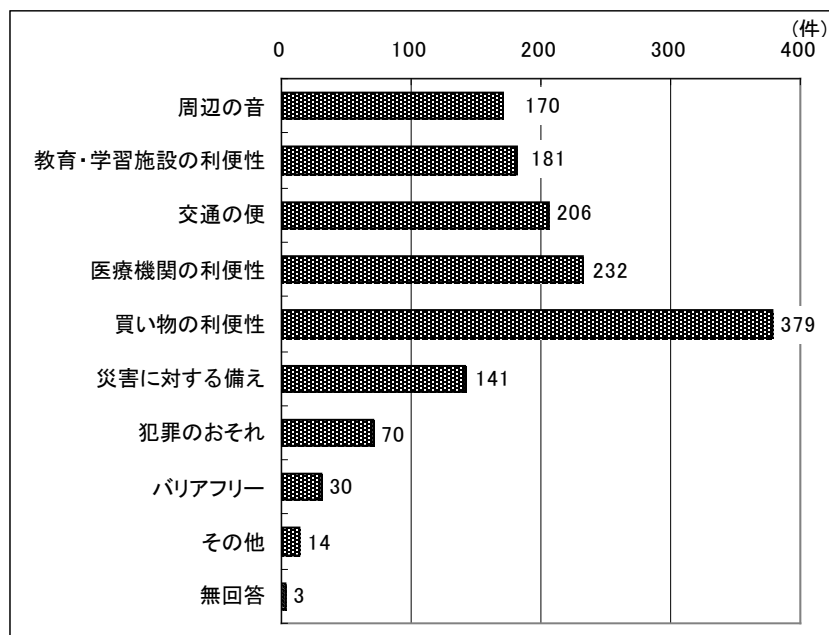
図 48 この地域の住みやすさ【N=421】



(2) 住みやすいと感じる理由

上記(1)で「思う」、「まあまあ思う」と答えた人に対して、その理由を尋ねたところ、「買い物の利便性」が379件と最も多く、次いで、「医療機関の利便性」が232件、「交通の便」が206件、「教育・学習施設の利便性」が181件、「周辺の音」が170件であった。

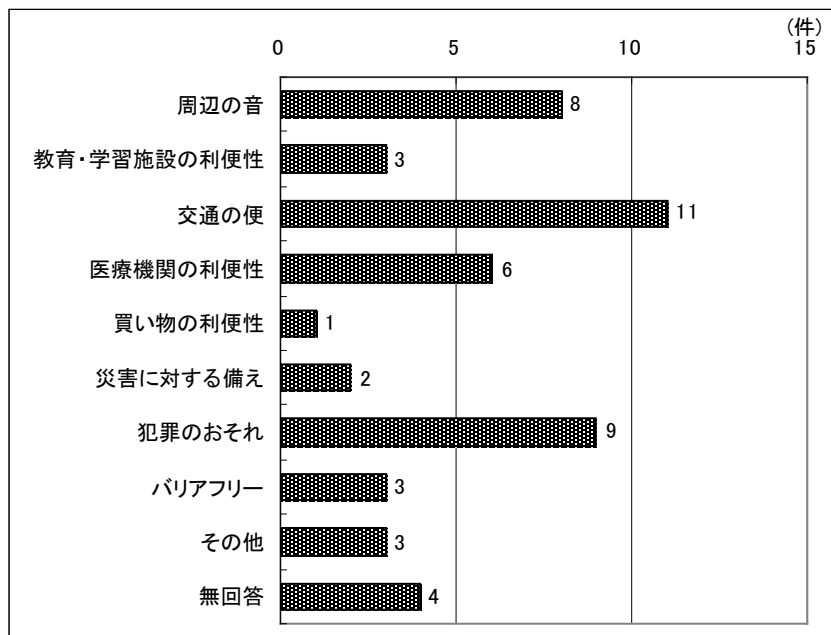
図 49 住みやすいと感じる理由【N=394; 複数回答】



(3) 住みにくいと感じる理由

上記(1)で「あまり思わない」、「思わない」と答えた人に対して、その理由について尋ねたところ、「交通の便」が11件、「犯罪のおそれ」が9件、「周辺の音」が8件、「医療機関の利便性」が6件であった。

図 50 住みにくいと感じる理由【N=21;複数回答】

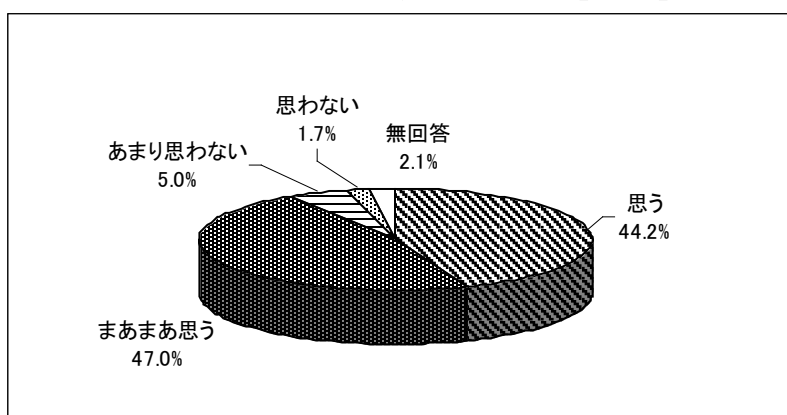


(4) この地域に住み続けたいと思うか

この地域に住み続けたいと思うかについては、「思う」が44.2%、「まあまあ思う」が47.0%となっており、「思う」と「まあまあ思う」を合わせると、91.2%となる。

他方、「あまり思わない」は5.0%、「思わない」は1.7%となっており、「あまり思わない」と「思わない」を合わせると、6.7%となる。

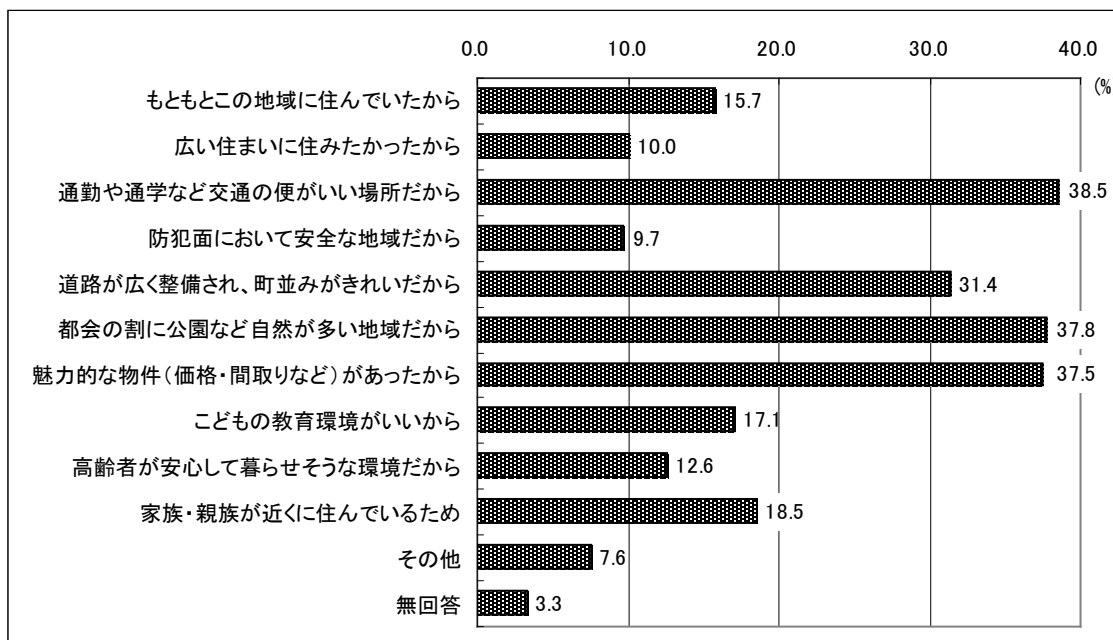
図 51 この地域に住み続けたいと思うか【N=421】



(5) この地域に住みたいと思ったきっかけ

この地域に住みたいと思ったきっかけについては、「通勤や通学など交通の便がいい場所だから」が38.5%、「都会の割に公園など自然が多い地域だから」が37.8%、「魅力的な物件（価格・間取りなど）があったから」が37.5%、「道路が広く整備され、町並みがきれいだから」が31.4%となっている。

図 52 この地域に住みたいと思ったきっかけ【N=421;複数回答】

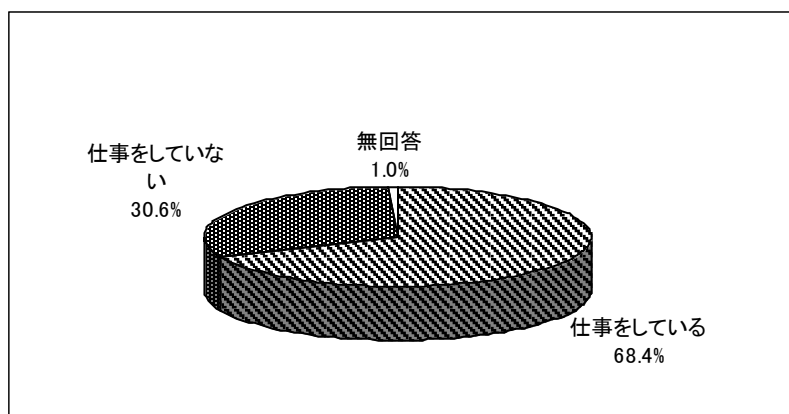


2) ライフスタイルについて

(1) 本人の就労状況

回答者本人の就労状況については、「仕事をしている」が68.4%と、全体の約7割を占めている。他方、「仕事をしていない」が30.6%となっている。

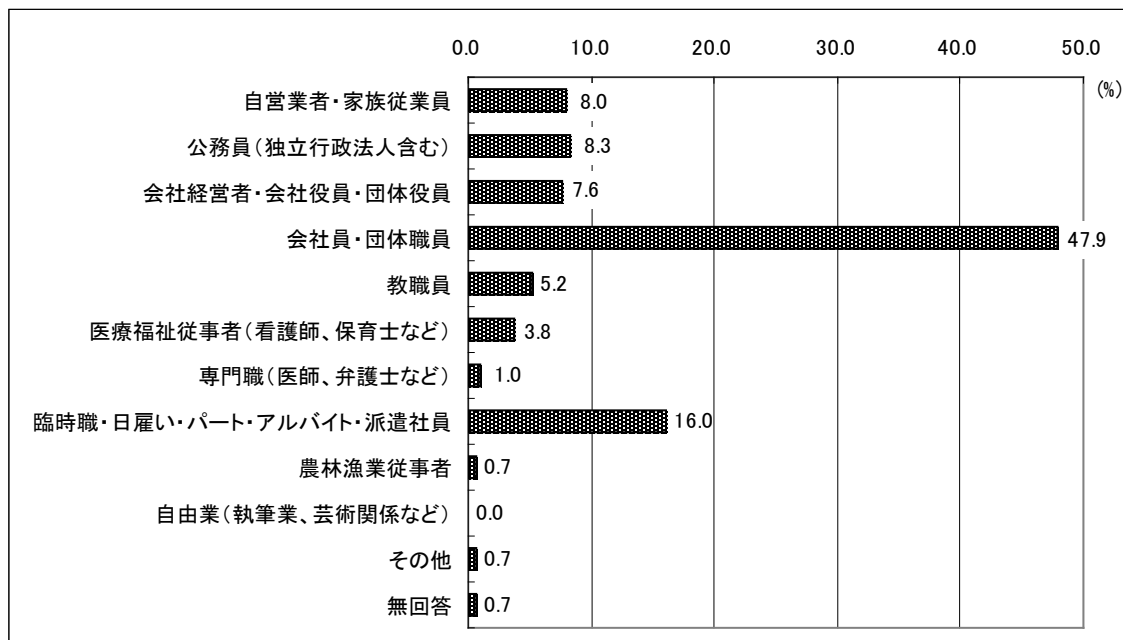
図 53 本人の就労状況【N=421】



(2) 本人の職業・今までの職業

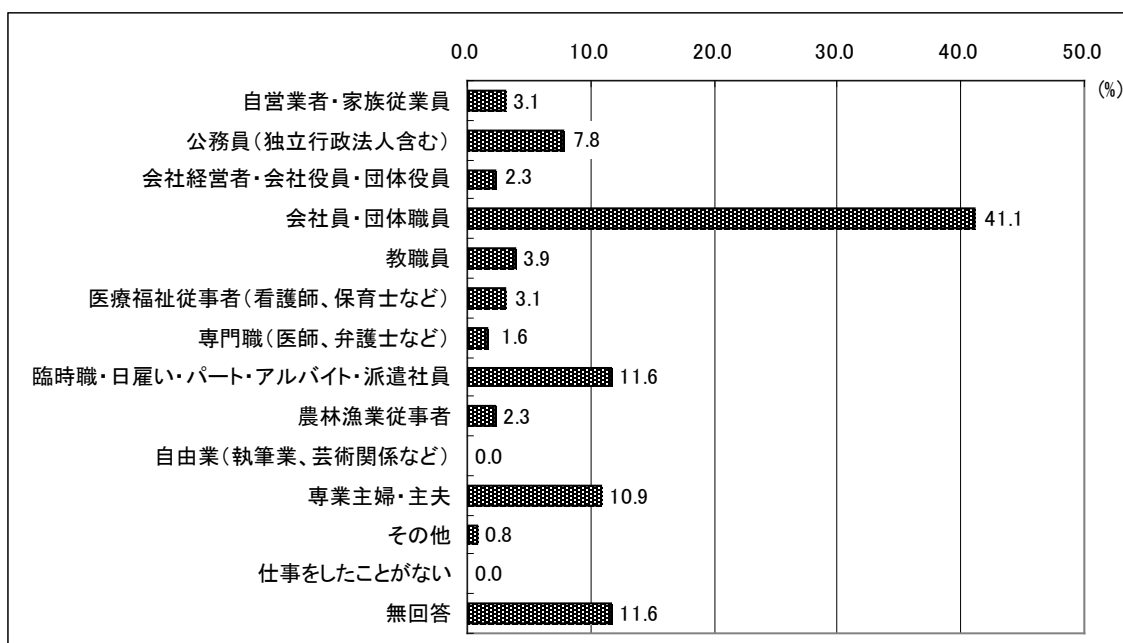
上記(1)で「仕事をしている」と答えた人の職業については、「会社員・団体職員」が47.9%と最も割合が高く、次いで、「臨時職・日雇い・パート・アルバイト・派遣社員」が16.0%となっている。

図 54 本人の職業(現在仕事をしている人)【N=288】



上記(1)で「仕事をしていない」と答えた人の今まで従事した職業については、「会社員・団体職員」が41.1%と最も割合が高く、次いで、「臨時職・日雇い・パート・アルバイト・派遣社員」が11.6%、「専業主婦・主夫」が10.9%、「公務員(独立行政法人含む)」が7.8%となっている。

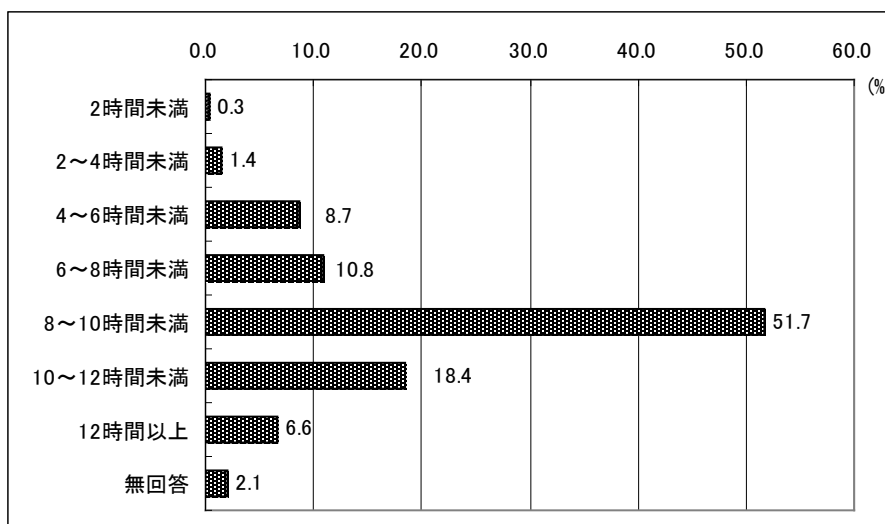
図 55 本人の今までの職業(現在仕事をしていない人)【N=129】



(3) 本人の勤務時間

上記(1)で「仕事をしている」と答えた人の勤務時間については、「8～10 時間未満」が51.7%と最も多く、次いで、「10～12 時間未満」が18.4%、「6～8 時間未満」が10.8%となっている。

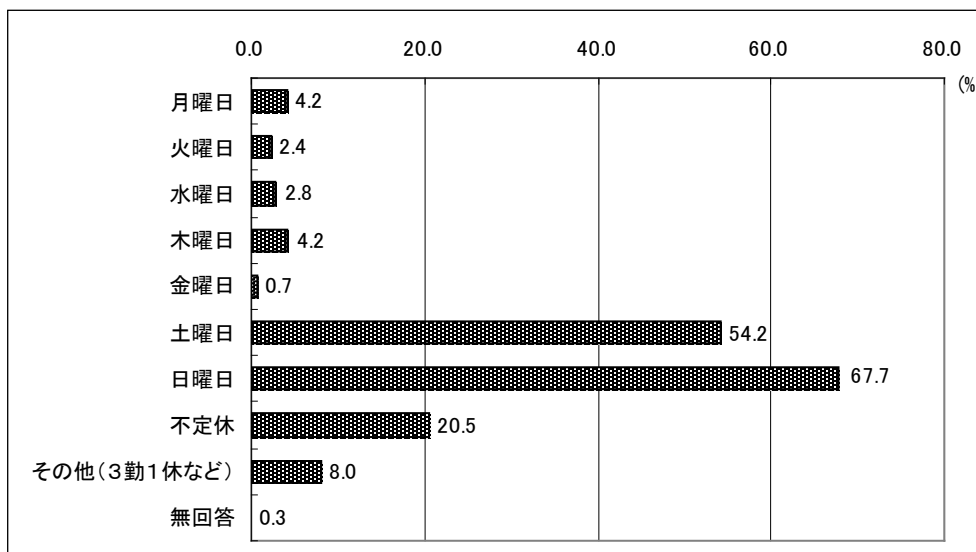
図 56 本人の勤務時間【N=288】



(4) 本人の通常の休日

上記(1)で「仕事をしている人」と答えた人の通常の休日については、「日曜日」が67.7%、「土曜日」が54.2%となっており、週末が休みの割合が高い。一方、「不定休」も20.5%ある。

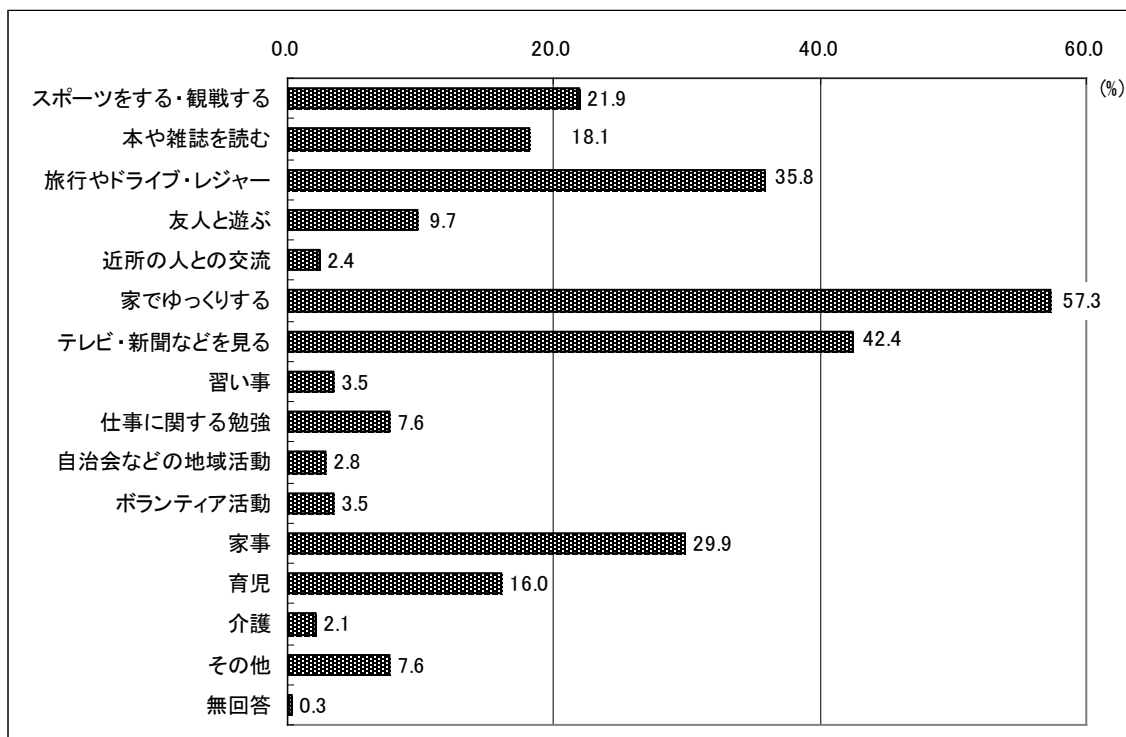
図 57 本人の通常の休日(現在仕事をしている人)【N=288; 複数回答】



(5) 本人の休日等の過ごし方

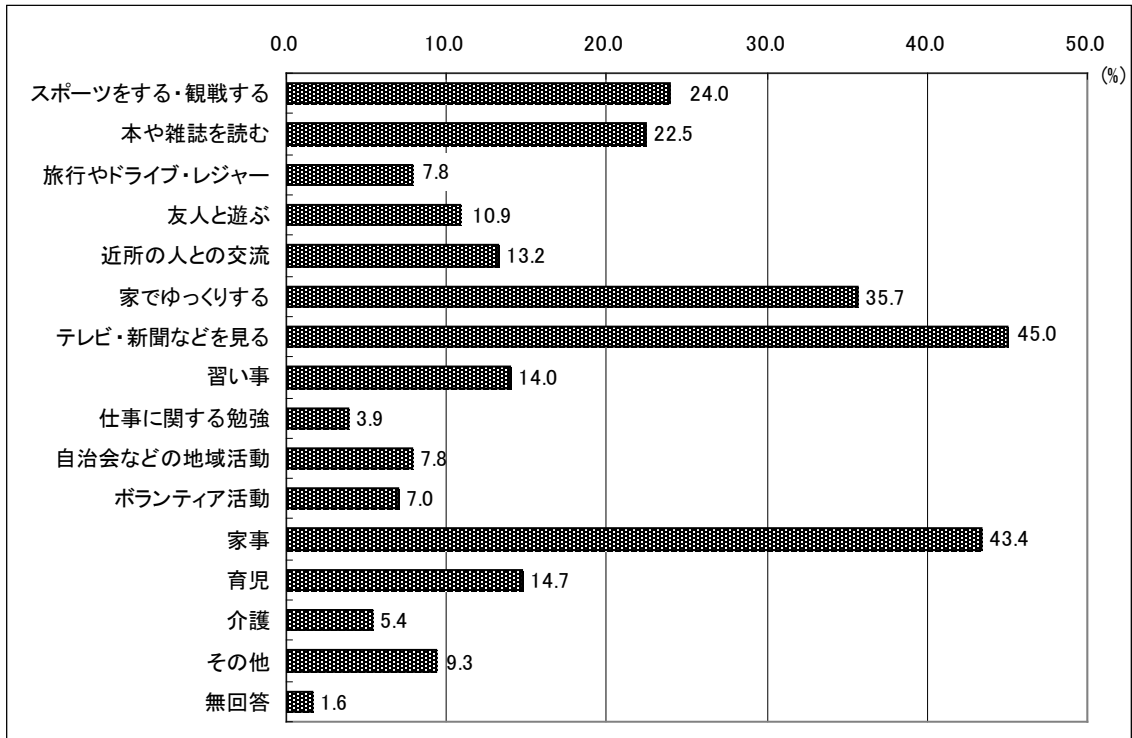
上記(1)で「仕事をしている人」と答えた人に対して、休日の過ごし方について尋ねたところ、「家でゆっくりする」が57.3%と最も割合が高く、次いで、「テレビ・新聞などを見る」が42.4%、「旅行やドライブ・レジャー」が35.8%、「家事」が29.9%、「スポーツをする・観戦する」が21.9%であった。

図 58 本人の休日の過ごし方(現在仕事をしている人)【N=288;複数回答(3つまで)】



上記(1)で「仕事をしていない」と答えた人に対して、1週間の過ごし方について尋ねたところ、「テレビ・新聞などを見る」が45.0%と最も割合が高く、次いで、「家事」が43.4%、「家でゆっくりする」が35.7%、「スポーツをする・観戦する」が24.0%、「本や雑誌を読む」が22.5%であった。

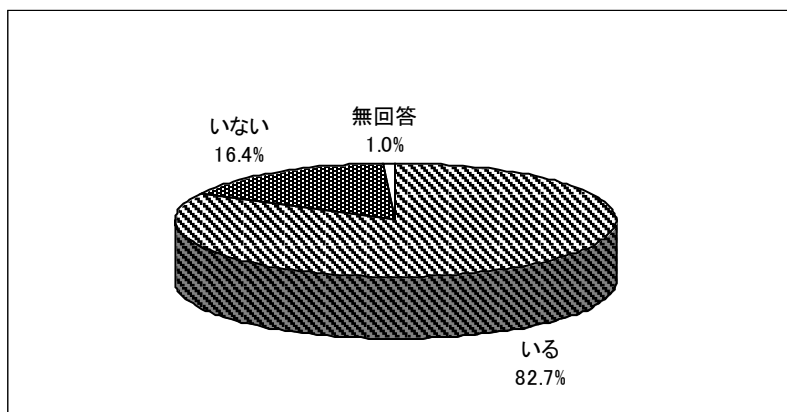
図 59 本人の1週間の過ごし方(現在仕事をしていない人)【N=129;複数回答(3つまで)】



(6) 配偶者の有無

配偶者の有無については、「いる」が82.7%と全体の約8割強を占めている。他方、「いない」は16.4%となっている。

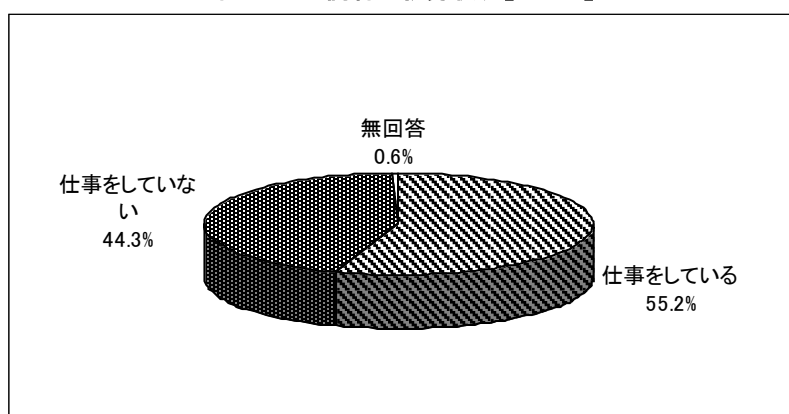
図 60 配偶者の有無【N=421】



(7) 配偶者の就労状況

上記(6)で配偶者が「いる」と答えた人に対して、配偶者の就労状況について尋ねたところ、「仕事をしている」が55.2%、「仕事をしていない」が44.3%であった。

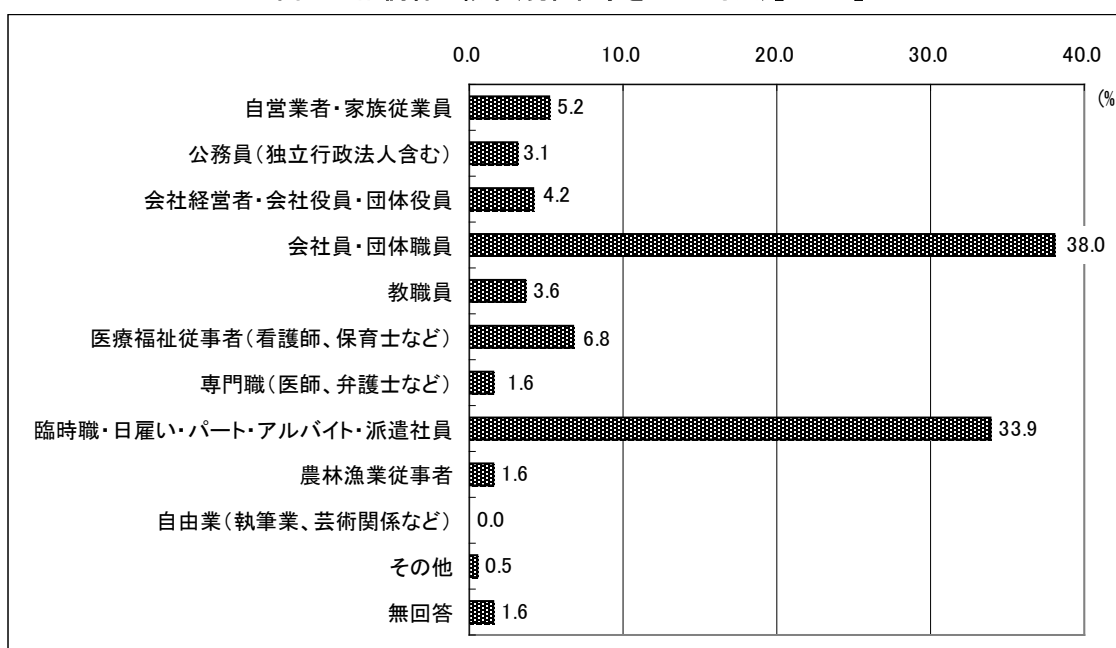
図 61 配偶者の就労状況【N=348】



(8) 配偶者の職業・今までの職業

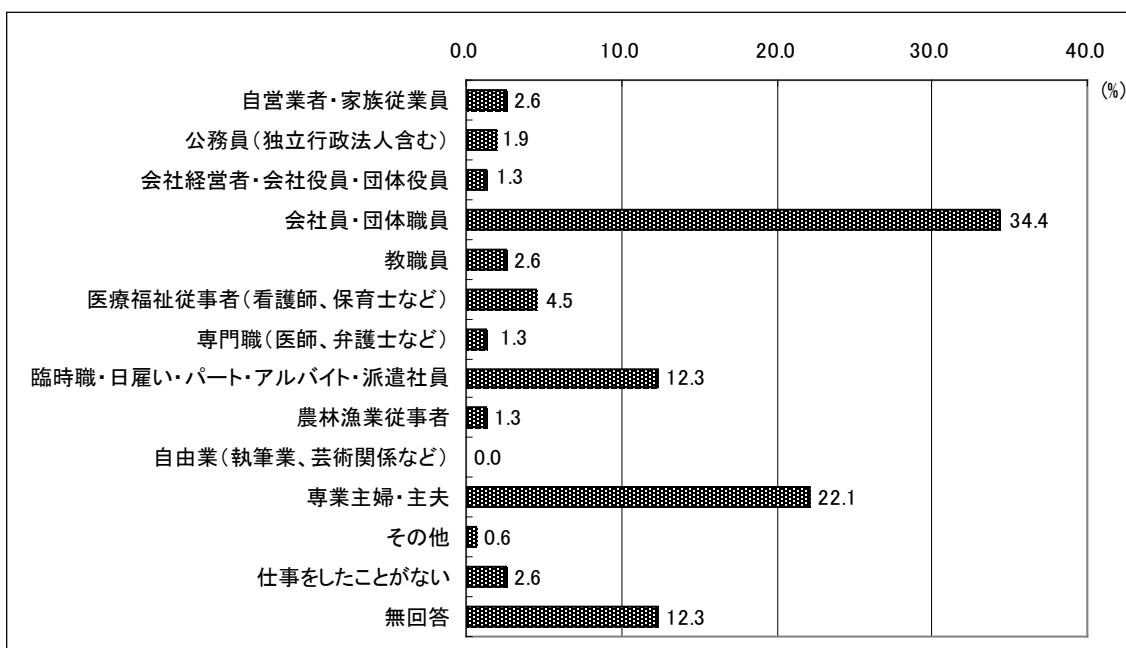
上記(7)で配偶者が「仕事をしている」と答えた人に対して、配偶者の職業について尋ねたところ、「会社員・団体職員」が38.0%と最も割合が高く、次いで、「臨時職・日雇い・パート・アルバイト・派遣社員」が33.9%であった。

図 62 配偶者の職業(現在仕事をしている人)【N=192】



上記(7)で配偶者が「仕事をしていない」と答えた人に対して、配偶者が今まで従事した職業について尋ねたところ、「会社員・団体職員」が34.4%と最も割合が高く、次いで、「専業主婦・主夫」が22.1%と、「臨時職・日雇い・パート・アルバイト・派遣社員」が12.3%であった。

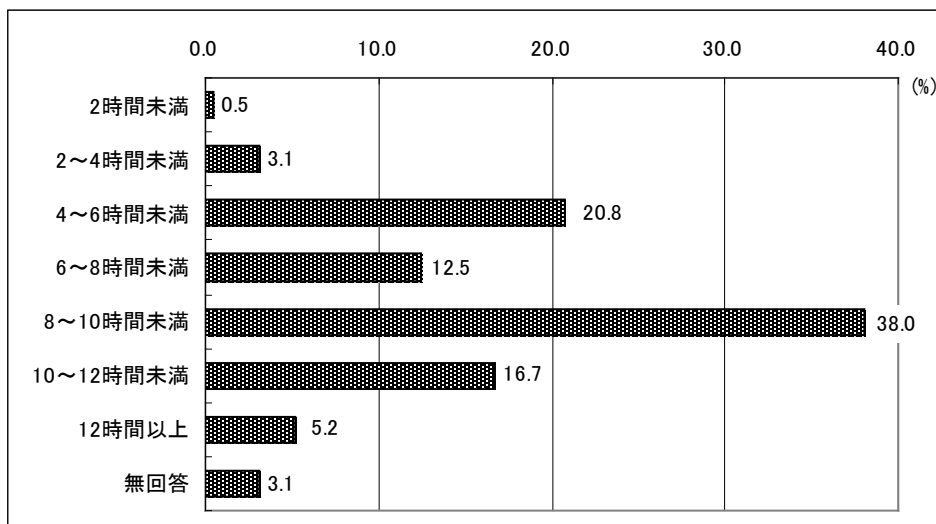
図 63 配偶者の今までの職業(現在仕事をしていない人)【N=154】



(9) 配偶者の勤務時間

上記(7)で配偶者が「仕事をしている」と答えた人に対して、配偶者の勤務時間について尋ねたところ、「8～10時間未満」が38.0%と最も割合が高く、次いで、「4～6時間未満」が20.8%、「10～12時間未満」が16.7%であった。

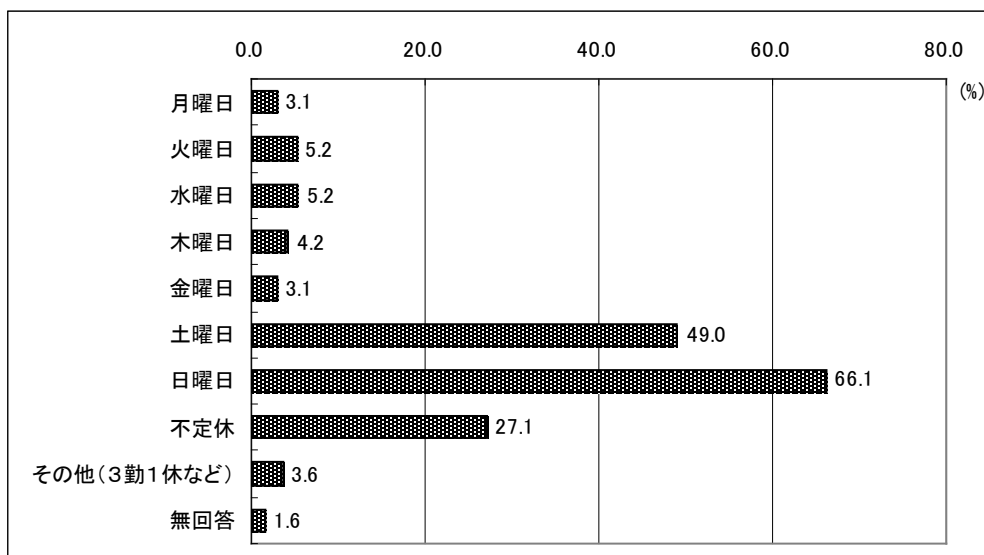
図 64 配偶者の勤務時間【N=192】



(10) 配偶者の通常の休日

上記(7)で配偶者が「仕事をしている」と答えた人に対して、配偶者の通常の休日について尋ねたところ、「日曜日」が66.1%、「土曜日」が49.0%と週末が休みの割合が高い。一方、「不定休」も27.1%あり、回答者本人に比べて高くなっている。

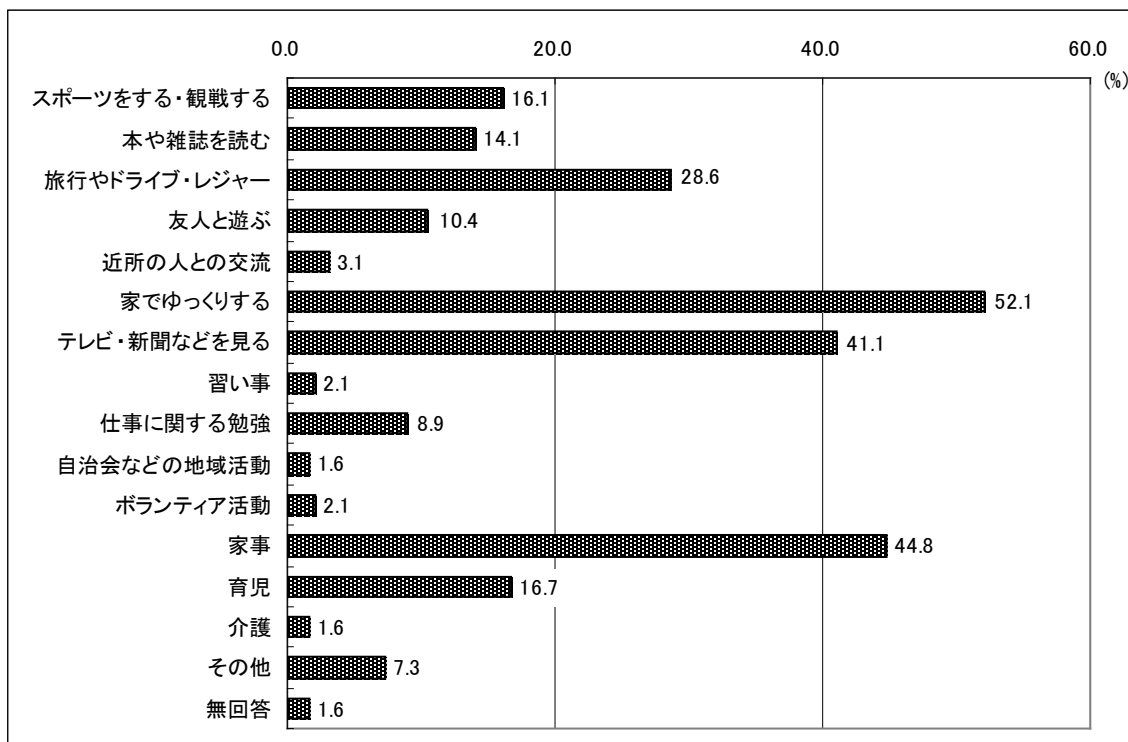
図 65 配偶者の通常の休日(現在仕事をしている人)【N=192;複数回答】



(11) 配偶者の休日等の過ごし方

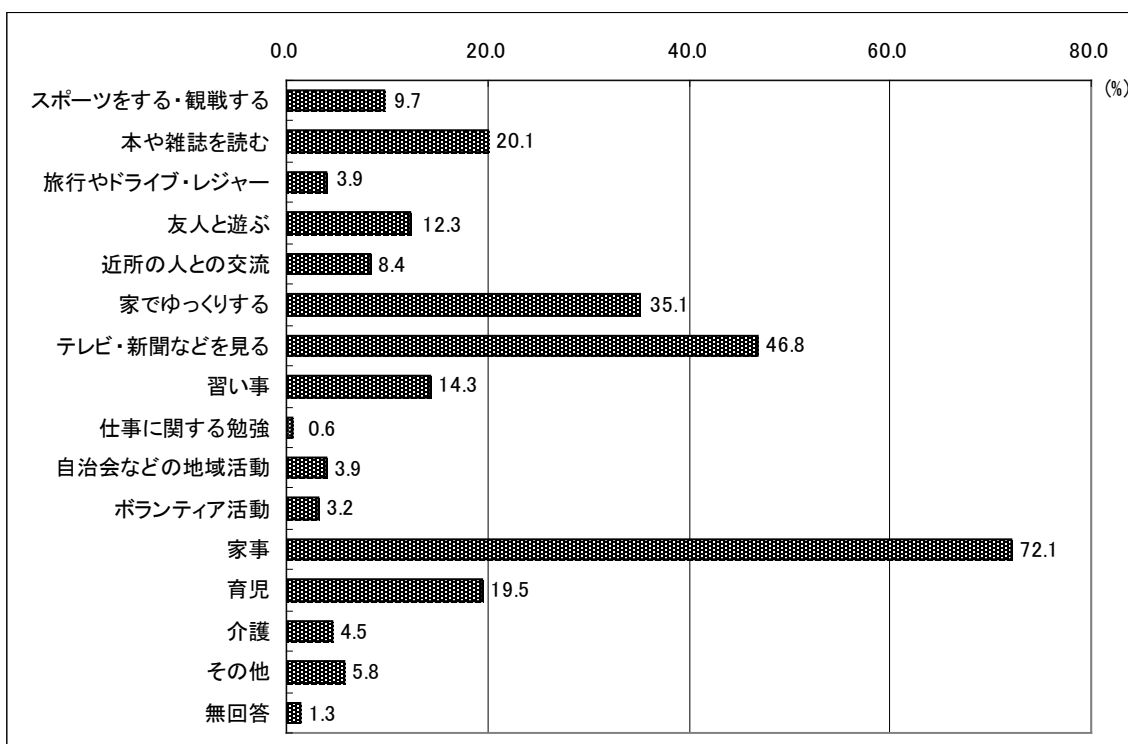
上記(7)で配偶者が「仕事をしている」と答えた人に対して、配偶者の休日の過ごし方について尋ねたところ、「家でゆっくりする」が52.1%と最も割合が高く、次いで、「家事」が44.8%、「テレビ・新聞などを見る」が41.1%、「旅行やドライブ・レジャー」が28.6%であった。

図 66 配偶者の休日の過ごし方(現在仕事をしている人)【N=192;複数回答(3つまで)】



上記(7)で配偶者が「仕事をしていない」と答えた人に対して、配偶者の1週間の過ごし方について尋ねたところ、「家事」が72.1%と最も割合が高く、次いで、「テレビ・新聞などを見る」が46.8%、「家でゆっくりする」が35.1%、「本や雑誌を読む」が20.1%であった。

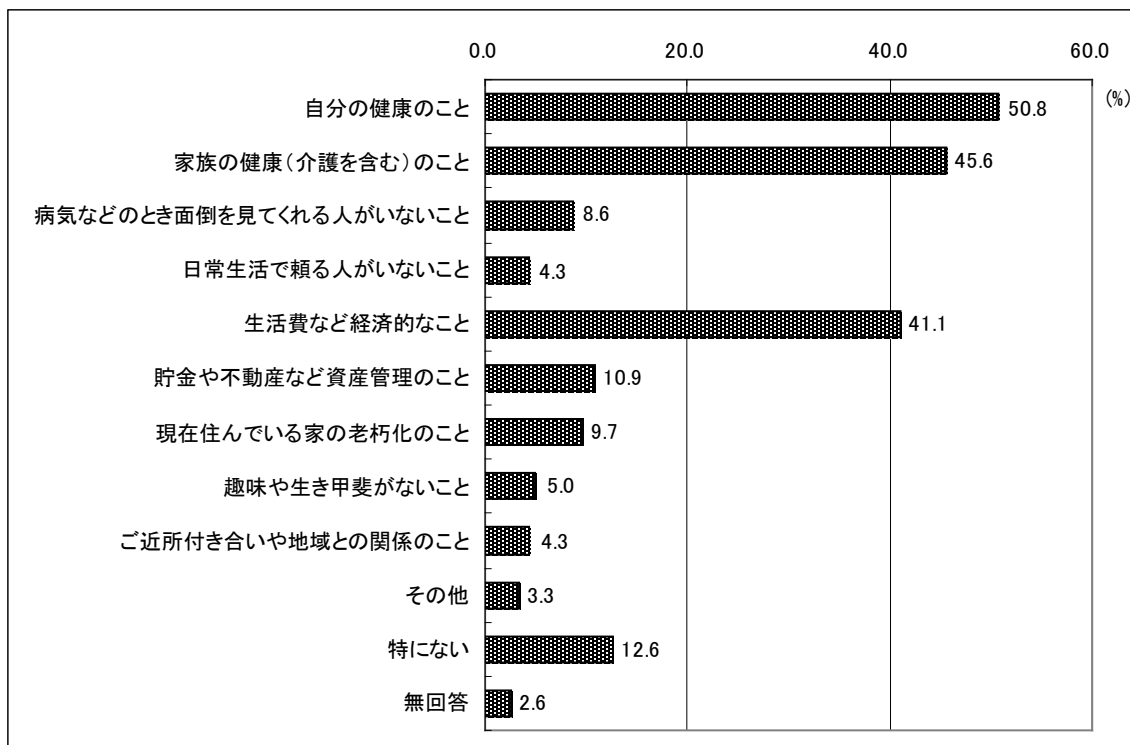
図 67 配偶者の1週間の過ごし方(現在仕事をしていない人)【N=154;複数回答(3つまで)】



(12) 心配ごと

現在の暮らしでの心配ごとについては、「自分の健康のこと」が50.8%と最も割合が高く、次いで、「家族の健康（介護を含む）のこと」が45.6%と「健康」に関する心配ごとが高くなってきているほか、「生活費など経済的なこと」が41.1%となっている。他方、「特にない」は12.6%であった。

図 68 心配ごと【N=421;複数回答(3つまで)】

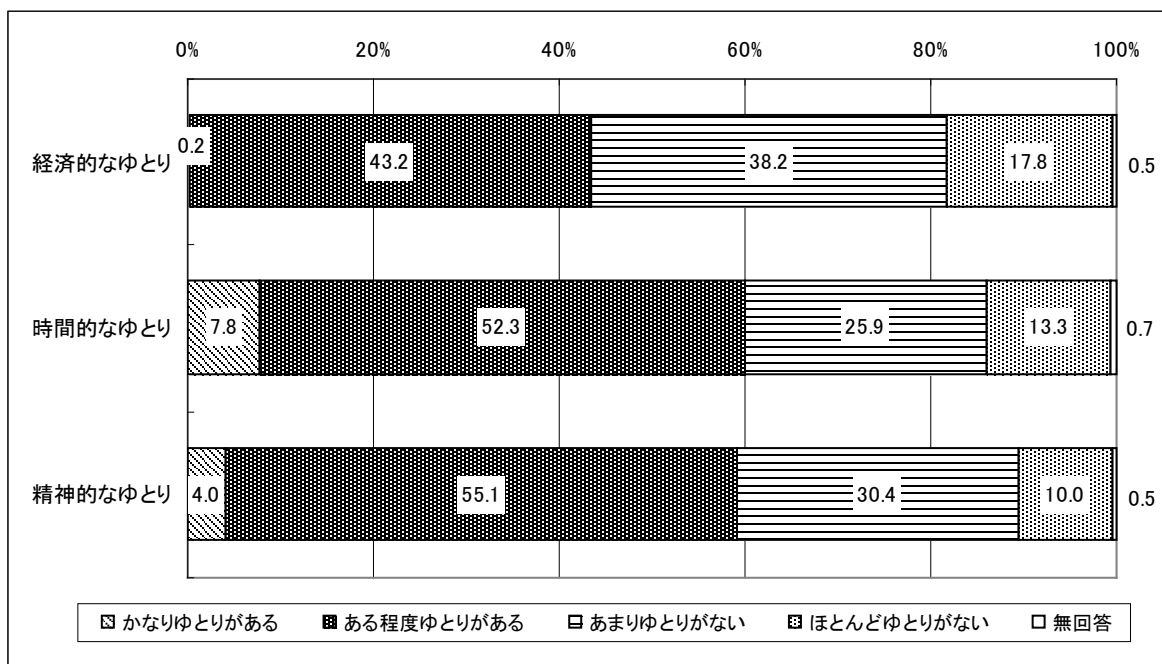


(13) ゆとりについて

日頃、「ゆとり」があるかどうかについて尋ねたところ、「経済的なゆとり」、「時間的なゆとり」、「精神的なゆとり」のいずれも、「ある程度ゆとりがある」と答えた人の割合が最も高くなっている。

「かなりゆとりがある」と「ある程度ゆとりがある」を合わせた割合は、「時間的なゆとり」と「精神的なゆとり」が約6割であるのに対して、「経済的なゆとり」は、約4割と、低くなっている。

図 69 ゆとりについて【N=421】



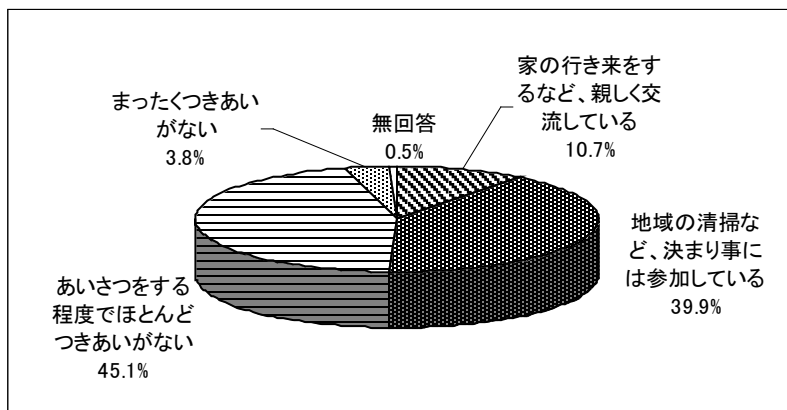
3) 近所付き合いについて

(1) 近所付き合いの程度

近所付き合いの程度については、「あいさつをする程度でほとんどつきあいがいい」が45.1%と最も割合が高く、次いで、「地域の清掃など、決まり事には参加している」が39.9%、「家の行き来をするなど、親しく交流している」が10.7%、「まったくつきあいがいい」が3.8%となっている。

「ほとんどつきあいがいい」と「まったくつきあいがいい」を合わせた割合は48.9%と全体の約半数となっている。

図 70 近所付き合いの程度【N=421】

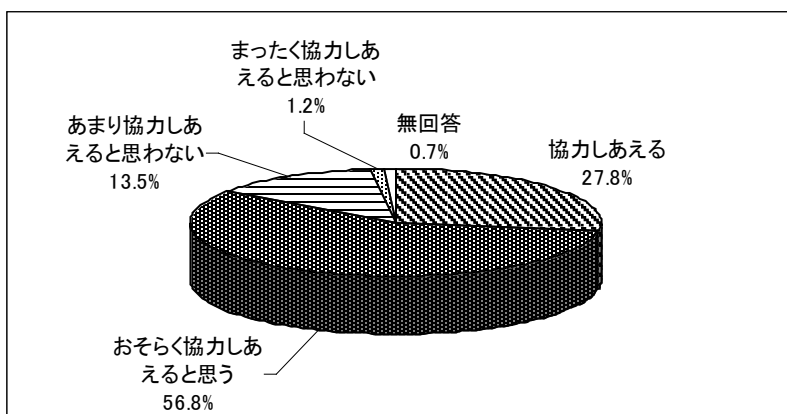


(2) いざというときに近所の人と協力しあえると思うか

いざというときに近所の人と協力しあえると思うかについては、「おそらく協力しあえると思う」が56.8%と最も割合が高く、次いで、「協力しあえる」が27.8%、「あまり協力しあえない」が13.5%、「まったく協力しあえない」が1.2%となっている。

「協力しあえる」と「おそらく協力しあえると思う」を合わせた割合は84.6%と全体の約8.5割となっている。

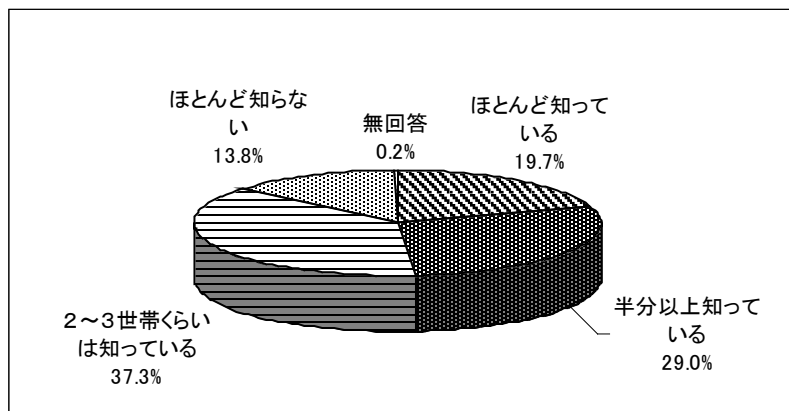
図 71 いざというときに近所の人と協力しあえると思うか【N=421】



(3) 最寄りにどんな人が住んでいるか知っているか

最寄り 10 世帯くらいにどんな人が住んでいるか知っているかについては、「2～3 世帯くらいは知っている」が 37.3%と最も割合が高く、次いで、「半分以上知っている」が 29.0%、「ほとんど知っている」が 19.7%、「ほとんど知らない」が 13.8%となっている。

図 72 最寄りにどんな人が住んでいるか知っているか【N=421】

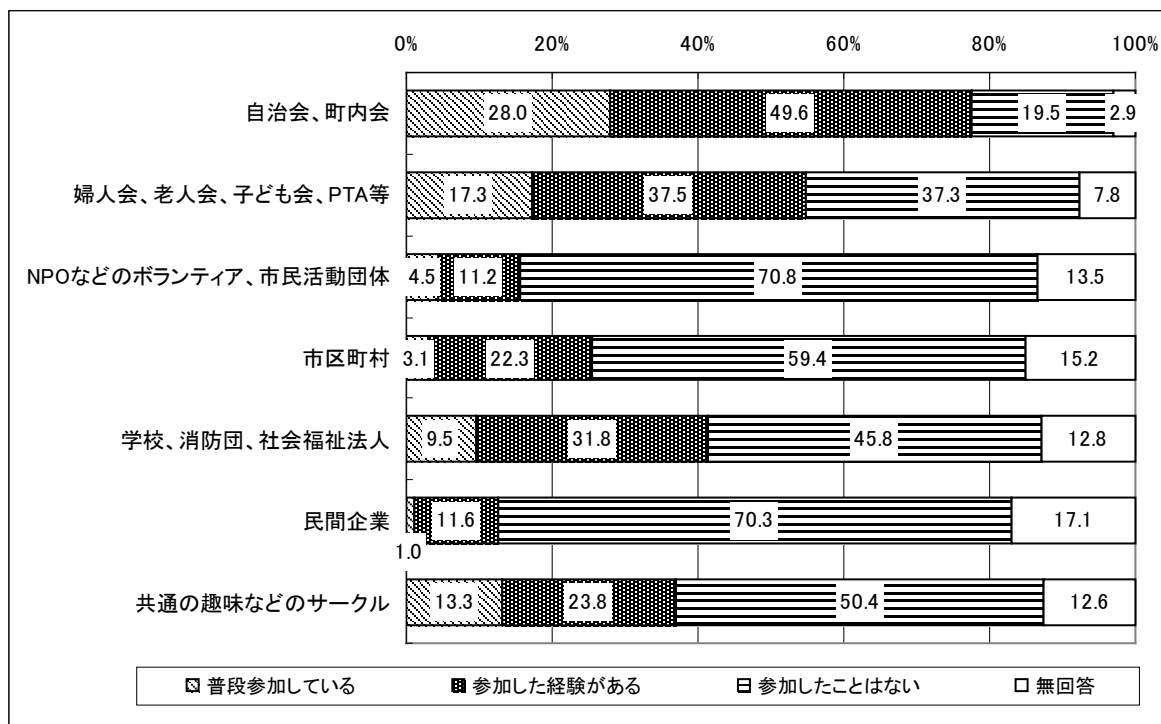


(4) 地域活動等の参加状況（運営主体別）

地域活動等の参加状況（運営主体別）については、「自治会・町内会」と「婦人会、老人会、子ども会、PTA 等」以外は、いずれも「参加したことはない」と答えた人の割合が最も高くなっている。

「普段参加している」と「参加した経験がある」を合わせた割合が、「自治会・町内会」は 77.6%、「婦人会、老人会、子ども会、PTA 等」は 54.8%となっており、他の運営主体の活動に比べて、参加経験がある割合が高くなっている。

図 73 地域活動等の参加状況（運営主体別）【N=421】

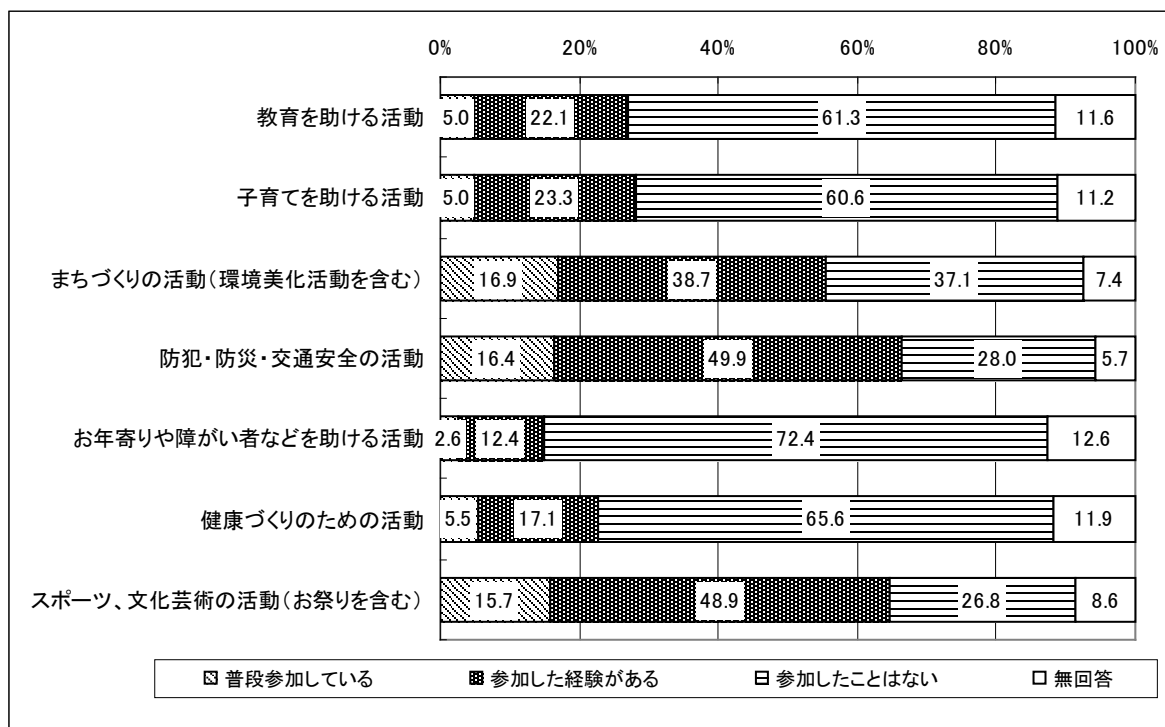


(5) 地域活動等の参加状況（活動分野別）

地域活動等の参加状況（活動分野別）については、「まちづくりの活動（環境美化活動を含む）」、「防犯・防災・交通安全の活動」、「スポーツ、文化芸術の活動（お祭りを含む）」が、「普段参加している」と「参加した経験がある」を合わせた割合が、約5.5割から6.5割となっている。

他方、「教育を助ける活動」、「子育てを助ける活動」、「お年寄りや障がい者などを助ける活動」、「健康づくりのための活動」は、「参加したことはない」と答えた人の割合が、約6割から7割となっている。

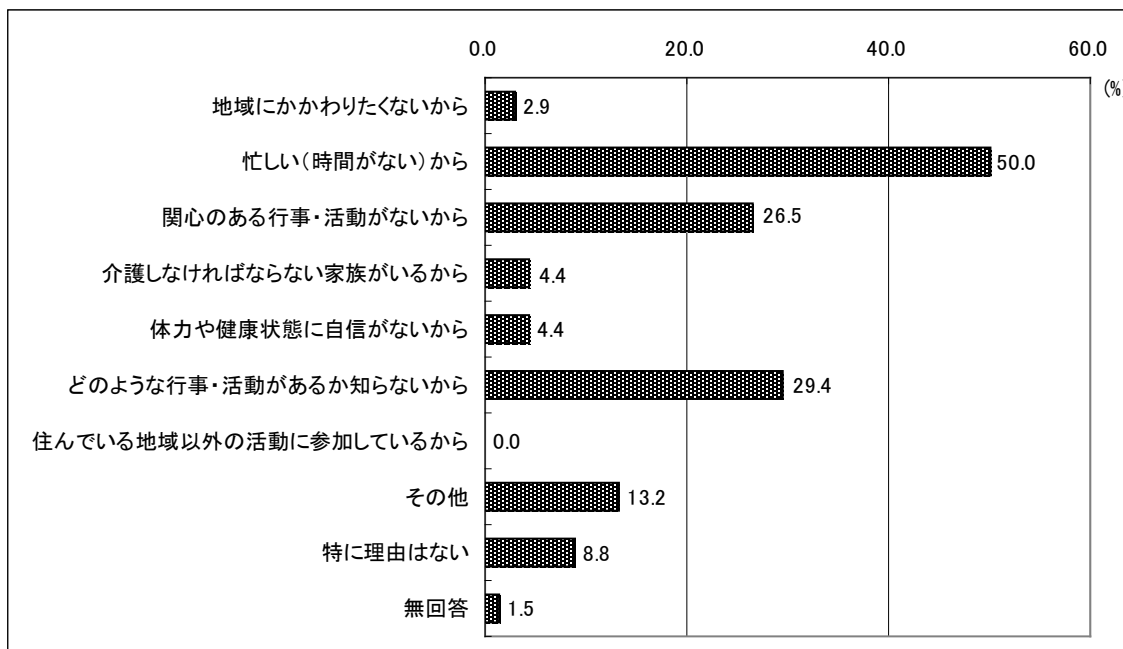
図 74 地域活動の参加状況(活動分野別)(N=421)



(6) 参加したことがない理由

上記(5)ですべてに「参加したことはない」と答えた人に対して、その理由について尋ねたところ、「忙しい(時間がない)から」が50.0%と最も割合が高く、次いで、「どのような行事・活動があるか知らないから」が29.4%「関心のある行事・活動がないから」が26.5%となっている。

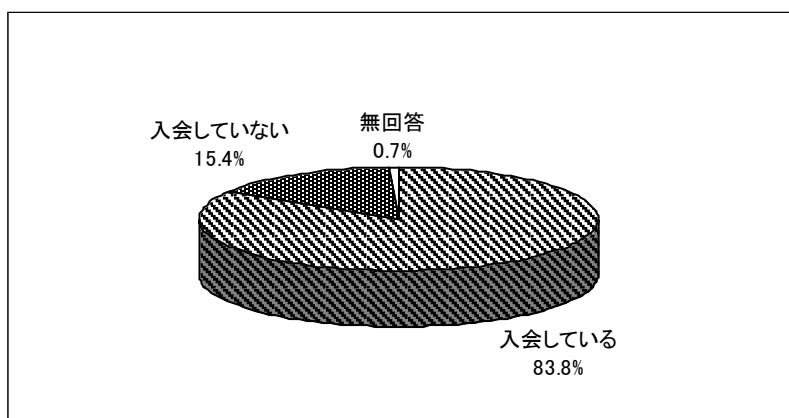
図 75 参加したことがない理由【N=68;複数回答(3つまで)】



(7) 町内会・自治会等の入会状況

町内会・自治会等の入会状況については、「入会している」が83.8%と全体の約8割以上を占めている。他方、「入会していない」は15.4%となっている。

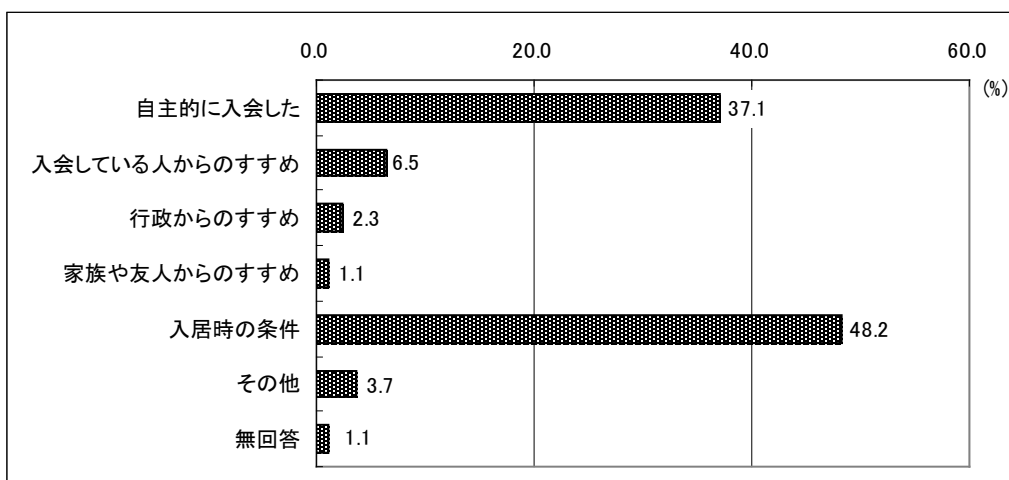
図 76 町内会・自治会等の入会状況【N=421】



(8) 入会のきっかけ

上記(7)で「入会している」と答えた人に対して、入会のきっかけについて尋ねたところ、「入居時の条件」が48.2%と最も割合が高く、次いで、「自主的に入会した」が37.1%となっている。

図 77 入会のきっかけ【N=353】

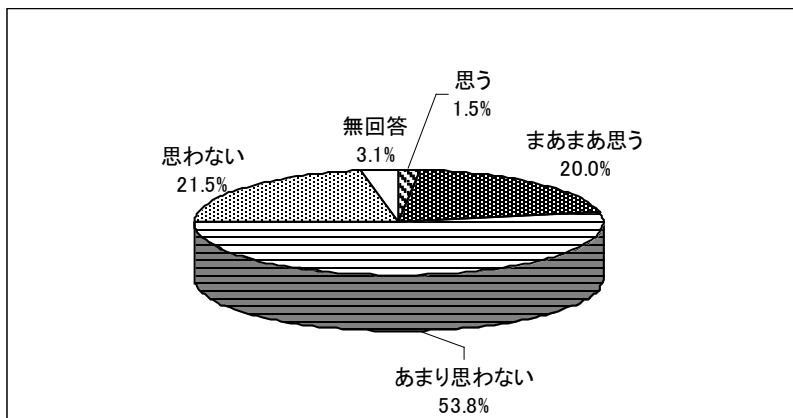


(9) 今後の入会意向

上記(7)で「入会していない」と答えた人に対して、今後の入会意向について尋ねたところ、「あまり思わない」が53.8%と最も割合が高く、次いで、「思わない」が21.5%、「まあまあ思う」が20.0%、「思う」が1.5%であった。

「思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は75.3%と全体の約4分の3を占めている。

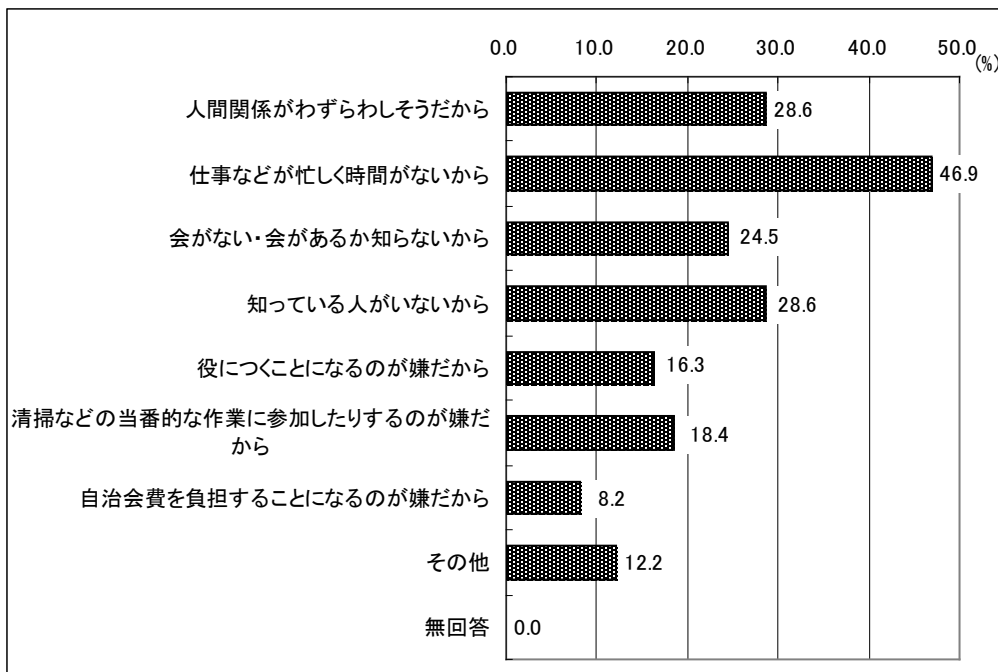
図 78 今後の入会意向【N=65】



(10) 入会したくない理由

上記(9)で「あまり思わない」、「思わない」と答えた人に対して、入会したくない理由について尋ねたところ、「仕事などが忙しく時間がないから」が46.9%と最も割合が高く、次いで、「人間関係がわずらわしそうだから」と「知っている人がいないから」がともに28.6%、「会がない・会があるか知らないから」が24.5%となっている。

図 79 入会したくない理由【N=49;複数回答(3つまで)】

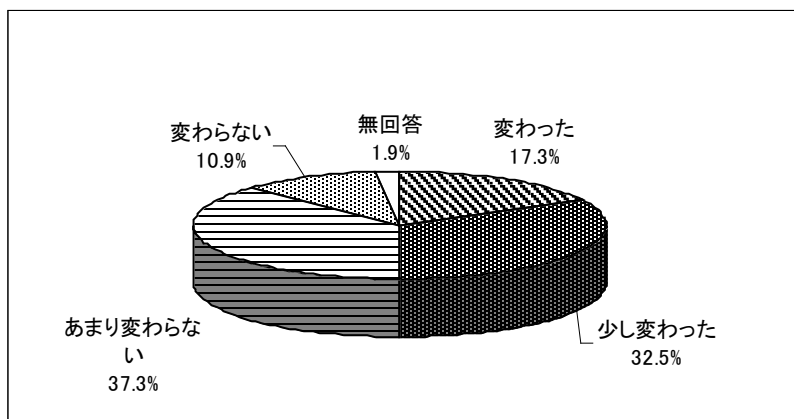


(11) 震災後近所付き合いへの考え方は変わったか

震災後近所付き合いへの考え方は変わったか尋ねたところ、「あまり変わらない」が37.3%と最も割合が高く、次いで、「少し変わった」が32.5%、「変わった」が17.3%、「変わらない」が10.9%となっている。

「変わった」と「少し変わった」を合わせた割合と、「変わらない」と「あまり変わらない」を合わせた割合は、ともに50%弱と同等となっている。

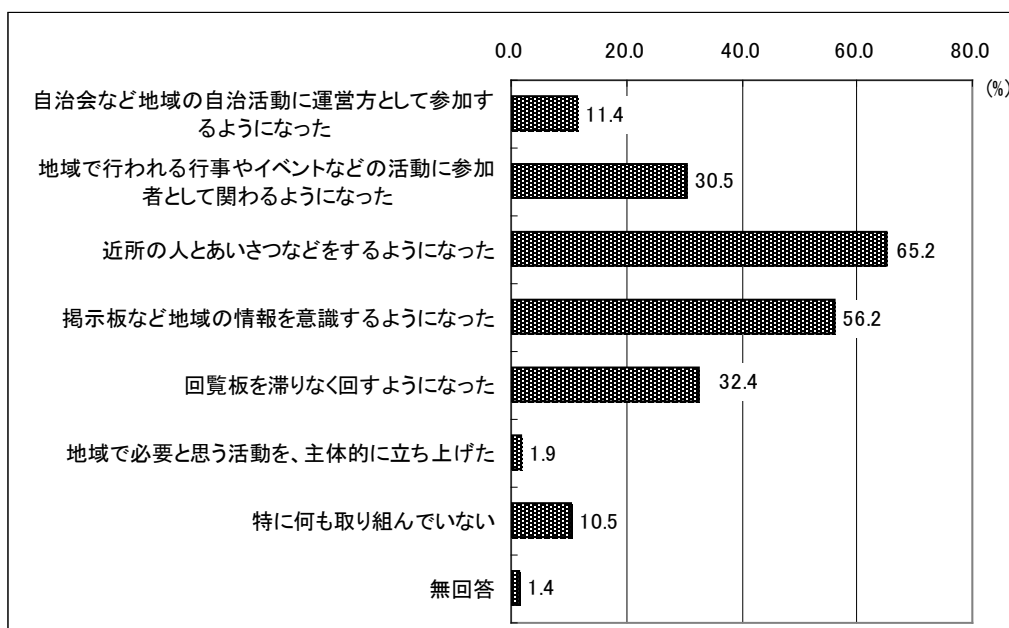
図 80 震災後近所付き合いへの考え方は変わったか【N=421】



(12) 具体的な取組

上記(11)で「変わった」、「少し変わった」と答えた人に対して、近所付き合いで具体的に取組んだことについて尋ねたところ、「近所の人とあいさつなどをするようになった」が65.2%と最も割合が高く、次いで、「掲示板など地域の情報を意識するようになった」が56.2%、「回覧板を滞りなく回すようになった」が32.4%、「地域で行われる行事やイベントなどの活動に参加者として関わるようになった」が30.5%であった。他方、「特に何にも取組んでいない」が10.5%であった。

図 81 具体的な取組【N=210;複数回答】



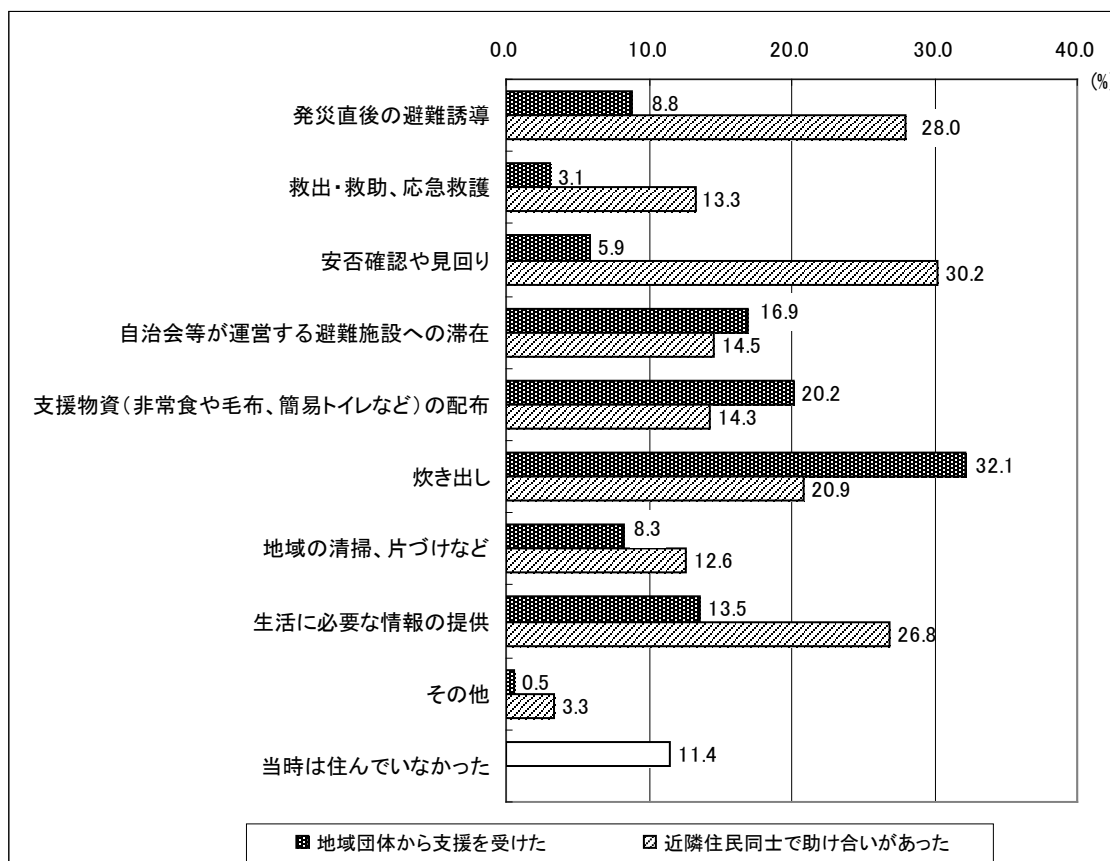
(13) 東日本大震災後の支援や助け合い

東日本大震災後の支援や助け合いについて尋ねたところ、「近隣住民同士で助け合いがあった」ことは、「安否確認や見回り」が30.2%と最も割合が高く、次いで、「発災直後の避難誘導」が28.0%、「生活に必要な情報の提供」が26.8%、「炊き出し」が20.9%であった。

他方、「地域団体から支援を受けた」ことは、「炊き出し」が32.1%、「支援物資（非常食や毛布、簡易トイレなど）の配布」が20.2%、「自治会等が運営する避難施設への滞在」が16.9%であった。

「当時は住んでいなかった」は11.4%であった。

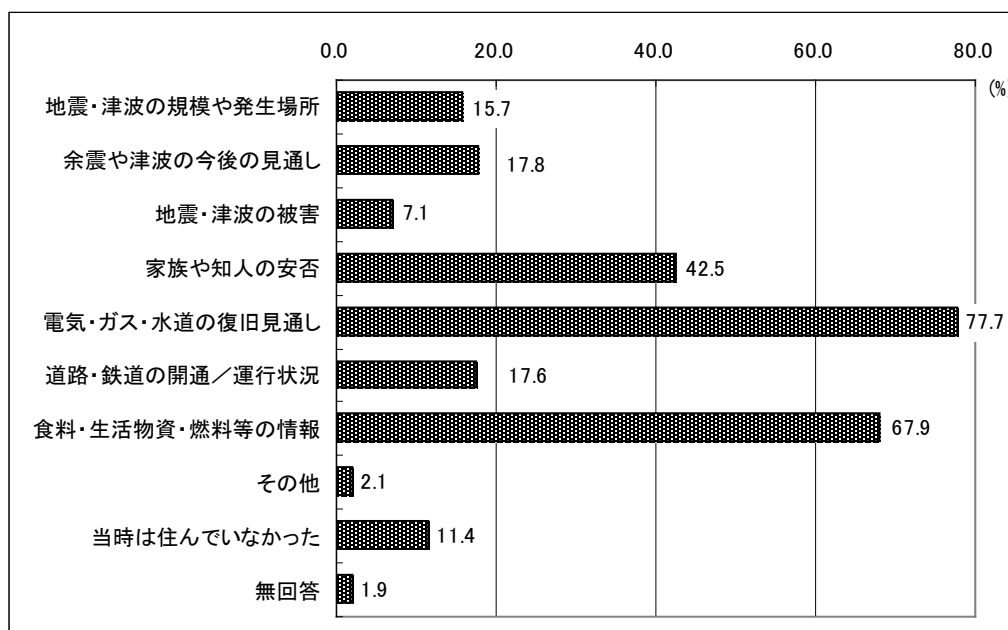
図 82 東日本大震災後の支援や助け合い【N=421;複数回答】



(14) 災害後1か月程度の間で必要な情報

災害後1か月程度の間で、必要な情報について尋ねたところ、「電気・ガス・水道の復旧見通し」が77.7%と最も割合が高く、次いで、「食料・生活物資・燃料等の情報」が67.9%、「家族や知人の安否」が42.5%であった。

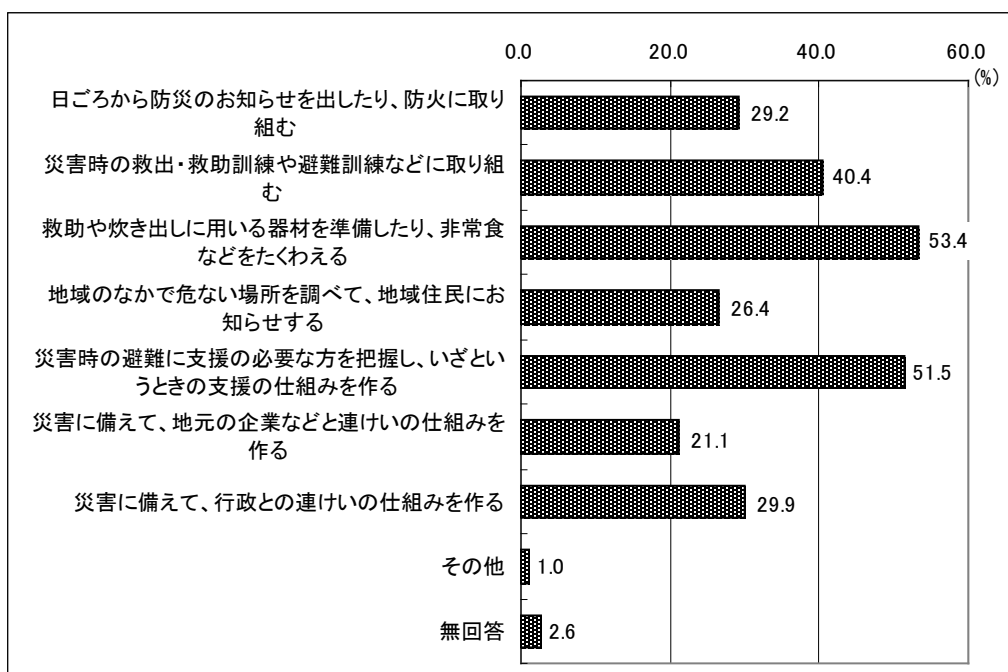
図 83 災害後1か月程度の間で必要な情報【N=421;複数回答(3つまで)】



(15) 防災力向上のために地域団体に期待する役割

防災力向上のために地域団体に期待する役割について尋ねたところ、「救助や炊き出しに用いる器材を準備したり、非常食などをたくわえる」が53.4%と最も割合が高く、次いで、「災害時の避難に支援の必要な方を把握し、いざというときの支援の仕組みを作る」が51.5%、「災害時の救出・救助訓練や避難訓練などに取り組む」が40.4%、「日ごろから防災のお知らせを出したり、防火に取り組む」と「災害に備えて、行政との連携の仕組みを作る」がともに約29%であった。

図 84 防災力向上のために地域団体に期待する役割【N=421;複数回答(3つまで)】

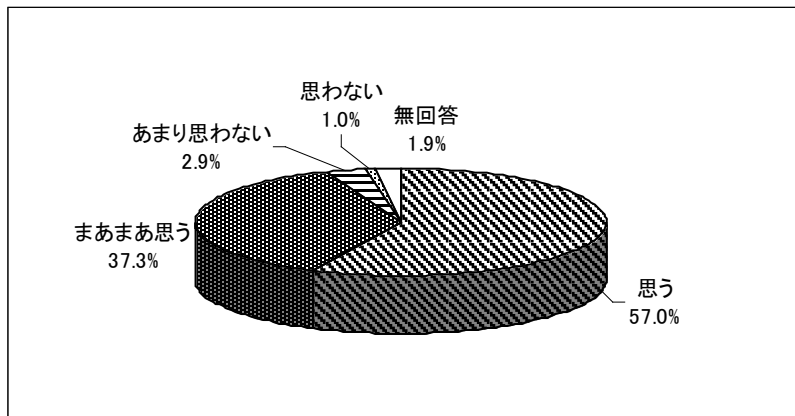


(16) 地域のつながりは重要と思うか

地域のつながりは重要と思うか尋ねたところ、「思う」が57.0%と最も割合が高く、次いで、「まあまあ思う」が37.3%、「あまり思わない」が2.9%、「思わない」が1.0%であった。

「思う」と「まあまあ思う」を合わせた割合は94.3%と全体の9.5割を占める。

図 85 地域のつながりは重要と思うか【N=421】

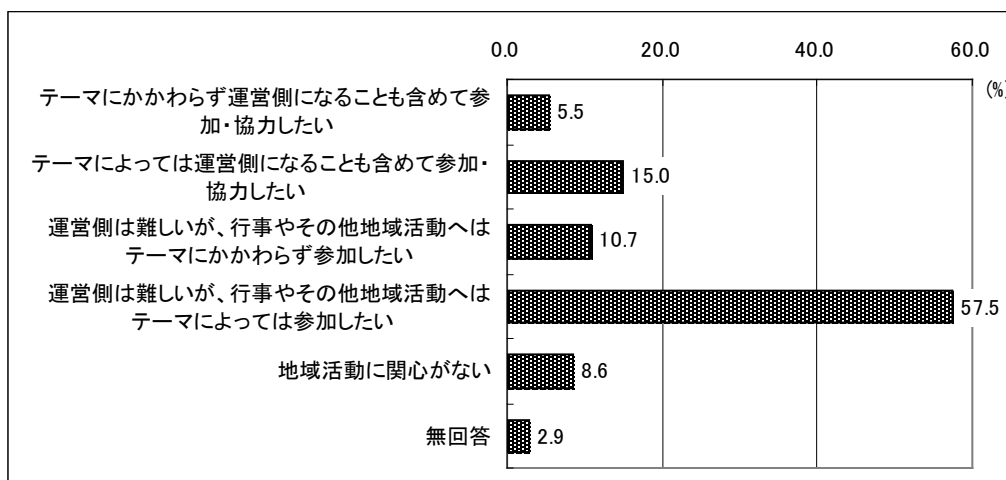


(17) 地域活動への参加意向

地域活動への参加意向については、「運営側は難しいが、行事やその他地域活動へはテーマによっては参加したい」が57.5%と最も割合が高く、全体の約6割を占めている。

次いで、「テーマによっては運営側になることも含めて参加・協力したい」が15.0%、「運営側は難しいが、行事やその他地域活動へはテーマにかかわらず参加したい」が10.7%となっている。他方、「地域活動に関心がない」は8.6%であった。

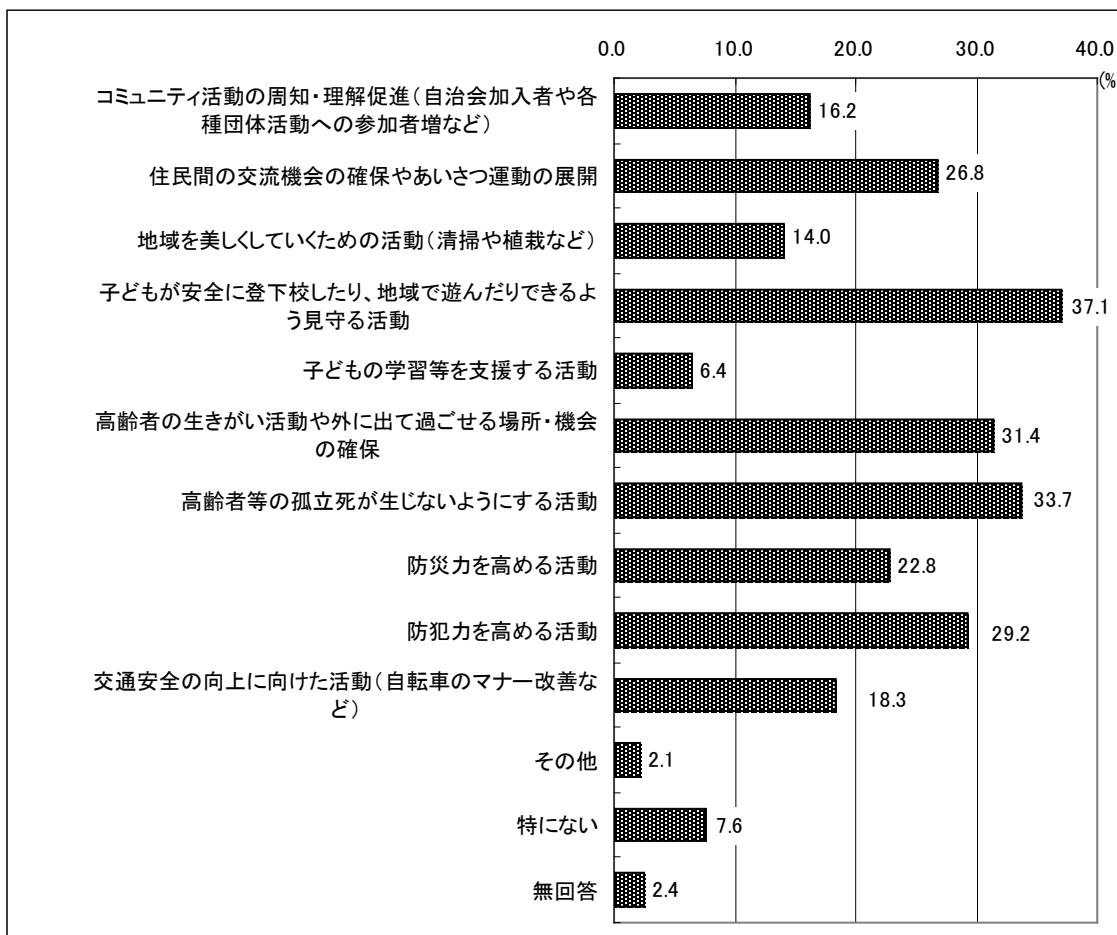
図 86 地域活動への参加意向【N=421】



(18) 取り組んでほしいテーマ

地域の団体（自治会、町内会など）に今後取り組んでほしいテーマについて尋ねたところ、「子どもが安全に登下校したり、地域で遊んだりできるような見守る活動」が37.1%、「高齢者等の孤立死が生じないようにする活動」が33.7%、「高齢者の生きがい活動や外に出て過ごせる場所・機会の確保」が31.4%、「防犯力を高める活動」が29.2%、「住民間の交流機会の確保やあいさつ運動の展開」が26.8%となっている。

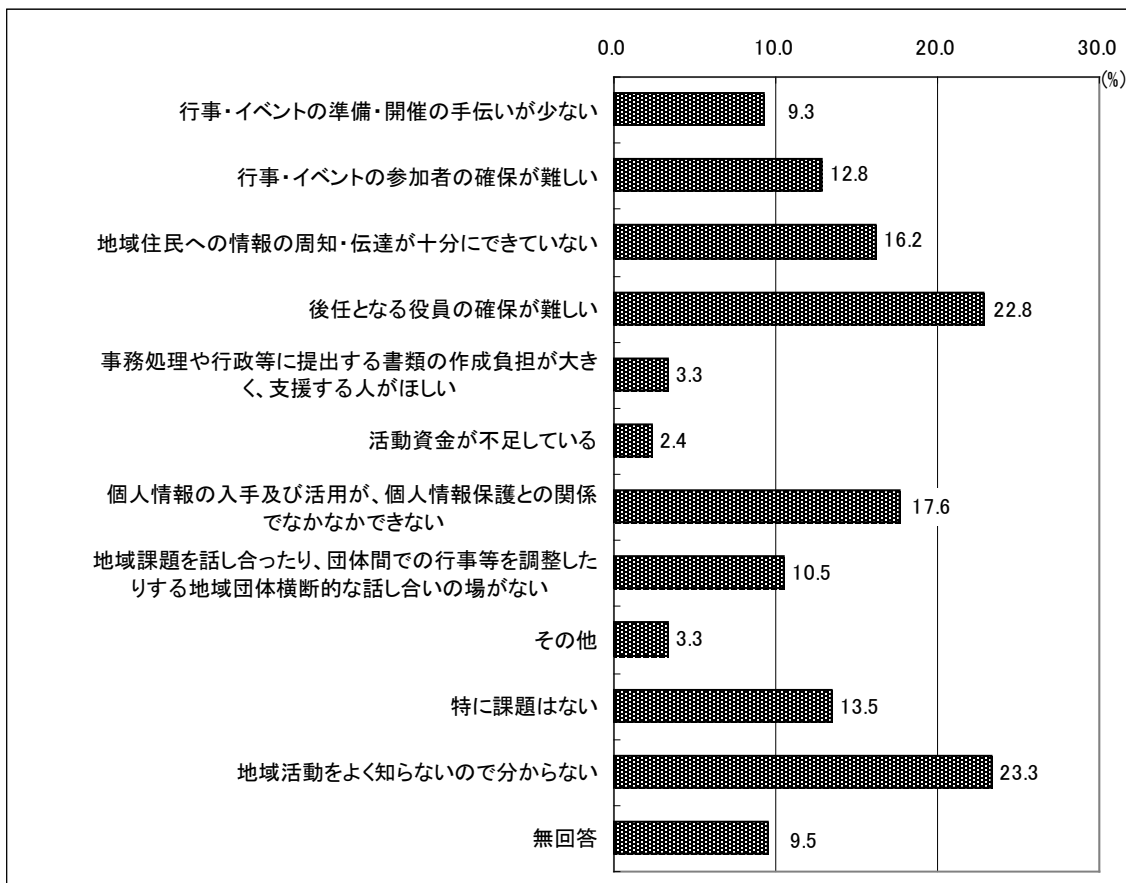
図 87 取り組んでほしいテーマ【N=421; 複数回答(3つまで)】



(19) 地域活動の課題

地域の団体（自治会、町内会など）の活動を活性化する上で、課題として感じていることについて尋ねたところ、「地域活動をよく知らないので分からない」が23.3%と最も割合が高く、「後任となる役員の確保が難しい」が22.8%、「個人情報保護との関係でなかなかできない」が17.6%、「地域住民への情報の周知・伝達が十分にできていない」が16.2%であった。

図 88 地域活動の課題【N=421; 複数回答】

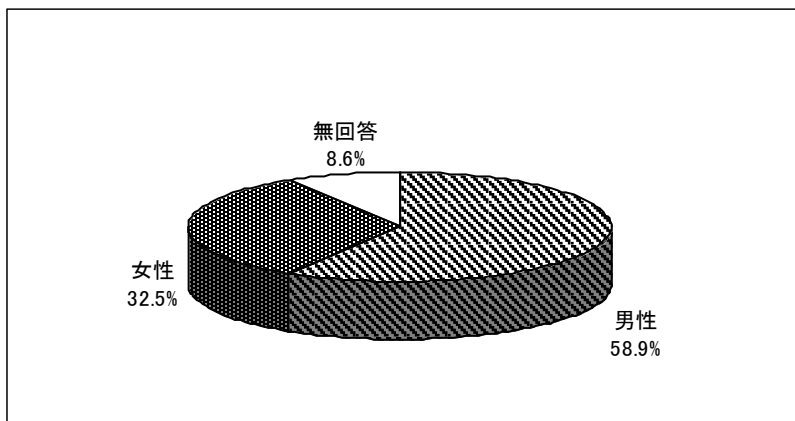


4) 回答者の属性

(1) 性別

回答者の性別については、「男性」が58.9%、「女性」が32.5%となっており、全体の6割弱が「男性」である。

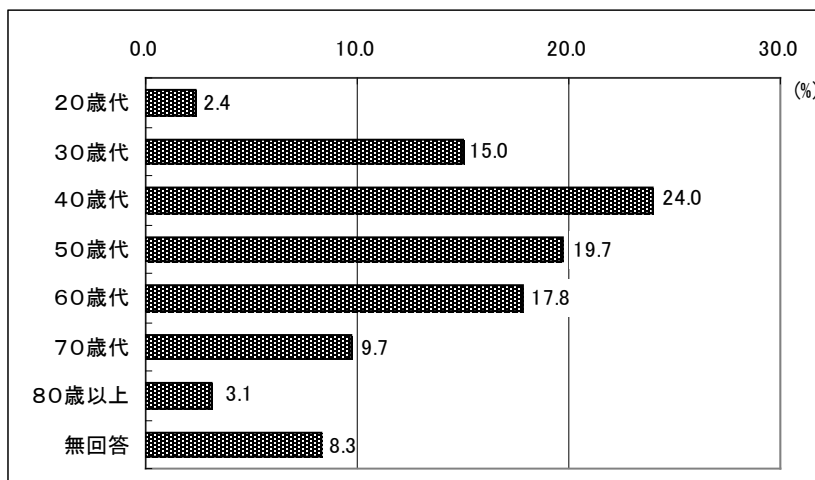
図 89 性別【N=421】



(2) 年代

回答者の年代については、「40 歳代」が24.0%と最も割合が高く、次いで、「50 歳代」が19.7%、「60 歳代」が17.8%、「30 歳代」が15.0%となっている。

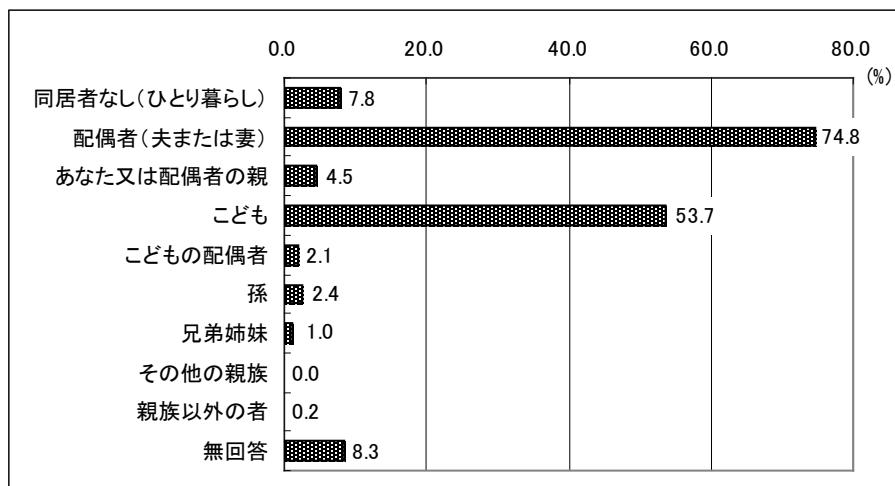
図 90 年代【N=421】



(3) 同居する人

同居する人については、「配偶者（夫または妻）」が74.8%と最も割合が高く、次いで、「子ども」が53.7%、「同居者なし（ひとり暮らし）」が7.8%、「あなた又は配偶者の親」が4.5%となっている。

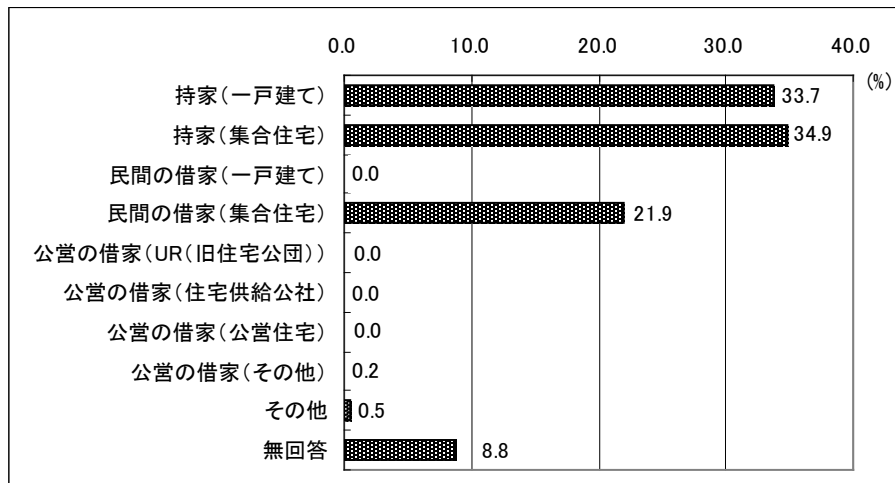
図 91 同居する人【N=421;複数回答】



(4) 住まい

住まいの種類については、「持家（集合住宅）」が34.9%、「持家（一戸建て）」が33.7%、「民間の借家（集合住宅）」が21.9%となっている。

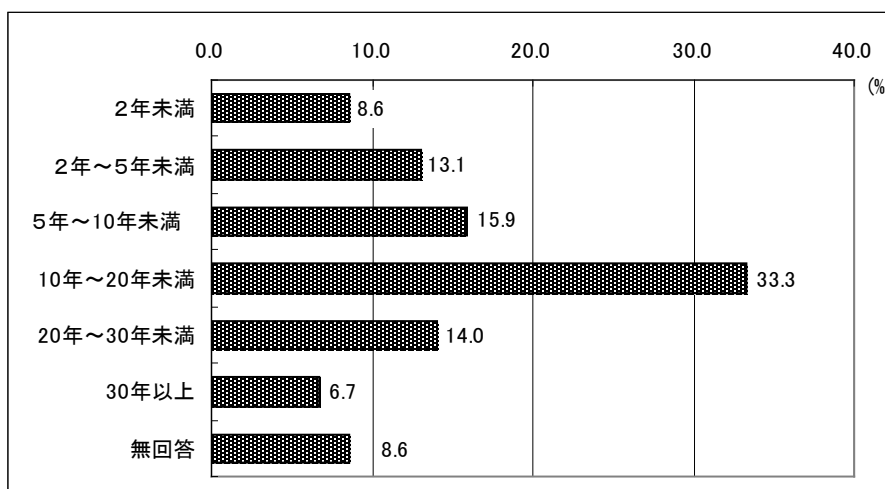
図 92 住まい【N=421】



(5) 居住年数

居住年数については、「10年～20年未満」が33.3%、「5年～10年未満」が15.9%、「20年～30年未満」が14.0%、「2年～5年未満」が13.1%となっている。

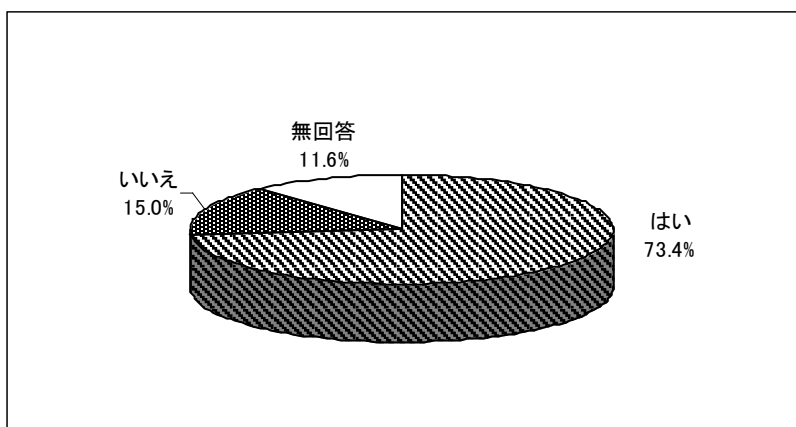
図 93 居住年数【N=421】



(6) 東日本大震災時に被害のあったいずれかの地域に住んでいたか。

東日本大震災時に被害のあったいずれかの地域に住んでいた人は、73.4%と約4分の3を占めている。

図 94 東日本大震災時に被害のあったいずれかの地域に住んでいたか【N=421】



4. 神戸市C地区調査結果

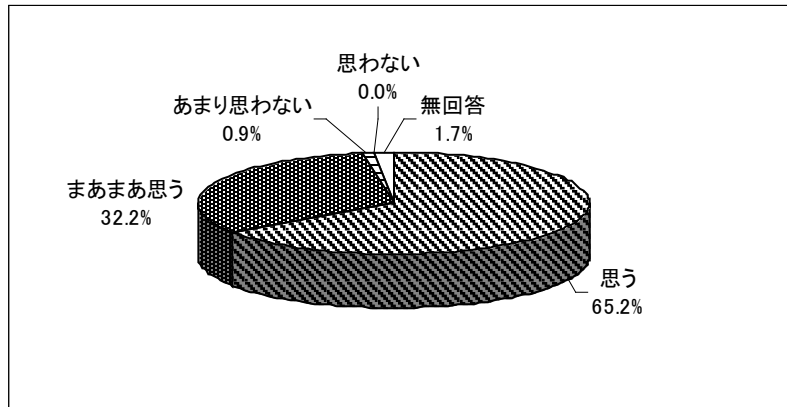
1) お住まいの地域について

(1) この地域の住みやすさ

この地域の住みやすさについては、「思う」が65.2%、「まあまあ思う」が32.2%となっており、「思う」と「まあまあ思う」を合わせると、97.4%となる。

他方、「あまり思わない」は0.9%、「思わない」は0%となっており、ほとんどの人が住みやすいと感じている。

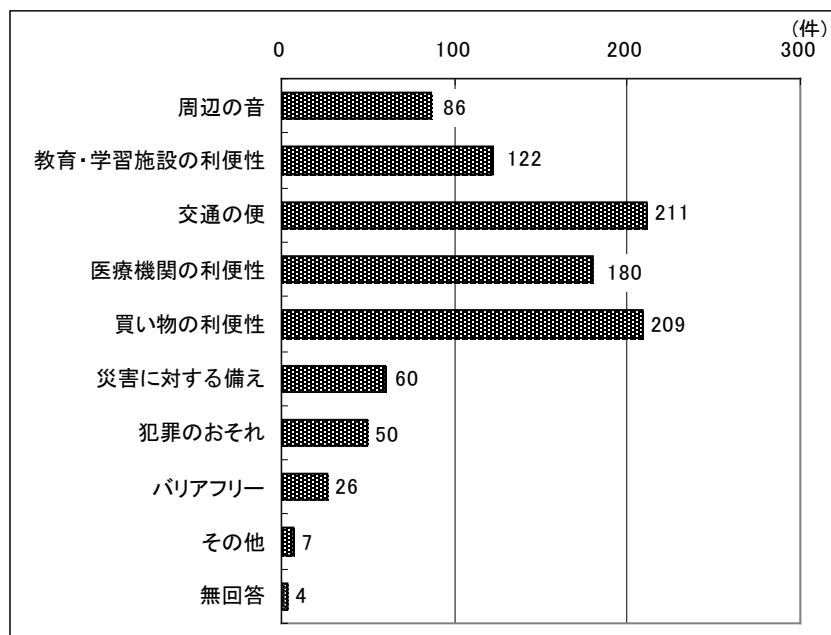
図 95 この地域の住みやすさ【N=233】



(2) 住みやすいと感じる理由

上記(1)で「思う」、「まあまあ思う」と答えた人に対して、その理由を尋ねたところ、「交通の便」が211件と最も多く、次いで、「買い物の利便性」が209件、「医療機関の利便性」が180件、「教育・学習施設の利便性」が122件、「周辺の音」が86件であった。

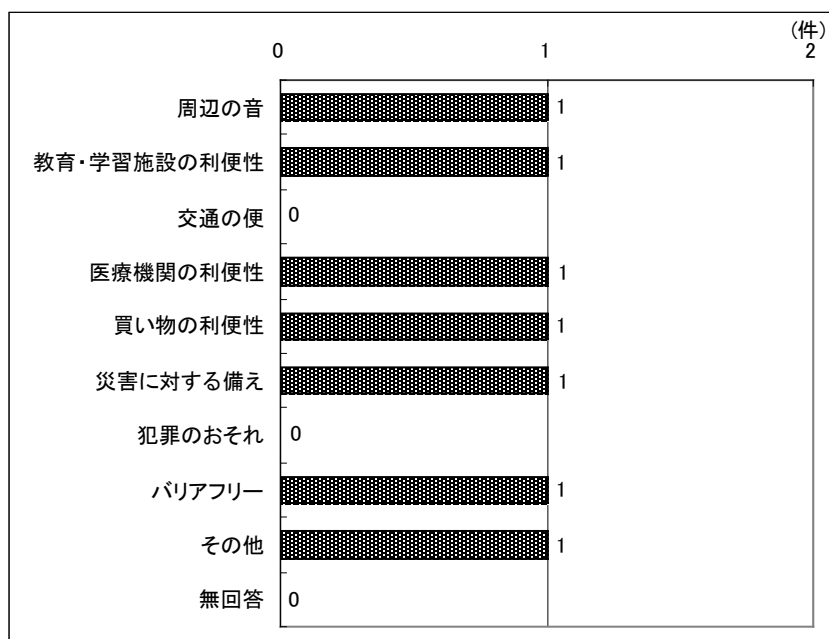
図 96 住みやすいと感じる理由【N=227;複数回答】



(3) 住みにくいと感じる理由

上記(1)で「あまり思わない」、「思わない」と答えた人に対して、その理由について尋ねたところ、「交通の便」と「犯罪のおそれ」を除くすべての項目が1件であった。

図 97 住みにくいと感じる理由【N=2; 複数回答】

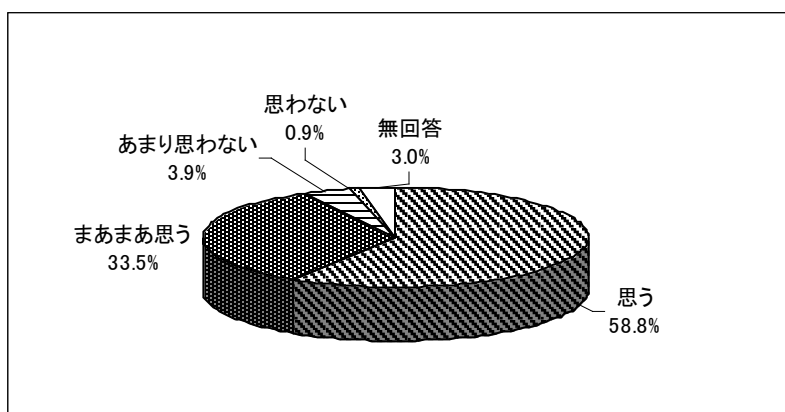


(4) この地域に住み続けたいと思うか

この地域に住み続けたいと思うかについては、「思う」が58.8%、「まあまあ思う」が33.5%となっており、「思う」と「まあまあ思う」を合わせると、92.3%となる。

他方、「あまり思わない」は3.9%、「思わない」は0.9%となっており、「あまり思わない」と「思わない」を合わせると、4.8%となる。

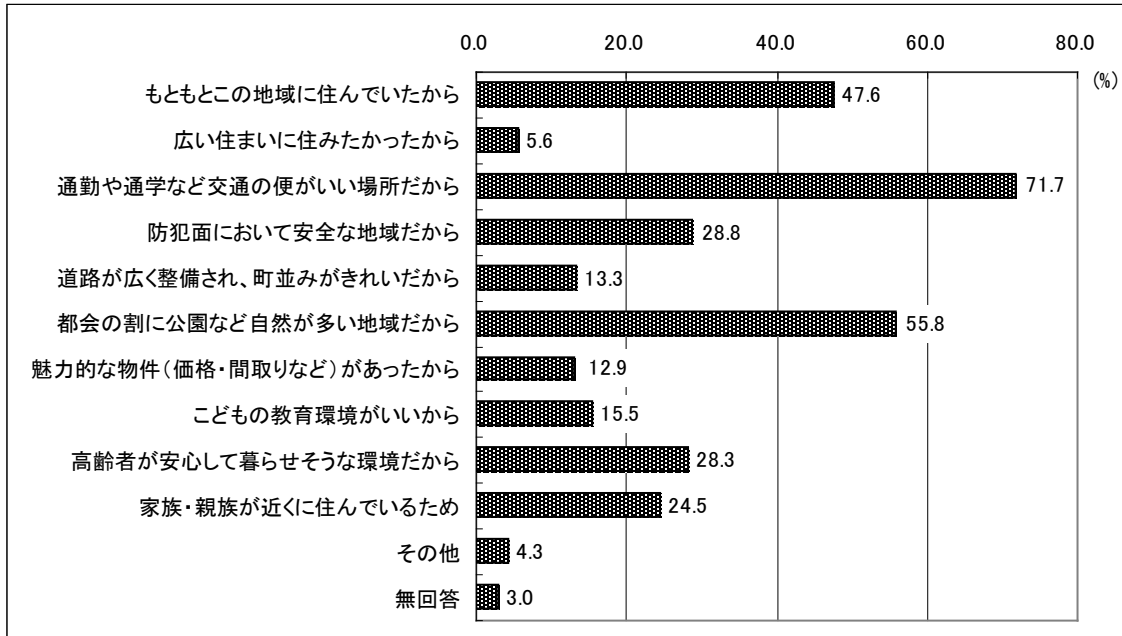
図 98 この地域に住み続けたいと思うか【N=233】



(5) この地域に住みたいと思ったきっかけ

この地域に住みたいと思ったきっかけについては、「通勤や通学など交通の便がいい場所だから」が71.7%と最も割合が高く、次いで、「都会の割に公園など自然が多い地域だから」が55.8%、「もともこの地域に住んでいたから」が47.6%、「防犯面において安全な地域だから」が28.8%、「高齢者が安心して暮らせそうな環境だから」が28.3%となっている。

図 99 この地域に住みたいと思ったきっかけ【N=233;複数回答】

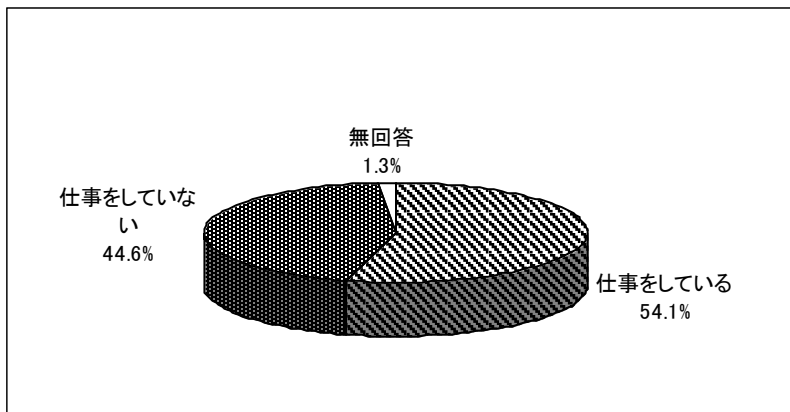


2) ライフスタイルについて

(1) 本人の就労状況

回答者本人の就労状況については、「仕事をしている」が54.1%と、全体の約5.5割を占めている。他方、「仕事をしていない」が44.6%となっている。

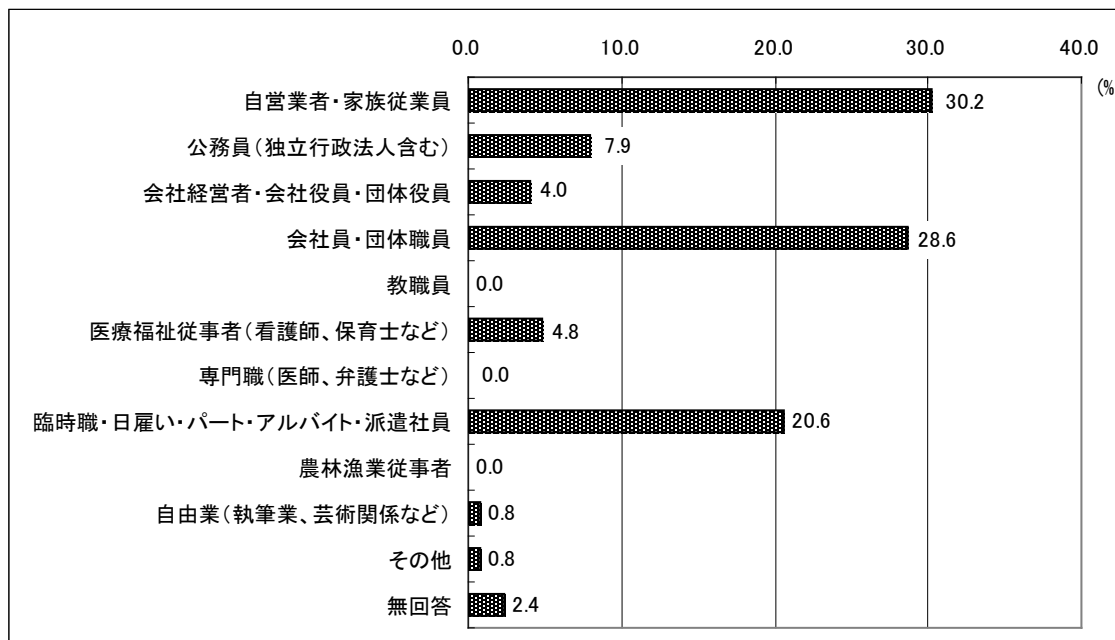
図 100 本人の就労状況【N=233】



(2) 本人の職業・今までの職業

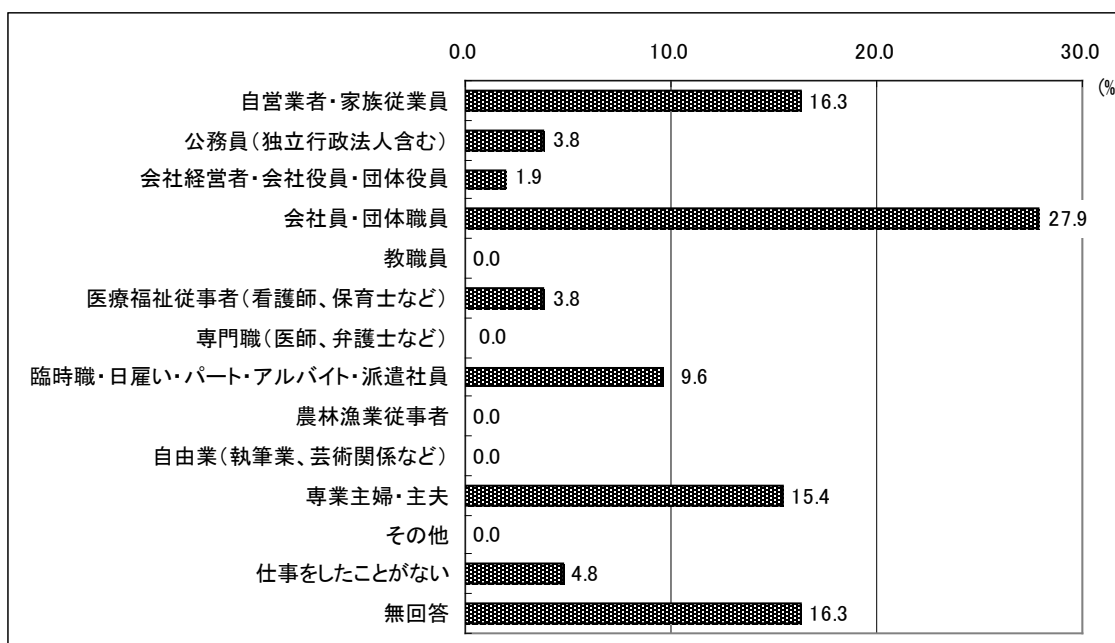
上記(1)で「仕事をしている」と答えた人の職業については、「自営業者・家族従業員」が30.2%と最も割合が高く、次いで、「会社員・団体職員」が28.6%、「臨時職・日雇い・パート・アルバイト・派遣社員」が20.6%となっている。

図 101 本人の職業(現在仕事をしている人)【N=126】



上記(1)で「仕事をしていない」と答えた人の今まで従事した職業については、「会社員・団体職員」が27.9%と最も割合が高く、次いで、「自営業者・家族従業員」が16.3%、「専業主婦・主夫」が15.4%、「臨時職・日雇い・パート・アルバイト・派遣社員」が9.6%となっている。

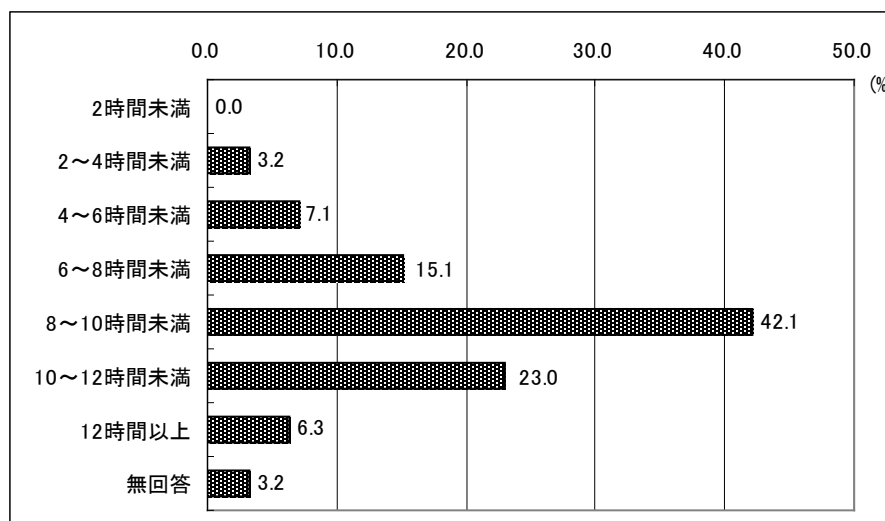
図 102 本人の今までの職業(現在仕事をしていない人)【N=104】



(3) 本人の勤務時間

上記(1)で「仕事をしている」と答えた人の勤務時間については、「8～10時間未満」が42.1%と最も割合が高く、次いで、「10～12時間未満」が23.0%、「6～8時間未満」が15.1%となっている。

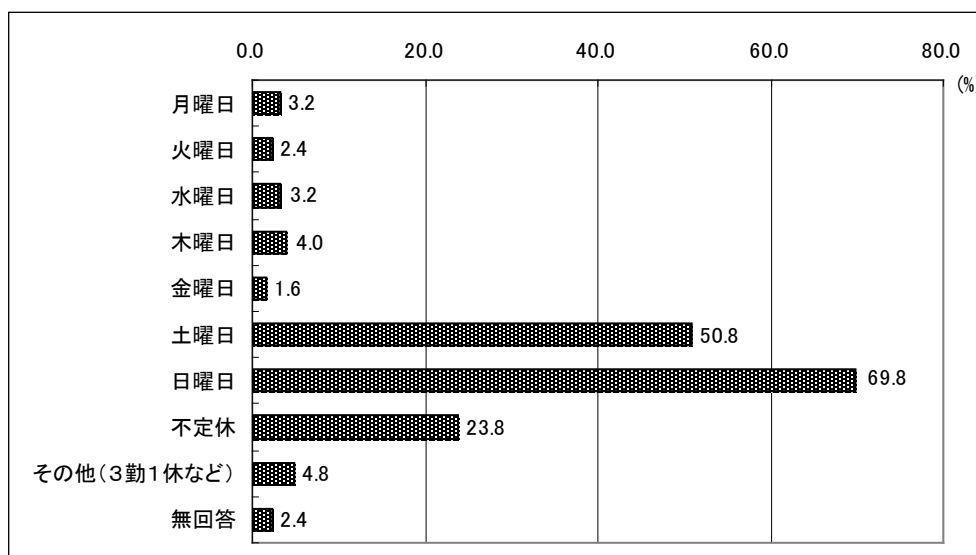
図 103 本人の勤務時間【N=126】



(4) 本人の通常の休日

上記(1)で「仕事をしている」と答えた人の通常の休日については、「日曜日」が69.8%、「土曜日」が50.8%となっており、週末が休みの割合が高い。一方、「不定休」も23.8%ある。

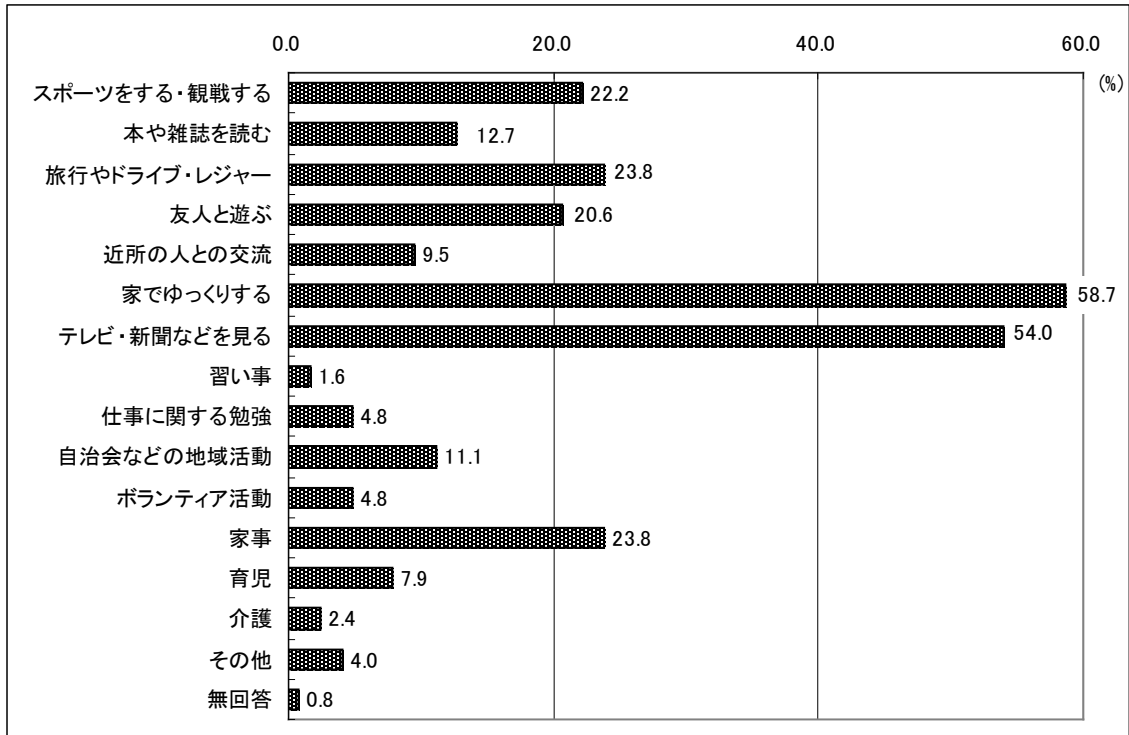
図 104 本人の通常の休日(現在仕事をしている人)【N=126; 複数回答】



(5) 本人の休日等の過ごし方

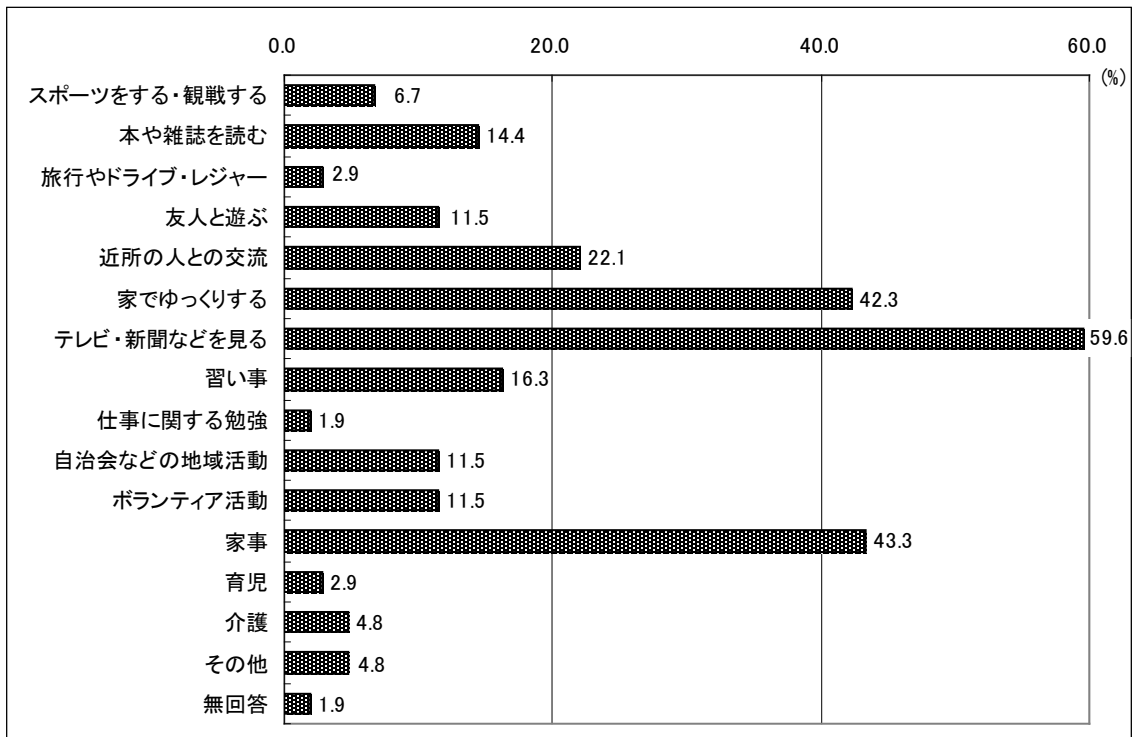
上記(1)で「仕事をしている人」と答えた人に対して、休日の過ごし方について尋ねたところ、「家でゆっくりする」が58.7%と最も割合が高く、次いで、「テレビ・新聞などを見る」が54.0%、「旅行やドライブ・レジャー」と「家事」が23.8%、「スポーツをする・観戦する」が22.2%、「友人と遊ぶ」が20.6%であった。

図 105 本人の休日の過ごし方(現在仕事をしている人)【N=126;複数回答(3つまで)】



上記(1)で「仕事をしていない」と答えた人に対して、1週間の過ごし方について尋ねたところ、「テレビ・新聞などを見る」が59.6%と最も割合が高く、次いで、「家事」が43.3%、「家でゆっくりする」が42.3%、「近所の人との交流」が22.1%であった。

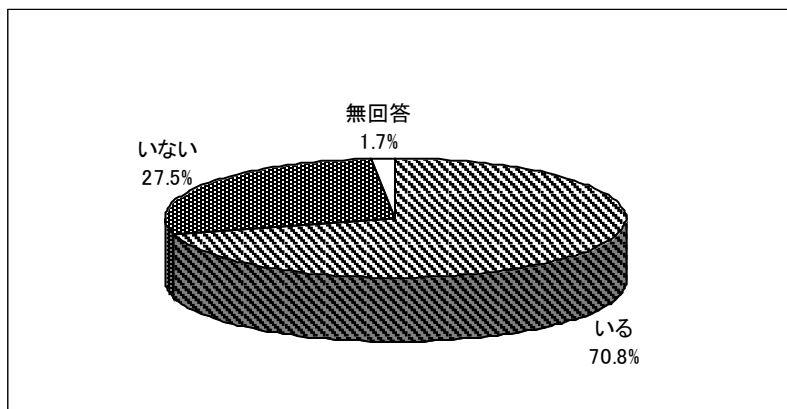
図 106 本人の1週間の過ごし方(現在仕事をしていない人)【N=104;複数回答(3つまで)】



(6) 配偶者の有無

配偶者の有無については、「いる」が70.8%と全体の約7割強を占めている。他方、「いない」は27.5%となっている。

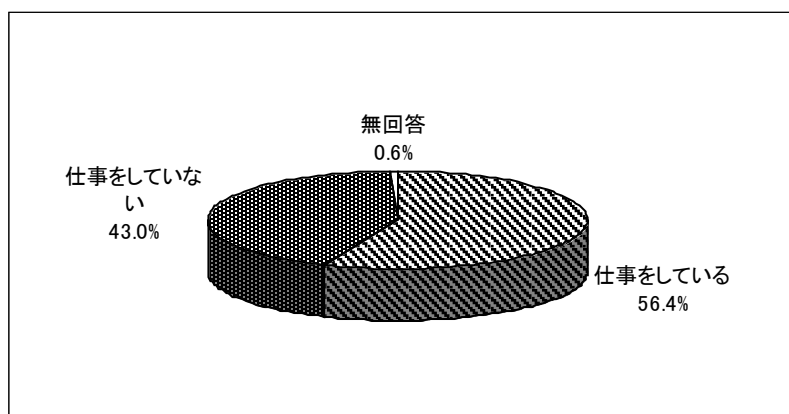
図 107 配偶者の有無【N=233】



(7) 配偶者の就労状況

上記(6)で配偶者が「いる」と答えた人に対して、配偶者の就労状況について尋ねたところ、「仕事をしている」が56.4%、「仕事をしていない」が43.0%であった。

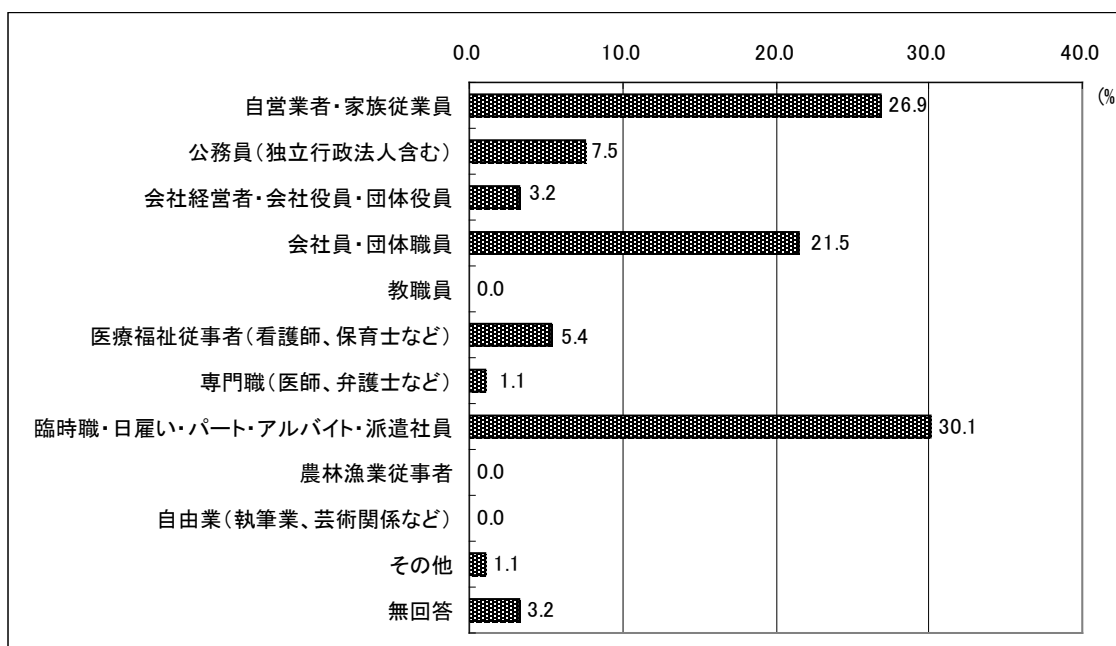
図 108 配偶者の就労状況【N=165】



(8) 配偶者の職業・今までの職業

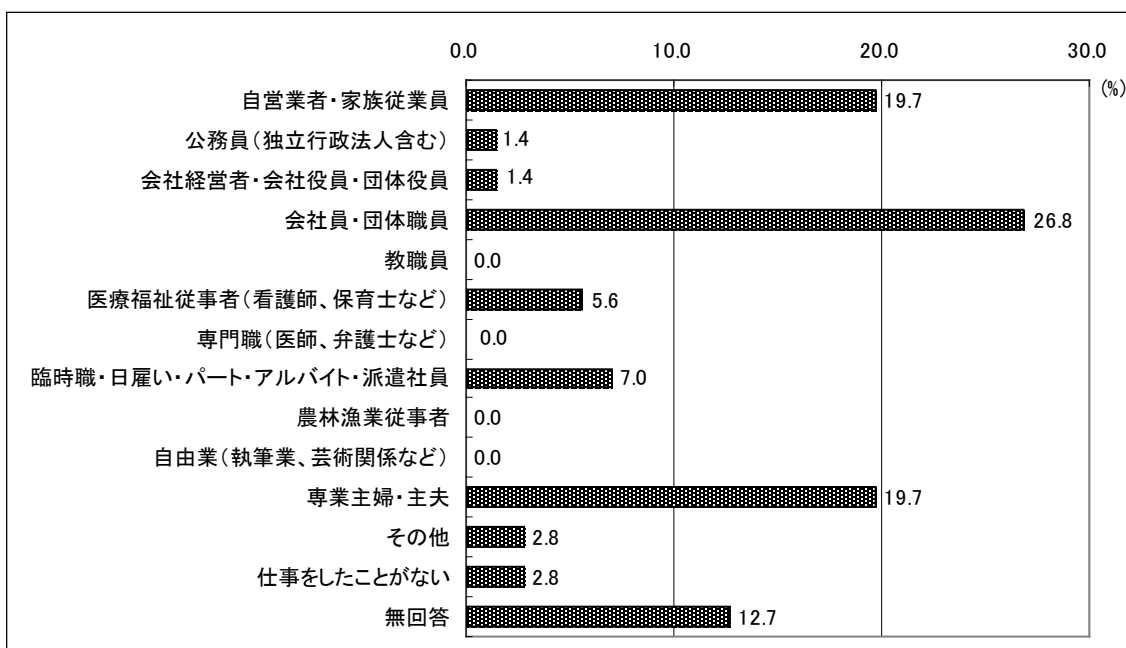
上記(7)で配偶者が「仕事をしている」と答えた人に対して、配偶者の職業について尋ねたところ、「臨時職・日雇い・パート・アルバイト・派遣社員」が30.1%、「自営業者・家族従業員」が26.9%、「会社員・団体職員」が21.5%であった。

図 109 配偶者の職業(現在仕事をしている人)【N=93】



上記(7)で配偶者が「仕事をしていない」と答えた人に対して、配偶者が今まで従事した職業について尋ねたところ、「会社員・団体職員」が26.8%と最も割合が高く、次いで、「自営業者・家族従業員」と「専業主婦・主夫」が19.7%であった。

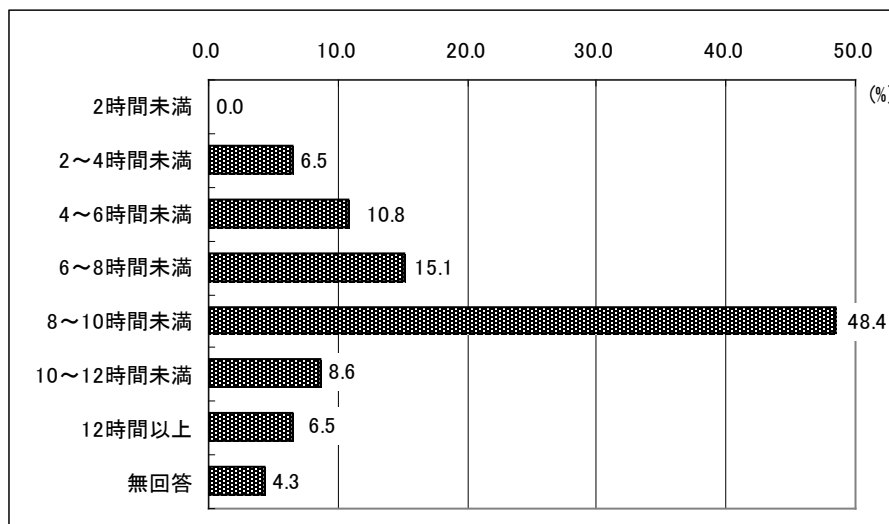
図 110 配偶者の今までの職業(現在仕事をしていない人)【N=71】



(9) 配偶者の勤務時間

上記(7)で配偶者が「仕事をしている」と答えた人に対して、配偶者の勤務時間について尋ねたところ、「8～10時間未満」が48.4%と最も割合が高く、次いで、「6～8時間未満」が15.1%、「4～6時間未満」が10.8%であった。

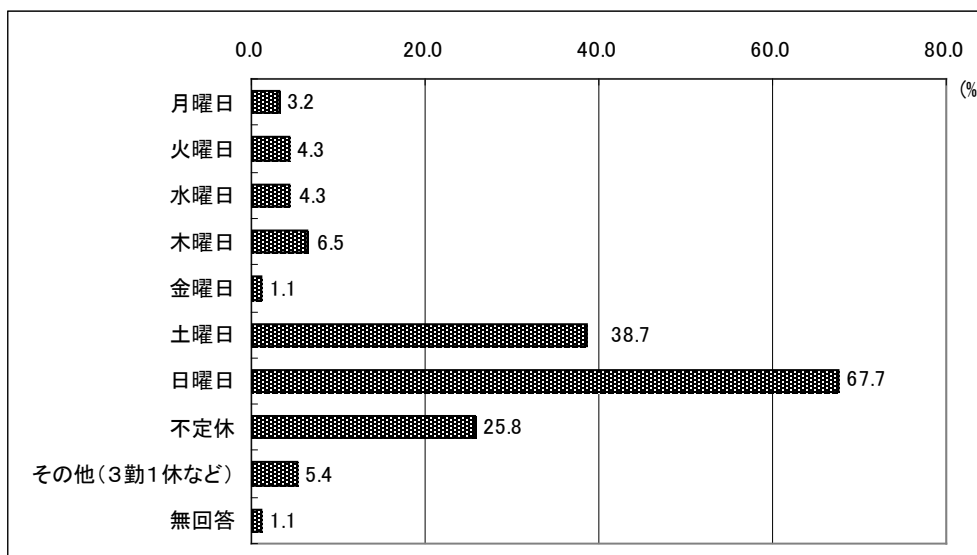
図 111 配偶者の勤務時間【N=93】



(10) 配偶者の通常の休日

上記(7)で配偶者が「仕事をしている」と答えた人に対して、配偶者の通常の休日について尋ねたところ、「日曜日」が67.7%、「土曜日」が38.7%と週末が休みの割合が高い。一方、「不定休」も25.8%あり、回答者本人に比べて若干高くなっている。

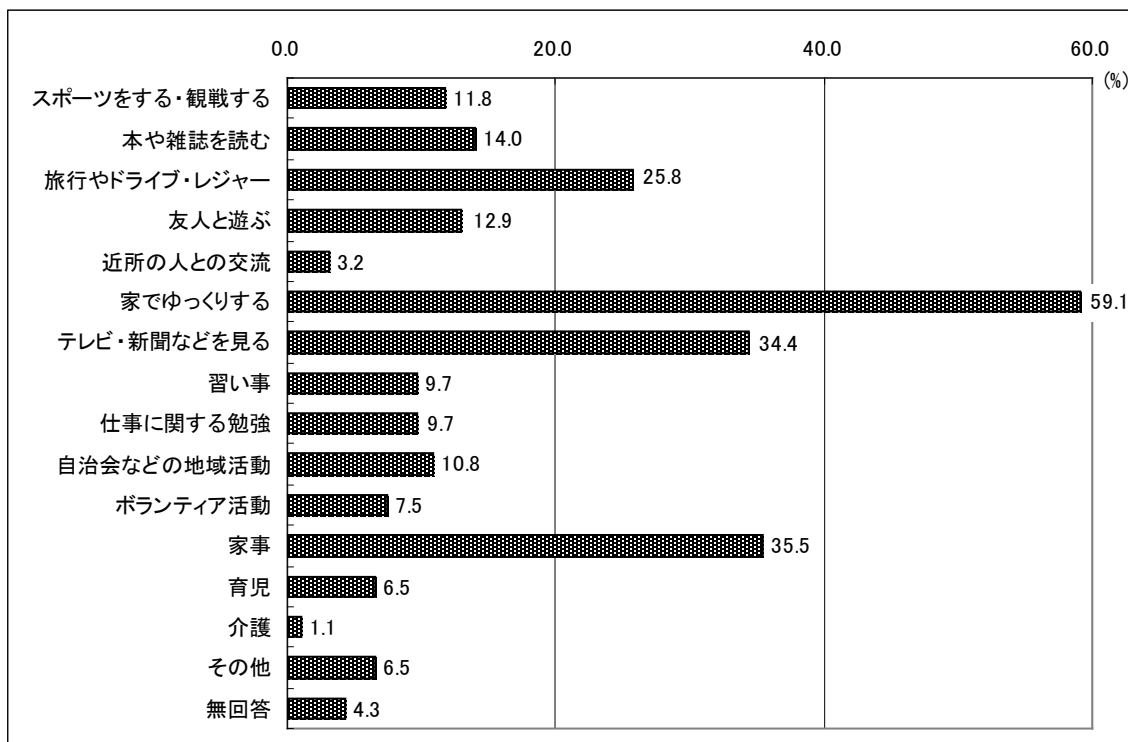
図 112 配偶者の通常の休日(現在仕事をしている人)【N=93;複数回答】



(1 1) 配偶者の休日等の過ごし方

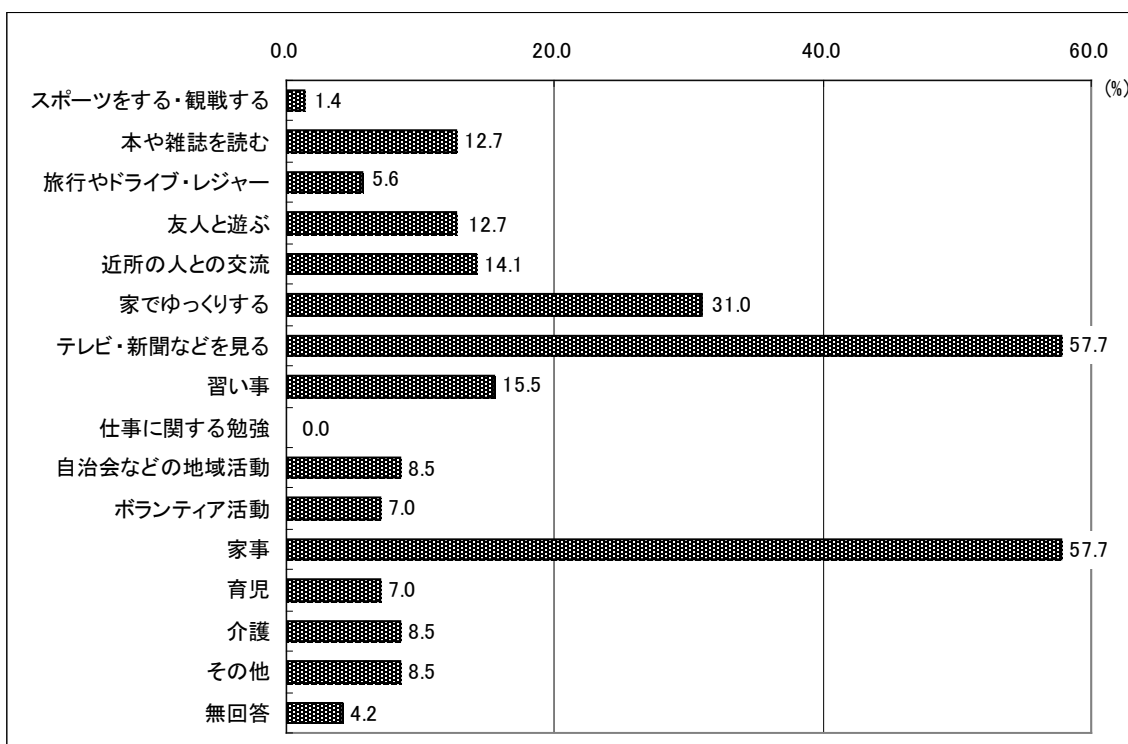
上記(7)で配偶者が「仕事をしている」と答えた人に対して、配偶者の休日の過ごし方について尋ねたところ、「家でゆっくりする」が59.1%と最も割合が高く、次いで、「家事」が35.5%、「テレビ・新聞などを見る」が34.4%、「旅行やドライブ・レジャー」が25.8%であった。

図 113 配偶者の休日の過ごし方(現在仕事をしている人)【N=93;複数回答(3つまで)】



上記(7)で配偶者が「仕事をしていない」と答えた人に対して、配偶者の1週間の過ごし方について尋ねたところ、「テレビ・新聞などを見る」と「家事」が57.7%と最も割合が高く、次いで、「家でゆっくりする」が31.0%であった。

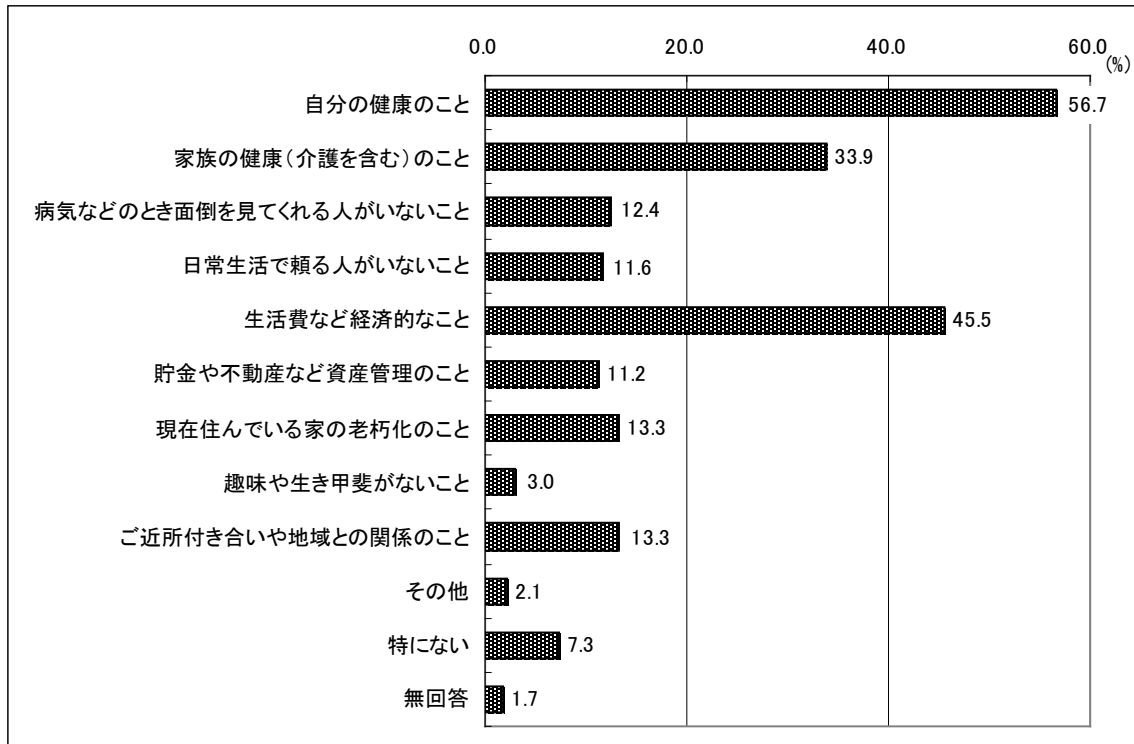
図 114 配偶者の1週間の過ごし方(現在仕事をしていない人)【N=71;複数回答(3つまで)】



(12) 心配ごと

現在の暮らしでの心配ごとについては、「自分の健康のこと」が56.7%と最も割合が高く、次いで、「生活費など経済的なこと」が45.5%、「家族の健康（介護を含む）のこと」が33.9%と「健康」と「経済面」に関する心配ごとが高くなっている。

図 115 心配ごと【N=233; 複数回答(3つまで)】

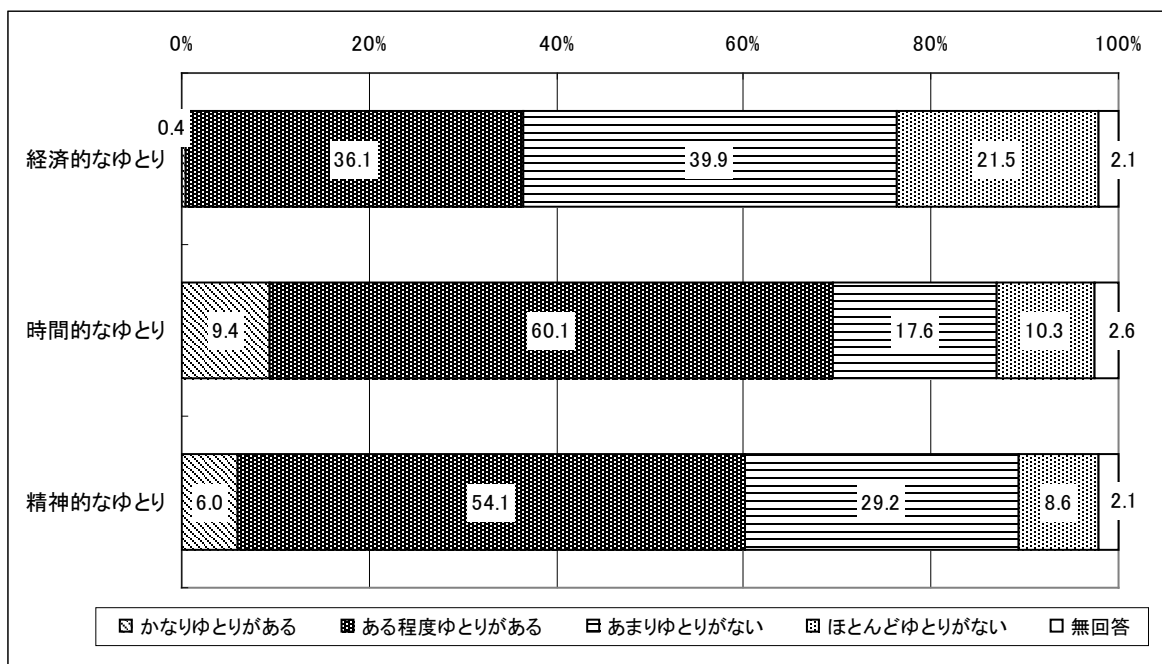


(13) ゆとりについて

日頃、「ゆとり」があるかどうかについて尋ねたところ、「時間的なゆとり」と「精神的なゆとり」は、「ある程度ゆとりがある」と答えた人の割合が最も高く、「かなりゆとりがある」と「ある程度ゆとりがある」を合わせた割合が、約6~7割となっている。

一方、「経済的なゆとり」は、「あまりゆとりがない」と答えた人の割合が最も高く、「あまりゆとりがない」と「ほとんどゆとりがない」を合わせた割合は、約6割となっている。

図 116 ゆとりについて【N=233】



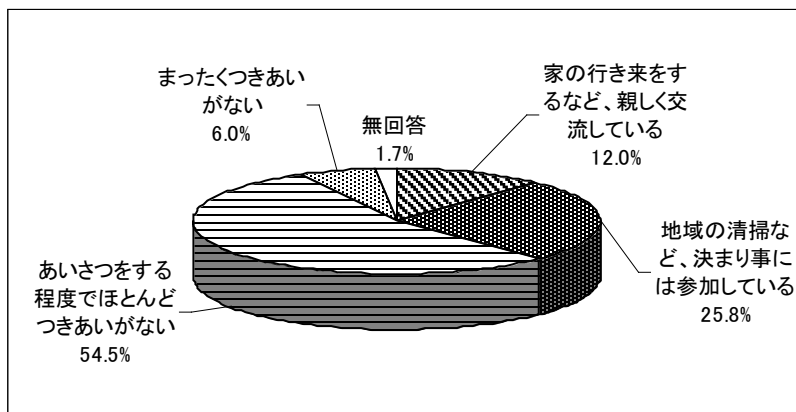
3) 近所付き合いについて

(1) 近所付き合いの程度

近所付き合いの程度については、「あいさつをする程度でほとんどつきあいがいい」が54.5%と最も割合が高く、次いで、「地域の清掃など、決まり事には参加している」が25.8%、「家の行き来をするなど、親しく交流している」が12.0%、「まったくつきあいがいい」が6.0%となっている。

「ほとんどつきあいがいい」と「まったくつきあいがいい」を合わせた割合は60.5%と、約6割となっている。

図 117 近所付き合いの程度【N=233】

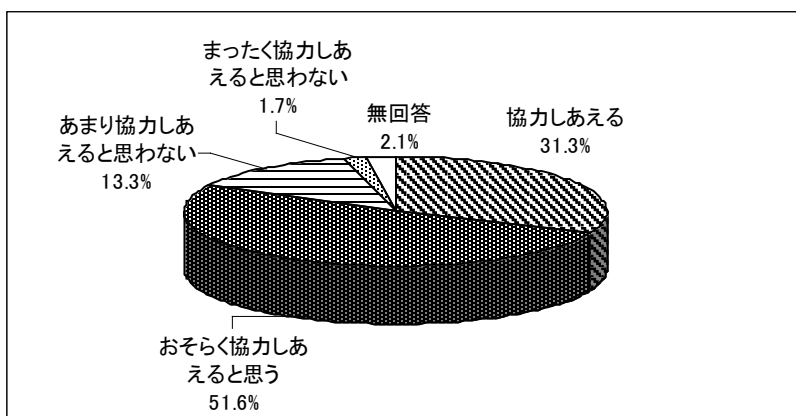


(2) いざというときに近所の人と協力しあえると思うか

いざというときに近所の人と協力しあえると思うかについては、「おそらく協力しあえると思う」が51.6%と最も割合が高く、次いで、「協力しあえる」が31.3%、「あまり協力しあえないと思う」が13.3%、「まったく協力しあえないと思う」が1.7%となっている。

「協力しあえる」と「おそらく協力しあえると思う」を合わせた割合は82.9%と全体の約8.3割となっている。

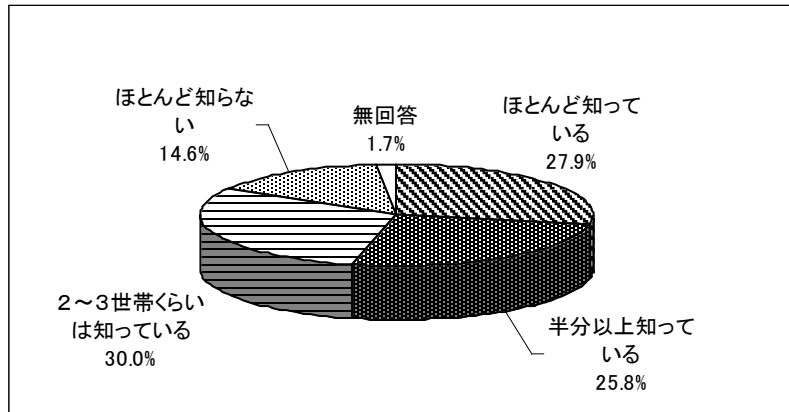
図 118 いざというときに近所の人と協力しあえると思うか【N=233】



(3) 最寄りにどんな人が住んでいるか知っているか

最寄り10世帯くらいにどんな人が住んでいるか知っているかについては、「2～3世帯くらいは知っている」が30.0%と最も割合が高く、次いで、「ほとんど知っている」が27.9%、「半分以上知っている」が25.8%、「ほとんど知らない」が14.6%となっている。

図 119 最寄りにどんな人が住んでいるか知っているか【N=233】

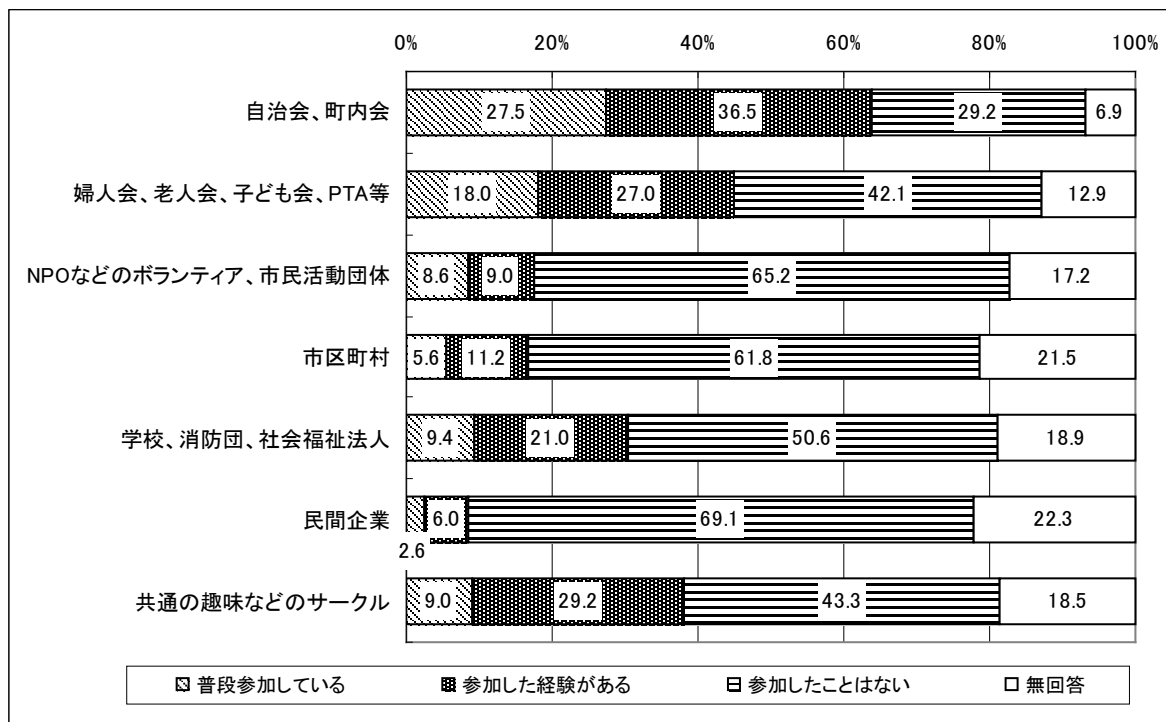


(4) 地域活動等の参加状況（運営主体別）

地域活動等の参加状況（運営主体別）については、「自治会・町内会」以外は、いずれも「参加したことはない」と答えた人の割合が最も高くなっている。

「普段参加している」と「参加した経験がある」を合わせた割合が最も高いのは、「自治会・町内会」の64%、次いで「婦人会、老人会、子ども会、PTA等」の45%、「共通の趣味などのサークル」の38.2%、「学校、消防団、社会福祉法人」の30.4%となっている。

図 120 地域活動等の参加状況（運営主体別）【N=233】

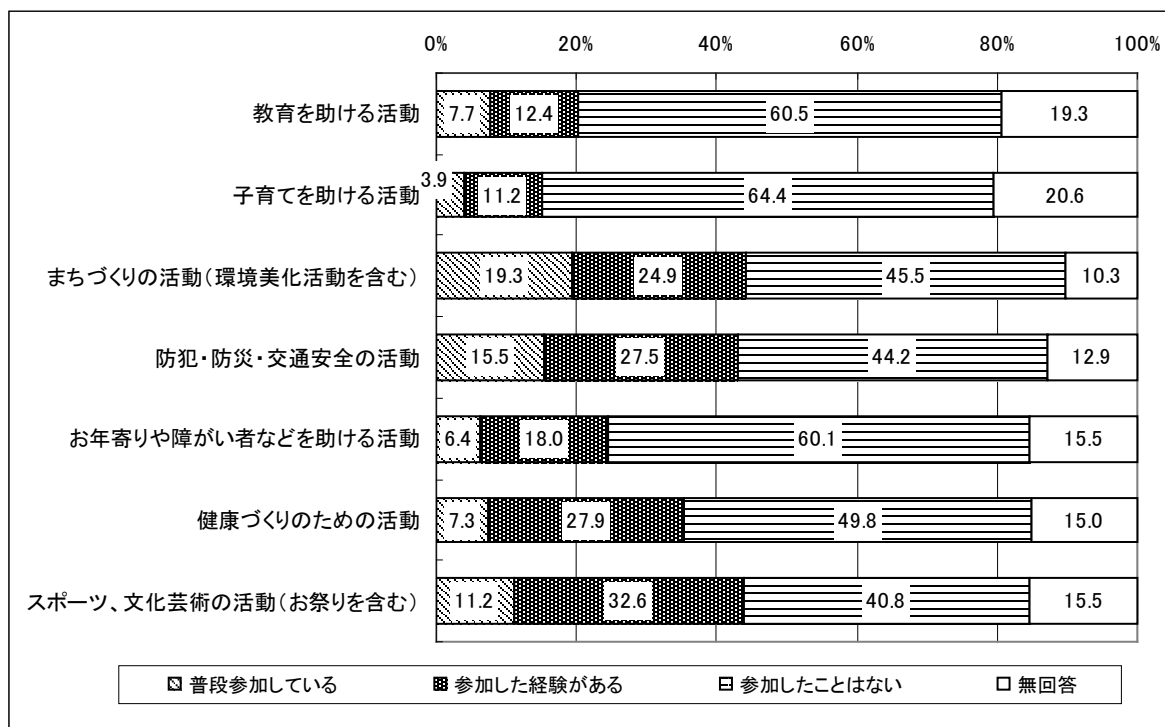


(5) 地域活動等の参加状況（活動分野別）

地域活動等の参加状況（活動分野別）については、いずれも「参加したことはない」の割合が最も高くなっている。

「普段参加している」と「参加した経験がある」を合わせた割合が最も高いのは、「まちづくりの活動（環境美化活動を含む）」の44.2%、「スポーツ、文化芸術の活動（お祭りを含む）」の43.8%、「防犯・防災・交通安全の活動」の43%、「健康づくりのための活動」の35.2%、「お年寄りや障がい者などを助ける活動」の24.4%となっている。

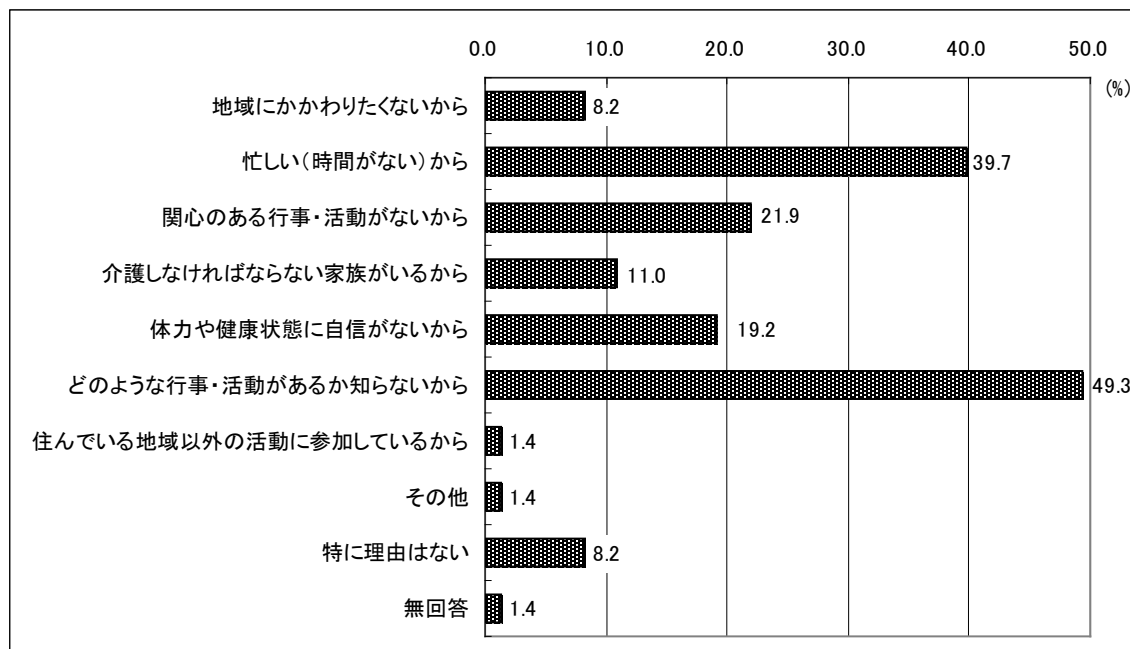
図 121 地域活動の参加状況(活動分野別)【N=233】



(6) 参加したことがない理由

上記(5)ですべてに「参加したことはない」と答えた人に対して、その理由について尋ねたところ、「どのような行事・活動があるか知らないから」が49.3%と最も割合が高く、次いで、「忙しい(時間がない)から」が39.7%、「関心のある行事・活動がないから」が21.9%となっている。

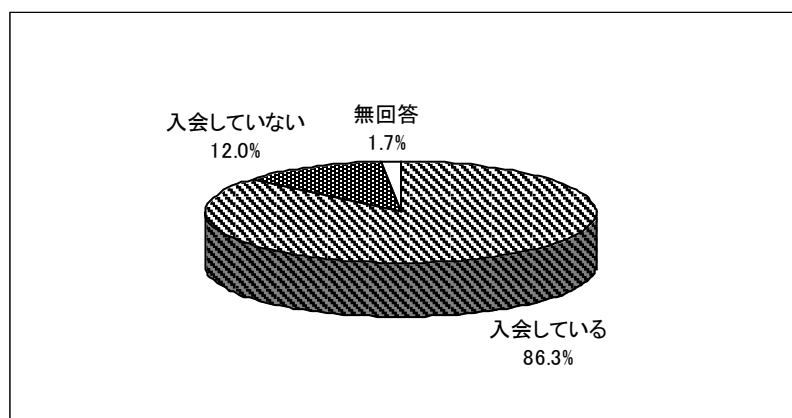
図 122 参加したことがない理由【N=73;複数回答(3つまで)】



(7) 町内会・自治会等の入会状況

町内会・自治会等の入会状況については、「入会している」が86.3%と全体の約8.6割を占めている。他方、「入会していない」は12.0%となっている。

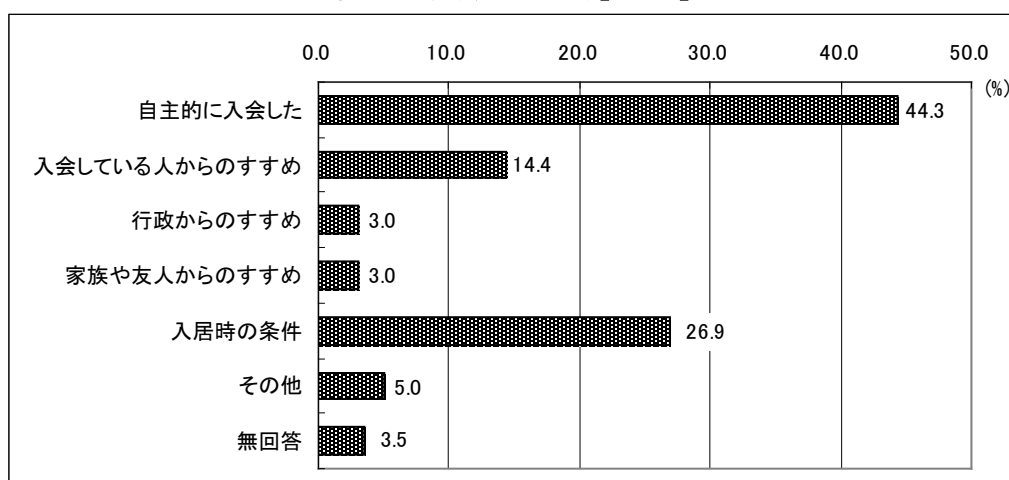
図 123 町内会・自治会等の入会状況【N=233】



(8) 入会のきっかけ

上記(7)で「入会している」と答えた人に対して、入会のきっかけについて尋ねたところ、「自主的に入会した」が44.3%と最も割合が高く、次いで、「入居時の条件」が26.9%となっている。

図 124 入会のきっかけ【N=201】

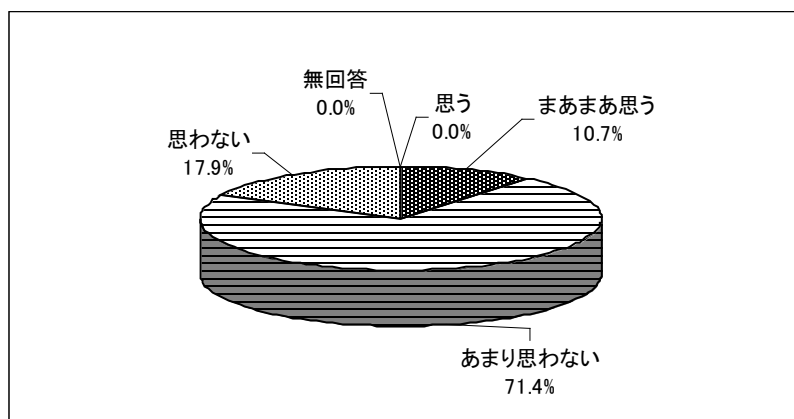


(9) 今後の入会意向

上記(7)で「入会していない」と答えた人に対して、今後の入会意向について尋ねたところ、「あまり思わない」が71.4%と最も割合が高く、次いで、「思わない」が17.9%、「まあまあ思う」が10.7%、「思う」が0%であった。

「思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は89.3%と全体の約9割を占めている。

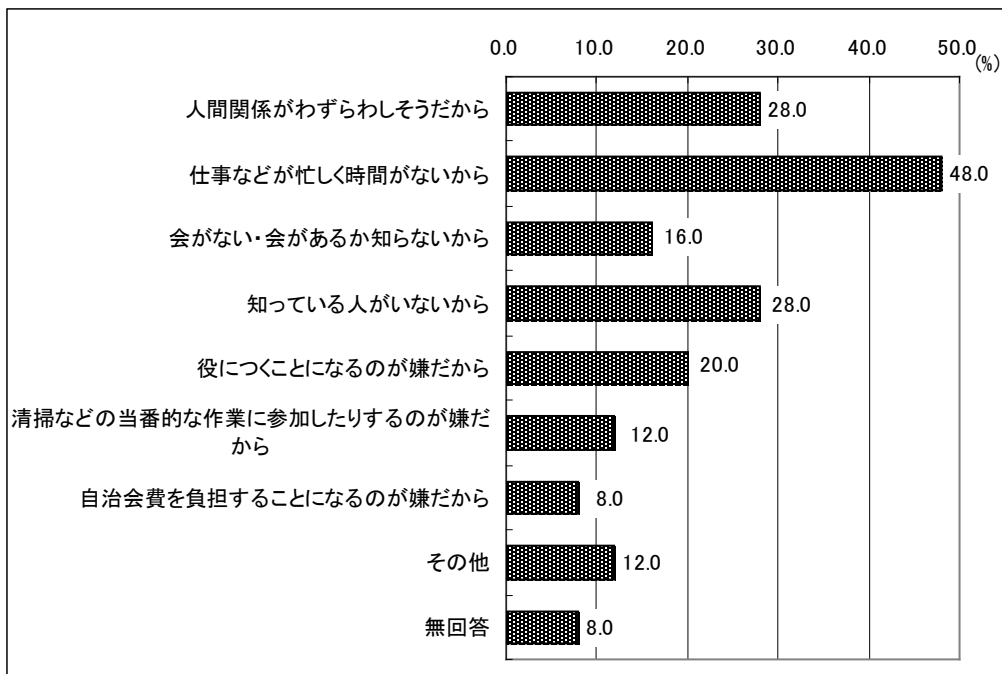
図 125 今後の入会意向【N=28】



(10) 入会したくない理由

上記(9)で「あまり思わない」、「思わない」と答えた人に対して、入会したくない理由について尋ねたところ、「仕事などが忙しく時間がないから」が48.0%と最も割合が高く、次いで、「人間関係がわずらわしそうだから」と「知っている人がいないから」がともに28.0%、「役につくことになるのが嫌だから」が20.0%となっている。

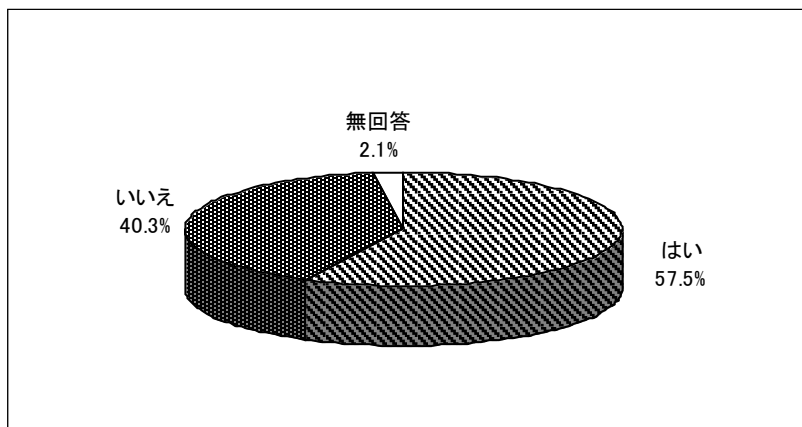
図 126 入会したくない理由【N=25; 複数回答(3つまで)】



(11) 阪神淡路大震災時に、今の地域に住んでいたか。

阪神淡路大震災時に今の地域に住んでいた人は、57.5%と約6割を占めている。

図 127 阪神大震災時に今の地域に住んでいたか【N=233】

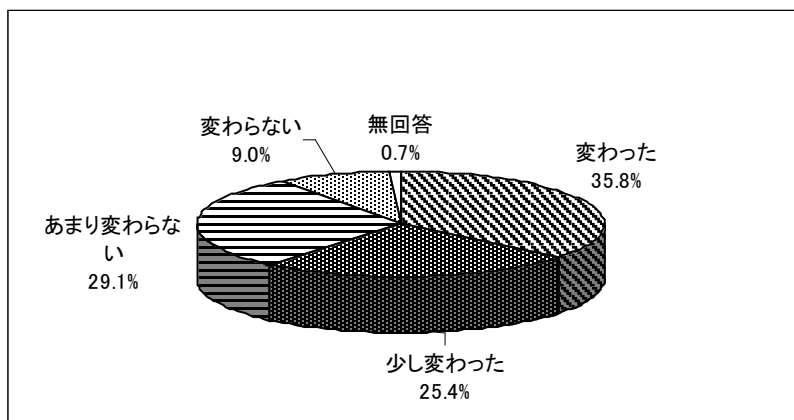


(12) 震災後近所付き合いへの考え方は変わったか

震災後近所付き合いへの考え方は変わったか尋ねたところ、「変わった」が35.8%と最も割合が高く、次いで、「あまり変わらない」が29.1%、「少し変わった」が25.4%、「変わらない」が9.0%となっている。

「変わった」と「少し変わった」を合わせた割合は61.2%と約6割となっている。

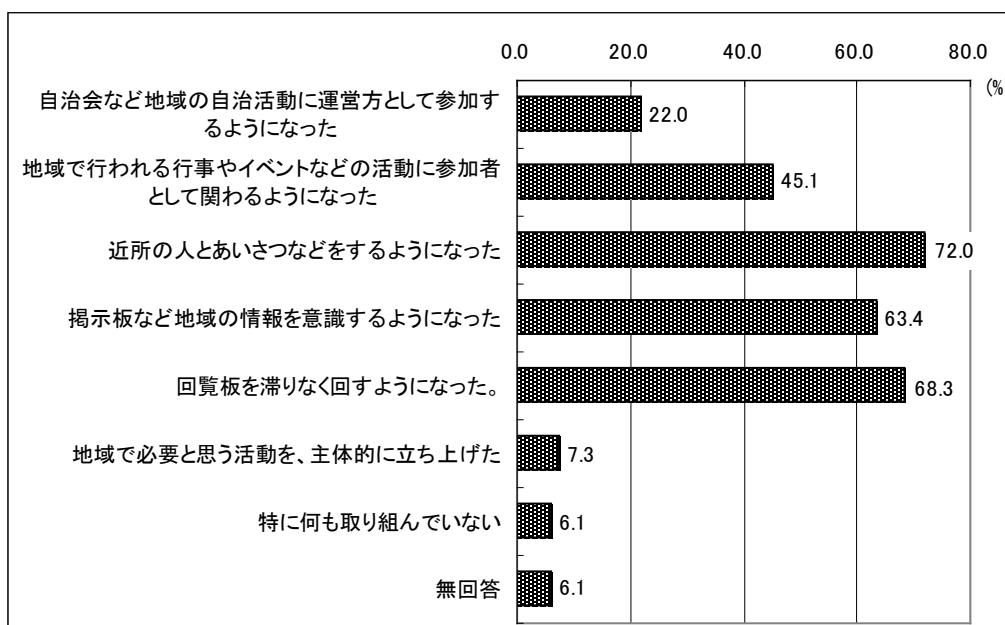
図 128 震災後近所付き合いへの考え方は変わったか【N=134】



(13) 具体的な取組

上記(11)で「変わった」、「少し変わった」と答えた人に対して、近所付き合いで具体的に取組んだことについて尋ねたところ、「近所の人とあいさつなどをするようになった」が72.0%と最も割合が高く、次いで、「回覧板を滞りなく回すようになった」が68.3%、「掲示板など地域の情報を意識するようになった」が63.4%、「地域で行われる行事やイベントなどの活動に参加者として関わるようになった」が45.1%、「自治会など地域の自治活動に運営方として参加するようになった」が22.0%であった。

図 129 具体的な取組【N=82;複数回答】

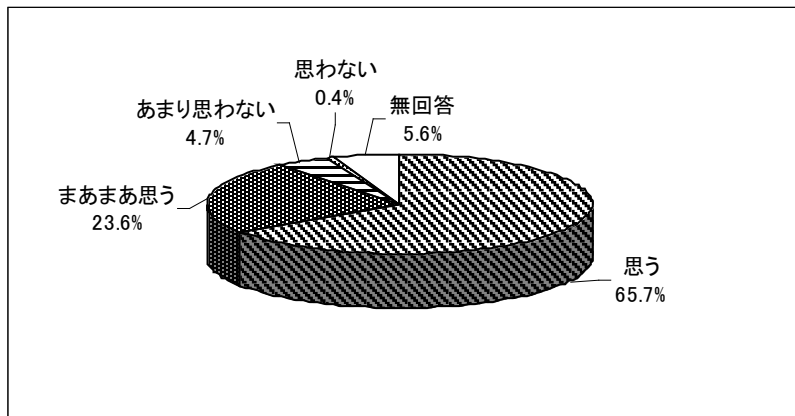


(14) 地域のつながりは重要と思うか

地域のつながりは重要と思うか尋ねたところ、「思う」が65.7%と最も割合が高く、次いで、「まあまあ思う」が23.6%、「あまり思わない」が4.7%、「思わない」が0.4%であった。

「思う」と「まあまあ思う」を合わせた割合は89.3%と全体の9割を占める。

図 130 地域のつながりは重要と思うか【N=233】

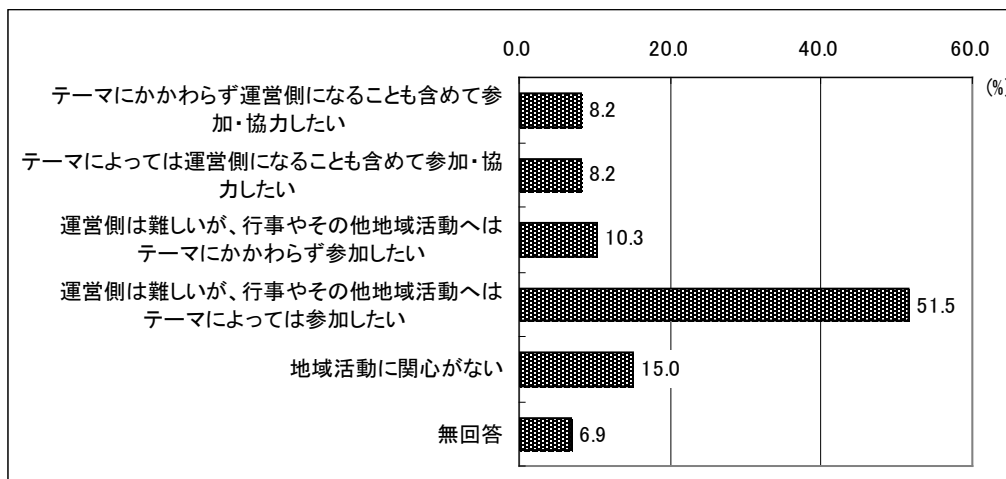


(15) 地域活動への参加意向

地域活動への参加意向については、「運営側は難しいが、行事やその他地域活動へはテーマによっては参加したい」が51.5%と最も割合が高く、全体の約5割を占めている。

次いで、「運営側は難しいが、行事やその他地域活動へはテーマにかかわらず参加したい」が10.3%、「テーマにかかわらず運営側になることも含めて参加・協力したい」と「テーマによっては運営側になることも含めて参加・協力したい」が8.2%となっている。他方、「地域活動に関心がない」は15.0%であった。

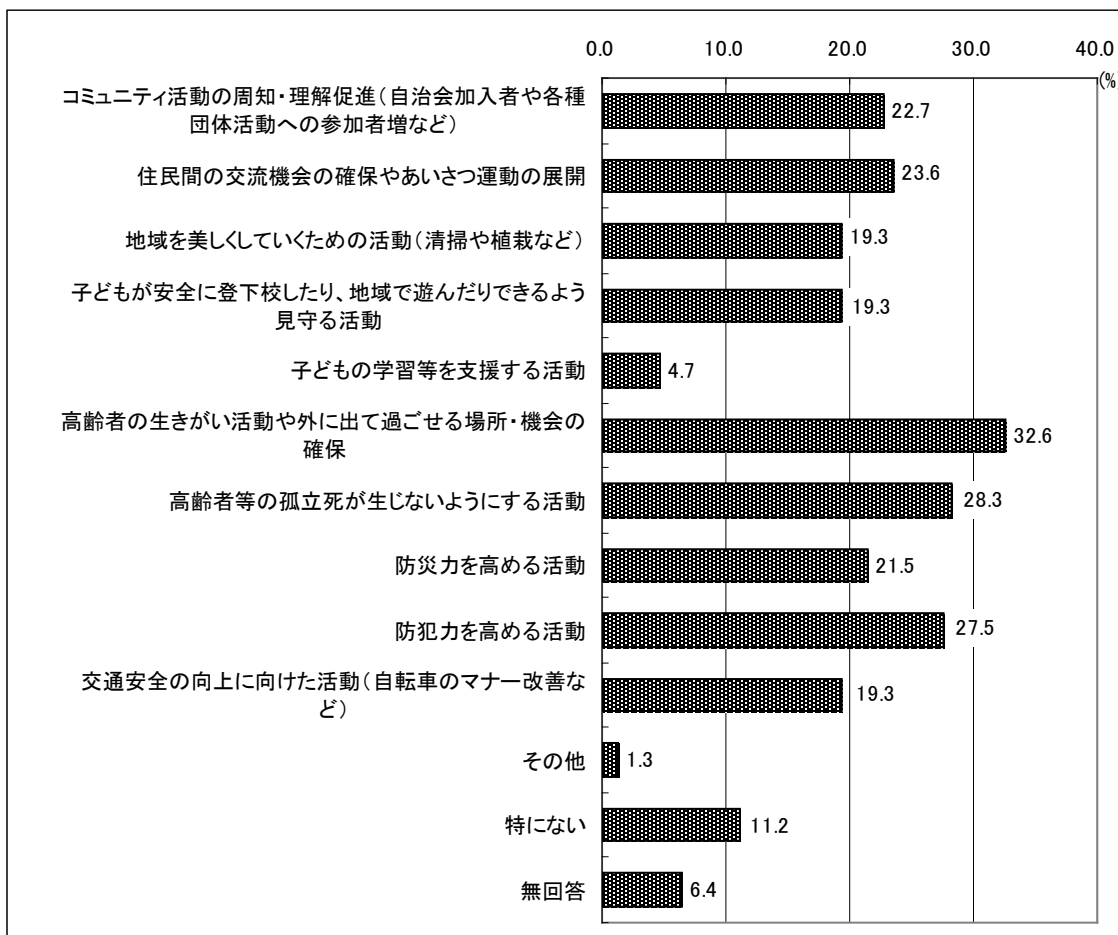
図 131 地域活動への参加意向【N=233】



(16) 取り組んでほしいテーマ

地域の団体（自治会、町内会など）に今後取り組んでほしいテーマについて尋ねたところ、「高齢者の生きがい活動や外に出て過ごせる場所・機会の確保」が32.6%、「高齢者等の孤立死が生じないようにする活動」が28.3%、「防犯力を高める活動」が27.5%、「住民間の交流機会の確保やあいさつ運動の展開」が23.6%、「コミュニティ活動の周知・理解促進（自治会加入者や各種団体活動への参加者増など）」が22.7%となっている。

図 132 取り組んでほしいテーマ【N=233; 複数回答(3つまで)】

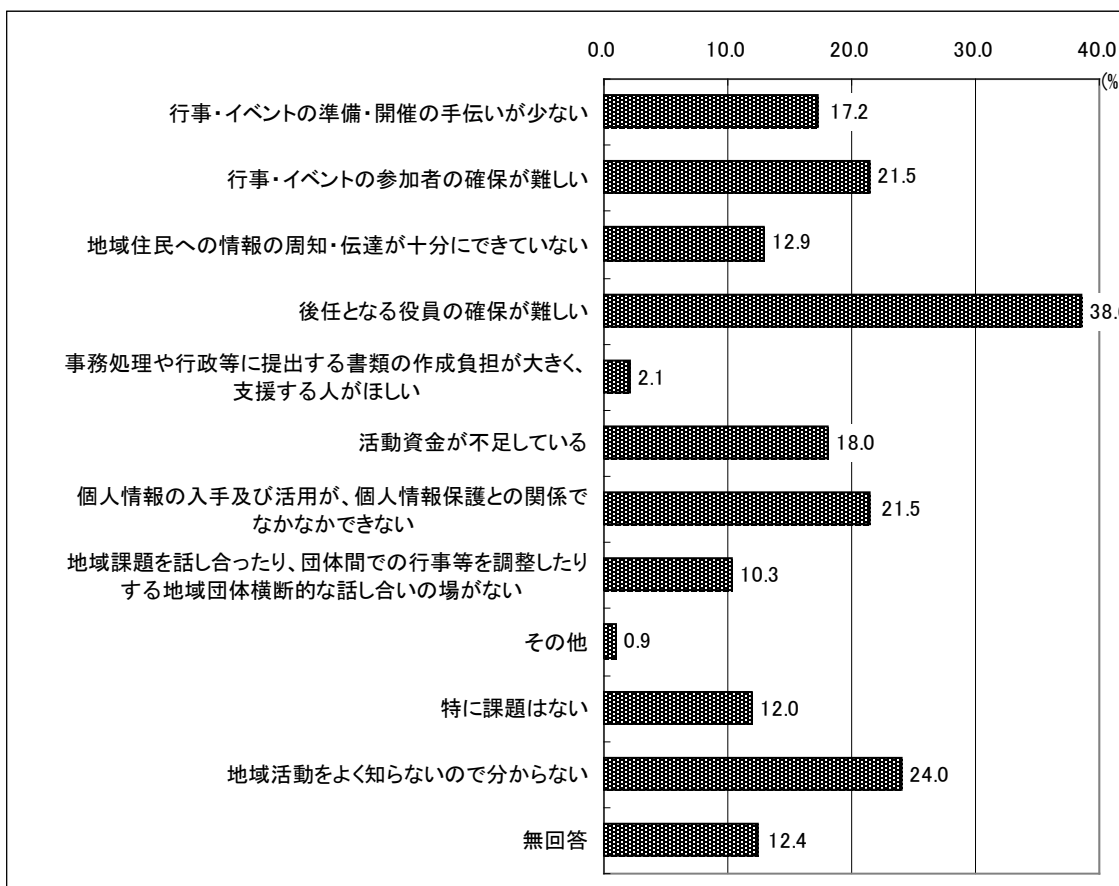


(17) 地域活動の課題

地域の団体（自治会、町内会など）の活動を活性化する上で、課題として感じていることについて尋ねたところ、「後任となる役員の確保が難しい」が38.6%と最も割合が高く、次いで、「行事・イベントの参加者の確保が難しい」と「個人情報の入手及び活用が、個人情報保護との関係でなかなかできない」が21.5%、「活動資金が不足している」が18.0%、「行事・イベントの準備・開催の手伝いが少ない」が17.2%となっている。

一方、「地域活動をよく知らないので分からない」も24.0%となっている。

図 133 地域活動の課題【N=233;複数回答】

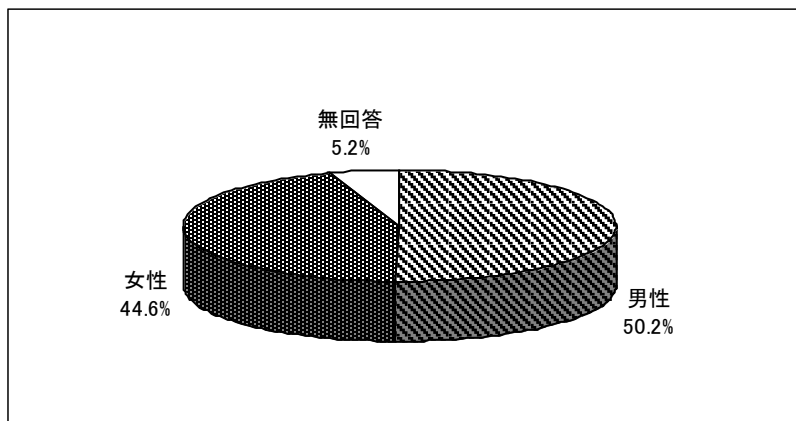


4) 回答者の属性

(1) 性別

回答者の性別については、「男性」が50.2%、「女性」が44.6%となっており、全体の5割が「男性」である。

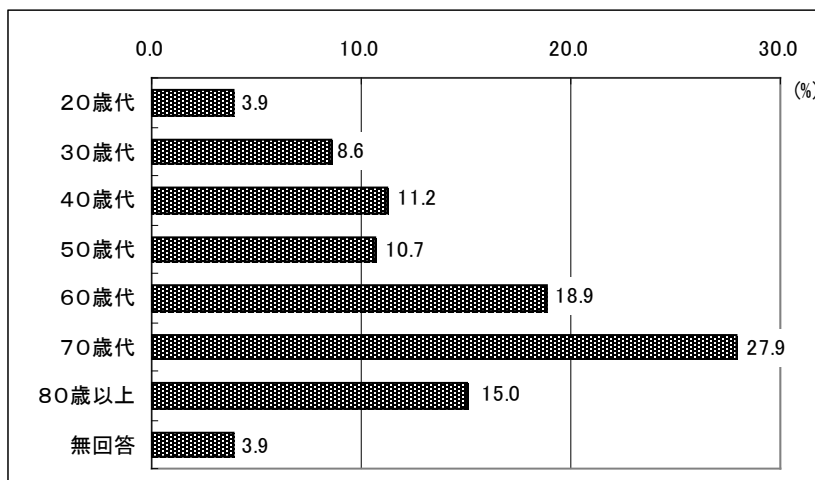
図 134 性別【N=233】



(2) 年代

回答者の年代については、「70 歳代」が27.9%と最も割合が高く、次いで、「60 歳代」が18.9%、「80 歳以上」が15.0%、「40 歳代」が11.2%となっている。

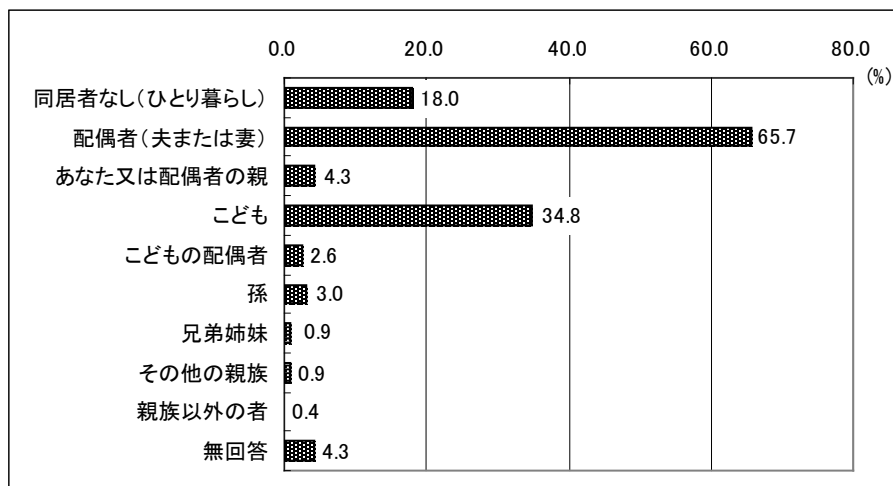
図 135 年代【N=233】



(3) 同居する人

同居する人については、「配偶者（夫または妻）」が65.7%と最も割合が高く、次いで、「子ども」が34.8%、「同居者なし（ひとり暮らし）」が18.0%、「あなた又は配偶者の親」が4.3%となっている。

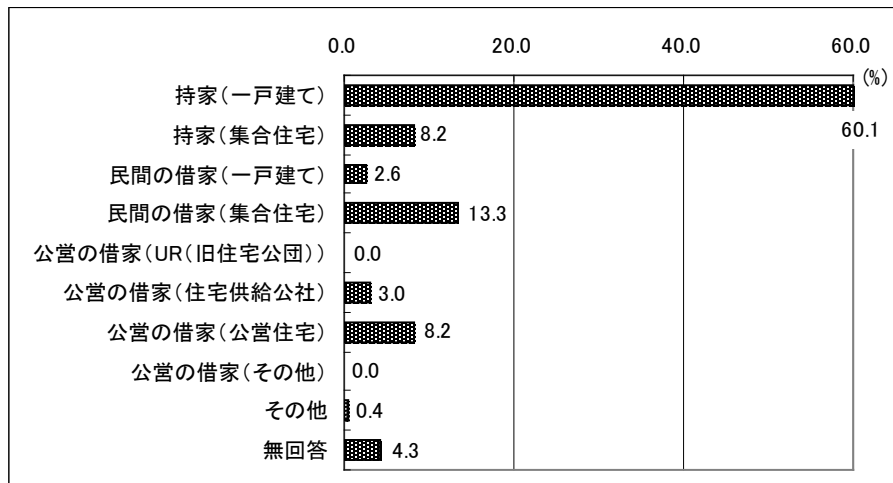
図 136 同居する人【N=233;複数回答】



(4) 住まい

住まいの種類については、「持家（一戸建て）」が60.1%、「民間の借家（集合住宅）」が13.3%、「持家（集合住宅）」が8.2%となっている。

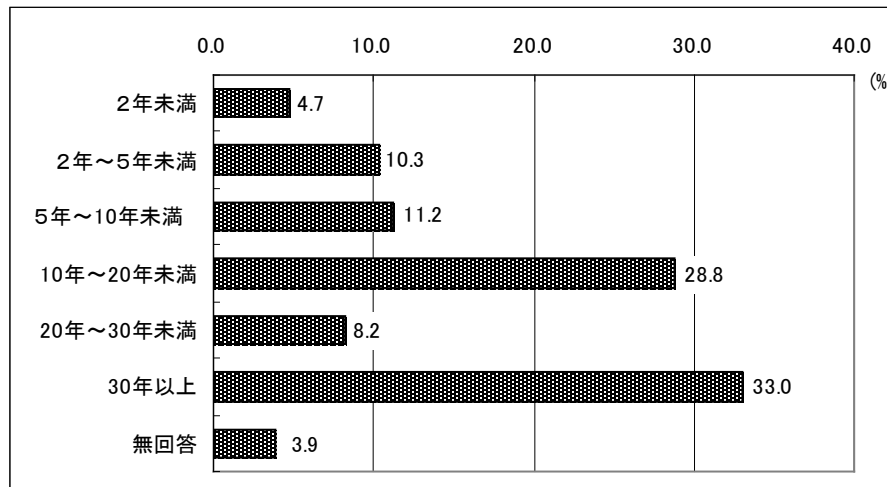
図 137 住まい【N=233】



(5) 居住年数

居住年数については、「30年以上」が33.0%、「10年～20年未満」が28.8%、「5年～10年未満」が11.2%、「2年～5年未満」が10.3%となっている。

図 138 居住年数【N=233】



(6) 阪神淡路大震災時に被害のあったいずれかの地域に住んでいたか。

阪神淡路大震災時に被害のあったいずれかの地域に住んでいた人は、71.2%と約7割を占めている。

図 139 阪神淡路大震災時に被害のあったいずれかの地域に住んでいたか【N=233】

